

令和8年度
中学部
【 本校 】
年間指導計画



令和8年度 中学部 時間割表

本校 中学部1年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	理科	保健	理科	数学	国語
2	英語	国語	国語	理科	英語
3	数学	英語	数学	体育	特別活動
4	自活	数学	自活	社会	総合
5	音楽	社会	道德	美術	技術
6	社会	体育		国語	家庭

本校 中学部3年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	社会	数学	数学	社会	英語
2	数学	国語	国語	数学	理科
3	音楽	数学	英語	体育	特別活動
4	自活	社会	自活	理科	総合
5	英語	英語	道德	美術	技術
6	理科	体育		国語	家庭

本校 中学部3年 II 課程 A					
	月	火	水	木	金
1	国語	理科	社会	職業	数学
2	理科	英語	美術	家庭	国語
3	音楽	保健	国語	体育	特別活動
4	自活	自活	自活	自活	総合
5	職業	数学	道德	美術	美術
6	家庭	体育		音楽	社会

本校 中学部3年 II 課程 B					
	月	火	水	木	金
1	自活	自活	自活	自活	自活
2	美術	音楽	美術	国語	数学
3	社会	理科	音楽	体育	特別活動
4	自活	自活	自活	自活	総合
5	職業	国語	道德	数学	自活
6	家庭	体育		英語	自活

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	中学部1年		現代の国語 1 （三省堂）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （思判表力） 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 （学・人） 言葉がもつ価値に気付くとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	（知及技）事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 （(1)ウ） （思判表力）「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。（Cオ） （学・人）進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとする。	（知・技）事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） （思・判・表）「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。（Cオ） （主学）進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	朝のリレー	1 詩の構成や表現の効果について考えながら，情景を想像して音読する。 2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。
		（知及技）比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。（(2)イ） （思判表力）「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。（Cイ） （学・人）進んで心情の変化などを捉え学習課題にそって考えを伝え合おうとする。	（知・技）比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） （思・判・表）「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。（Cイ） （主学）進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	竜	1 本文を通読し，場面ごとの内容を捉える。 2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み，表現の効果について考える。 4 物語における表現の効果について考えを深める。
		（知及技）比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。（(2)イ） （思判表力）「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができる。（Aオ） （学・人）積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとする。	（知・技）比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。（(2)イ） （思・判・表）「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。（Aオ） （主学）積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる	1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 2 話し合いをつなげるための方法を，グループディスカッションで活用する。
		（知及技）音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めることができる。（(1)ア） （学・人）進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	（知・技）音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。（(1)ア） （主学）進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見① 音声のしくみとはたらき	1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し，音声のしくみとはたらきについて考える。 2 「五十音図とローマ字」を見て，母音と子音のしくみを確認する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 4 日本語と英語の音節の違いについて理解を深める。
		（知及技）学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。（(1)イ） （学・人）進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	（知・技）学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） （主学）進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう①	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」

(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(C工) (学・人)進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告する。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工) (主学)進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 クジラの飲み水	1 説明文の基本構造を理解する。 ・「序論」「本論」「結論」の役割を捉える。 2 文章全体の構成と要旨を捉える。 3 表現の工夫を探して、その効果を捉える。 4 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。
(知及技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字のしくみ1 活字と手書き文字・ 画数・筆順	1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。
(知及技)比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 (思判表力)「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人)粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとする。	(知・技)比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) (主学)粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。	レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる	1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。 2 情報を集めて整理し、伝えたい内容を明確にする。 3 レポートの構成を理解し、表などを効果的に用いて書く。
(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう②	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互の関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。(Cイ) (学・人)進んで登場人物の相互関係について描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合う。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互の関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) (主学)進んで登場人物の相互関係について描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	空中ブランコ乗りのキキ 【読む(物語)】 読み方を学ぼう② 人物相関図	1 登場人物の相互関係を捉える。 2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 3 本文中の描写が表すものの意味について考える。 4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。
(知及技)単語の類別について理解することができる。((1)エ) (学・人)進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)単語の類別について理解している。((1)エ) (主学)進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	文法の窓1 文法のまとめ 言葉の単位・文節の関係	1 「文法の窓1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」「1言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」「2文節の関係・連文節文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう1」の課題に取り組む。
(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈することができる。(Cウ) (学・人)進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えを記録する。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) (主学)進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	字のない葉書 【読む(随筆)】 読み方を学ぼう③ 行動描写	1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 3 「私」の父に対する思いについて考える。
(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(Bア) (学・人)粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって随筆を書こうとする。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) (主学)粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	随筆 体験に向き合い 意味づける	1 日常生活の体験の中から題材を決める。 2 表現したいことの中心を明確にしてまとめる。 3 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。
(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増すことができる。((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字のしくみ2 部首と成り立ち	1 漢字の部首と意味の関係について理解する。 2 漢字の成り立ちについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。
(知及技)読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。((3)オ) (思判表力)「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。(Cオ) (学・人)進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	(知・技)読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(Cオ) (主学)進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	私の読書体験 本を読むことのおもしろさ	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。

		(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増すことができる。 ((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう③	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
2 学 期	55	(知及技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解することができる。((2)ア) (思判表力)「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握することができる。(Cア) (主学)進んで要旨を把握し、学習課題にそって考えをまとめようとする。	(知・技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。((2)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) (主学)進んで要旨を把握し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	一〇〇〇円の価値を考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう④ 三角口ジック	1 文章の構造と内容を捉える。 2 文章の要旨を捉える。 3 筆者が示す考えをもとに、自分の考えをもつ。 4 筆者の主張に対して自分の考えをもつ。
		(知及技)指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。((1)エ) (学・人)進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技)指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。((1)エ) (主学)進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見② 接続する語句・指示する語句	1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。
		(知及技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解することができる。((2)ア) (思判表力)「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。(Aイ) (学・人)積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとする。	(知・技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。((2)ア) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(Aイ) (主学)積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える	1 日常生活の中から話題を探す。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。
		(知及技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう④	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
		(知及技)古典には様々な種類の作品があることを知ることができる。((1)イ) (思判表力)「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握することができる。(Cア) (学・人)進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告する。	(知・技)古典には様々な種類の作品があることを知っている。((1)イ) (思・判・表)「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) (主学)進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	月を思う心 【読む(解説)】	1 月と人々との関わりについて考える。
		(知及技)音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しむことができる。((3)ア) (思判表力)「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。(Cイ) (学・人)進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おう。	(知・技)音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) (主学)進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	竹取物語 【読む(古文)】 古文の読み方 古典の仮名遣い	1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 3 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。
		(知及技)音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しむことができる。((3)ア) (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(Cエ) (学・人)進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを記録する。	(知・技)音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) (主学)進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	故事成語——矛盾 【読む(漢文)】 漢文の読み方 訓読の仕方	1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。 〈学びを広げる〉 ・故事成語の一つを選び、その物語を四コマ漫画で表す。
		(知及技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字のしくみ3 漢字の音と訓	1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。

		(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう⑤	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
--	--	--	--	------------	---

		(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。(B工) (学・人)粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもって行事案内リーフレットを書く。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(B工) (主学)粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもって行事案内リーフレットを書こうとしている。	情報を関連づける マンガ 情報の扱い方【読む(解説)】 防災に関するデータ【読む(図表)】 「みんなでいるから大丈夫」の怖さ【読む(記録)】 行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える【書く】	1 情報の整理の仕方について理解を深める。 2 資料A「防災に関するデータ」のデータを心まえて人々の行動の課題を考える。 3 資料B「『みんなでいるから大丈夫』の怖さ」を読み、緊急時になぜ逃げないのかを捉える。 4 資料Aと資料Bを関連づけて、避難行動をとることの難しさについて考えを深める。 5 リーフレットに掲載する内容を決め、情報を集めて交流する。 6 構成を考えてリーフレットを書く。
		(知及技)共通語と方言の果たす役割について理解することができる。((3)ウ) (学・人)進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ) (主学)進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見 3 方言と共通語	1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。
		(知及技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう⑥	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
		(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(C工) (学・人)進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合う。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工) (主学)進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	それだけでいい 【読む(詩)】 読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法	1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。
		(知及技)比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。((1)オ) (学・人)進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技)比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) (主学)進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め	1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。
		(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。(B工) (学・人)粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとする。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(B工) (主学)粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	詩 思いや発見をリズムに乗せる 【書く】	1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 3 推敲して作品全体を整える。 4 交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。
		(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈することができる。(Cウ) (学・人)進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録する。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) (主学)進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。	トロッコ 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑥ 情景描写	1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。 2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。 4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。
		(知及技)読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(A工) (主学)積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。	(知・技)読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(A工) (主学)積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。	読書活動 私が選ぶこの一文 【話す・聞く】	1 興味や関心のある本を選び、読む。 2 心に残った一文を選ぶ。 3 グループになって、一文を紹介し合う。
		(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増すことができる。((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう⑦	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」

3 学 期	36	(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈することができる。(Cウ) (学・人)進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめる。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) (主学)進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	意味と意図 —コミュニケーションを考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう⑦ 要約	1 文章に示された事例について、比較して捉える。 2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 3 文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを深める。
		(知及技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア) (思判表力)「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(Bイ) (主学)粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書く。	(知・技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。((2)ア) (思・判・表)「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ) (主学)粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	意見文 根拠を明確にして 考えを述べる 【書く】	1 交流をとおして意見をまとめる。 2 意見の根拠を明確にして意見文を書く。 3 書いた意見文を読み合い、書き直す。
		(知及技)単語の類別について理解することができる。((1)エ) (学・人)進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)単語の類別について理解している。((1)エ) (主学)進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	文法の窓2 単語の類別・品詞	1 「文法の窓2」で単語の類別や品詞について考える。 2 「文法のまとめ」「3単語の類別・品詞」で、単語の類別や品詞について理解する。 3 「文法のまとめ」「4名詞」「5副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。 4 「確認しよう1」の課題に取り組む。
		(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増すことができる。((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう⑧	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
		(知及技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア) (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(Cエ) (学・人)進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを伝え合う。	(知・技)原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。((2)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) (主学)進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	少年の日の思い出 【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点	1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 4 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。
		(知及技)事象や行為、心情を表す語句の量を増すことができる。((1)ウ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう⑨	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「一年生で学ぶ漢字字典」
		(知及技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。((2)イ) (思判表力)話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(Aア) (学・人)積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとする。	(知・技)比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) (思・判・表)話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) (主学)積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って 【話す・聞く】 【書く】	1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 2 レイアウトを決めて、記事を書く。 3 記事を推敲して紙面を作り、新聞を読み合う。
		—	—	歌の言葉 始まりの歌	—
		留意点 引継ぎ等		年間を通して ・習熟度合わせた漢字の読み書きや、作品の音読練習に取り組む。 ・漢字検定やはがき新聞の製作に取り組む。 ・定期的に学校図書館や地域の図書館を利用する機会を設ける。	

令和8年度 中学部 1年(Ⅰ課程) 社会科 年間指導計画

配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
105		中学部 1年			帝国書院 中学生の地理
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。 (学・人) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を理解する。 (思判表力) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して考察し、表現する。 (学・人) 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究する。	(知・技) ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を理解している。 (思・判・表) ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して考察し、表現している。 (主学) ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	●世界のすがた	・私たちの住む地球 ・いろいろな国の国名と位置 ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図のちがひ
		(知及技) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解する。 (思判表力) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して考察し、表現する。 (学・人) 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究する。	(知・技) ・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解している。 (思・判・表) ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して考察し、表現している。 (主学) ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	●日本のすがた	・世界の中での日本の位置 ・時差でとらえる日本の位置 ・日本の領土とその特色 ・都道府県と県庁所在地 ・1学期の振り返り
2 学期	42	(知及技) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 (思判表力) 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して考察し、表現する。 (学・人) 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究する。	(知・技) ・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 (思・判・表) ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して考察し、表現している。 (主学) ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	●日本の地域的特色	・山がちな日本の地形 ・川がつくる地形と海岸や海洋の特色 ・日本の気候 ・日本のさまざまな自然災害 ・自然災害に対する備え ・日本の人口 ・日本の資源・エネルギーと電力 ・日本の農業・林業・漁業とその変化 ・日本の商業・サービス業 ・日本の交通網・通信網 ・さまざまな地域区分
		(知及技) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (思判表力) 日本の諸地域において、自然環境や人口、産業等の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して考察し、表現する。 (学・人) 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	(知・技) ・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 (思・判・表) ・日本の諸地域において、自然環境や人口、産業等の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して考察し、表現している。 (主学) ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●日本の諸地域	・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方

3 学 期	26	(知及技) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。 (思判表力) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して考察し、表現する。 (学・人) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究する。	(知・技) ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 (思・判・表) ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して考察し、表現している。 (主学) ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	●人々の生活と環境	・世界のさまざまな生活と環境 ・暑い地域の暮らし ・乾燥した地域の暮らし ・温暖な地域の暮らし ・寒い地域の暮らし ・高地の暮らし ・世界各地の衣食住とその変化 ・人々の生活と宗教の関わり ・1年間の振り返り
留意点 引継ぎ等	生徒の理解度に応じて学習を進めること。				

令和8年度 中学部 1 年（I 課程） 数学科 年間指導計画

単位数／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	中学部 1 年		東京書籍 新しい数学 1

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・数量の関係や法則などを考察したりする力、図形について直感的に捉え論理的に考察し表現する力、表・式・グラフを考察する力、データの傾向を批判的に考察して判断したりする力を養う。 (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを生活に活かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	48	(知及技) ・正の数と負の数の四則計算をすることができる。 (思判表力) ・算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・日常の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	(知・技) ・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 (思・判・表) ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだし表現しようとしている。 (主学) ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。	算数から数学へ	○九九表のきまりをみつけよう ○整数をかけ算の式で表すと、どんなことがわかるだろうか
				数の世界をひろげよう 1 正負の数	○－のついた数は、どんなことを表しているのかを考えてみよう ○負の数をふくめた数直線をつくってみよう
				2 加法と減法	○正負の数で、2つの数のたし算を考えてみよう ○正負の数で、2つの数のひき算を考えてみよう
				3 乗法と除法	○正負の数で、2つの数のかけ算を考えてみよう ○正負の数で、2つの数のわり算を考えてみよう
		4 正負の数の利用	○身長の平均をくふうして求めてみよう		
		(知及技) ・文字を用いることの必要性和意味を理解することができる。 (思判表力) ・具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・数学の事象から問題を見いだし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。	(知・技) ・文字を用いることの必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現しようとしている。 (主学) ・文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。	数学のことばを身につけよう 1 文字を使った式	○文字を使った式の表し方を学ぼう ○文字を使った式がどんな数量を表しているか考えてみよう
				2 文字式の計算	○文字を使った式を、その式にふくまれる数や文字に着目して調べてみよう ○1次式の加法と減法について考えてみよう ○1次式と数の乗法や除法について考えてみよう
				3 文字式の利用	○文字式を利用して、整数の性質を調べてみよう ○文字式を利用して、数量の間の関係を表すことを考えてみよう
2 学期	60			(知及技) ・方程式の必要性和意味及び方程式の文字や解の意味を理解することができる。 (思判表力) ・等式の性質を基にして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	(知・技) ・方程式の必要性和意味を理解しようとしている。 (思・判・表) ・等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察しようとしている。 (主学) ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。
		2 1次方程式の利用	○方程式を利用して問題を解決しよう		
		(知及技) ・関数関係の意味を理解することができる。 (思判表力) ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 (学・人) ・数学的に解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	(知・技) ・関数関係の意味を理解している。 (思・判・表) ・表、グラフ等を用いて変化や対応の特徴を見いだそうとしている。 (主学) ・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。	数量の関係を調べて問題を解決しよう 1 関数と比例・反比例	○2つの数量の間に、関数の関係があるかどうか調べてみよう ○関数の関係を身のまわりの問題に利用してみよう
				2 比例の性質と調べ方	○負の数の世界へひろげてみよう
		3 反比例の性質と調べ方	○xの変域や比例定数が負の数の場合をふくめた反比例の式を考えてみよう		
		4 比例と反比例の利用	○待ち時間の予想はできるかな？		
		(知及技) ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線の作図を理解することができる。 (思判表力) ・図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・日常の事象を数理的に考察したりすることができる。	(知・技) ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 (思・判・表) ・図形の移動に着目し、合同な図形について考察しようとしている。 (主学) ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	平面図形の見方をひろげよう 1 図形の移動	○平行・回転・対称移動について考えてみよう
				2 基本の作図	○垂直二等分線の作図について考えてみよう ○角の二等分線の作図について考えてみよう
3 おうぎ形	○どちらのピザが大きいかな？ ○円の一部分である図形とその面積について考えてみよう				
3 学期	32			(知及技) ・扇形の弧の長さや面積、柱体や錐すい体、球の表面積と体積を求めることができる。 (思判表力) ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 (学・人) ・数学の事象から問題を見いだしたりすることができる。	(知・技) ・柱体や錐体、球の表面積と体積を求めようとしている。 (思・判・表) ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現しようとしている。 (主学) ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
		2 立体の見方と調べ方	○立体の実際の面の形や高さなどが見える方向について考えてみよう		
		3 立体と体積と表面積	○角柱や円柱の体積を求める式をみなおしてみよう ○球の体積や表面積を、その球がちょうど入る円柱と比べて考えてみよう		
		(知及技) ・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じてデータを収集して分析し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 (学・人) ・数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合うことができる。	(知・技) ・代表値や範囲の必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断しようとしている。 (主学) ・確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	データを活用して判断しよう 1 データの整理と分析	○データを表やグラフに整理し、分布の特徴を読みとってみよう ○全体の度数が異なるデータを比較してみよう
				2 データの活用	○どちらの並び方がよいかな？
				3 ことがらの起こりやすさ	○どちらを選ぶ？ ○ことがらの起こりやすさを数で表してみよう ○起こりやすさの傾向を読みとって判断しよう
留意点		特になし			

令和 8 年度 中学部 1 年（I 課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	中学部1年		新しい科学 1 （東京書籍）

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) 観察, 実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 (学・人) ●生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元 1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた 第1節 身近な生物の観察	・生物を観察するとき、どのような特徴に注目して、どのような方法で観察すればよいか考える。 ・観察 1 身近な生物の観察
				第2節 生物の特徴と分類	・生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類することができるか考える。 ・実習 1 さまざまな生物の分類
		(知及技) ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●身近な植物についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 (学・人) ●植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 植物の分類 第1節 身近な植物の分類	・植物を分類するときには、どのような共通点や相違点に注目すればよいか考える。
				第2節 果実をつくる花のつくり	・実や種子は、花のどのつくりと関係しているか調べる。 ・観察 2 実や種子をつくる花のつくりと変化
				第3節 裸子植物と被子植物	・果実をつくらない植物には、果実をつくる植物と比べると、どのような特徴があるか考える。
				第4節 花をさかせず種子をつくらない植物	・種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。 ・観察 3 シダ植物のからだのつくり
				第5節 さまざまな植物の分類	・植物を分類するとき注目する特徴を図や表にまとめる。

（知及技） ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら，動物のからだの共通点と相違点を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につける。 （思判表力） ●身近な動物についての観察，実験などを通して，いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに，動物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 （学・人） ●動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようになる。	（知・技） ●いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら，動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●動物のからだの共通点と相違点についての観察，実験などを通して，いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに，動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第3章 動物の分類 第1節 動物の分類	・動物を分けるとき，どのような共通点と相違点に注目すればよいか考える。 ・観察4 動物のからだのつくり
		第2節 セキツイ動物	・セキツイ動物はどのようなグループに分類できるか考える。
		第3節 無セキツイ動物	・無セキツイ動物は，からだにどのような特徴があり，どのように分類できるか考える。 ・観察5 無セキツイ動物のからだのつくり
		第4節 動物の分類表の作成	・どのような表や図をつくると，動物を適切に分類できるか考える。
（知及技） ●身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して，物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに，実験器具の操作，記録のしかたなどの技能を身につける。 （思判表力） ●身のまわりの物質について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質における規則性を見いだして表現する。 （学・人） ●物質のすがたに関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようになる。	（知・技） ●身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●物質のすがたについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●物質のすがたに関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質 第1節 物の調べ方	・物体が何という物質でできているかを見分けるには，どのような方法があるか考える。
		第2節 金属と非金属	・金属と非金属との性質のちがいを調べる。 ・実験1 金属と非金属のちがい
		第3節 さまざまな金属の見分け方	・さまざまな金属を見分けるには，どうしたらよいか考える。 ・実験2 密度による金属の区別
		第4節 白い粉末の見分け方	・見ただけでは見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには，どのようにしたらよいか考える。 ・実験3 白い粉末の区別
（知及技） ●気体を発生させてその性質を調べる実験を通して，気体の種類による特性を理解するとともに，気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 （思判表力） ●身のまわりの物質について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質における規則性を見いだして表現する。 （学・人） ●物質のすがたに関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようになる。	（知・技） ●身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●物質のすがたについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●物質のすがたに関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第2章 気体の性質 第1節 身のまわりの気体の性質	・身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。 ・実験4 二酸化炭素と酸素の性質
		第2節 気体の性質と集め方	・気体の性質によって，気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。

		(知及技) ●水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する。 (学・人) ●水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ●身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●水溶液について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●水溶液に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 水溶液の性質 第1節 物質が水にとけるようす	・物質が水にとけるとは、どのようなことができるか考える。
2 学期	42			第2節 溶解度と再結晶	・水にとけている溶質をとり出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。 ・実験 5 水にとけた物質をとり出す
		(知及技) ●物質の状態変化についての観察、実験を通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また、物質は融点や沸点をさかいに状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を通して、沸点のちがいによって物質の分離ができることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 (学・人) ●状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ●身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●状態変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4章 物質の姿と状態変化 第1節 物質の状態変化	・身のまわりの物質も水のように姿を変えるか考える。
				第2節 物質の状態変化と体積・質量の変化	・物質が状態変化するとき、体積や質量はどうか調べる。 ・実験 6 ロウの状態変化と体積・質量の変化
				第3節 状態変化が起こるとき の温度と蒸留	・液体どうしが混じり合った混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。 ・実験 7 混合物の分離
		(知及技) ●光についての観察、実験を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性や、凸レンズのはたらきについての実験から、物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●光について問題点を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●光に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ●光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●光について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●光に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界 第1節 物の見え方	・液体どうしが混じり合った混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。 ・実験 7 混合物の分離
				第2節 光の反射	・光が鏡などの物体で反射するとき、光はどのように進むか調べる。 ・実験 1 鏡で反射する光の道筋
				第3節 光の屈折	・光が透明な物体を通りぬけるとき、光はどのように進むか調べる。 ・実験 2 直方体のガラスを通りぬける光の道筋
				第4節 レンズのはたらき	・凸レンズによる像のでき方には、どのような決まりがあるか調べる。 ・実験 3 凸レンズによる像のでき方

(知及技) ●音についての観察，実験を通して，音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝えることや，音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●音について問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，音の性質の規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●音に関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ●音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●音について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，音の性質の関係性や規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 (主学) ●音に関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第2章 音の世界 第1節 音の伝わり方	・振動している物体から出ている音は，どのように伝わるか考える。
		第2節 音の性質	・音の大きさや高さや音源の振動には，どのような関係があるか調べる。 ・実験4 弦の振動による音の大きさと高さ

		（知及技） ●物体に力をはたらかせる観察，実験を行い，物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり，運動のようすが変わったりすることや，力は大きさと向きによって表されること，物体にはたらく2力のつり合う条件を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につける。 （思判表力） ●力について問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。 （学・人） ●力のはたらきに関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，自然を総合的に見るができるようにする。	（知・技） ●力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●力のはたらきについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●力のはたらきに関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第3章 力の世界 第1節 日常生活のなかの力 第2節 力のはかり方 第3節 力の表し方 第4節 力のつり合い	・力は，どのようなはたらきをするか考える。 ・ばねを引く力とばねののびには，どのような関係があるか調べる。 ・実験5 力の大きさとばねののびの関係 ・物体にはたらく力は，どのように表すことができるか考える。 ・2つの力が1つの物体にはたらいているのに物体が動かないとき，2つの力にはどのような関係があるか調べる。 ・実験6 1つの物体にはたらく2つの力
3 学期	26	（知及技） ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，身近な地形や地層，岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，それらの観察・実験の技能を身につける。 （思判表力） ●身近な地形や地層，岩石の観察について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。 （学・人） ●身近な地形や地層，岩石の観察に関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見るができるようにする。	（知・技） ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，身近な地形や地層，岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●身近な地形や地層，岩石の観察について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●身近な地形や地層，岩石の観察に関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元4 大地の変化 導入観察 身近な地形や地層，岩石の観察	・身近な地形や地層，岩石を観察し，その特徴を記録する。 ・観察1 身近な地形や地層，岩石の観察
		（知及技） ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，火山活動と火成岩，自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，それらの観察・実験の技能を身につける。 （思判表力） ●火山，自然のめぐみと火山災害について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地下のマグマの性質と火山の形との関係性，自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現する。 （学・人） ●火山，自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかわり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに，自然を総合的に見るができるようにする。	（知・技） ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，火山活動と火成岩，自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 （思・判・表） ●火山，自然のめぐみと火山災害について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地下のマグマの性質と火山の形との関係性，自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 （主学） ●火山，自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第1章 火をふく大地 第1節 火山の姿からわかるこ 第2節 火山がうみ出す物 第3節 火山の活動と火成岩 第4節 火山とともにくらす	・マグマの性質と火山の形のどんな関係があるのか考える。 ・火山灰がどのような物でできているのか調べる。 ・観察2 火山灰にふくまれる物 ・火成岩の色やつくりについて調べ，ちがいがなぜ生じるか考える。 ・観察3 火成岩の観察 ・火山とともにくらすために，大切なことは何か考える。

		(知及技) ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 (思判表力) ●地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現する。 (学・人) ●地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●地震、地震災害に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 動き続ける大地 第1節 地震のゆれの伝わり方	・震源で発生したゆれが、どのようにして伝わるか調べる。 ・実習 1 地震の波の伝わり方	
				第2節 地震が起こるところ	・地震は、どのようなところでどのようにして起こるか考える。	
				第3節 地震に備えるために	・地震によって起こる被害を最小限におさえるためにはどのようなことが必要か考える。	
			(知及技) ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 (思判表力) ●地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現する。 (学・人) ●地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ●大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ●地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ●地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 地層から読みとる大地の変化 第1節 地層のつくりとはたらき	・れき、砂、泥がどのようにして地層をつくるか考える。
					第2節 堆積岩	・それぞれの堆積岩にどのような特徴があるか調べる。 ・観察 4 堆積岩の見分け方
					第3節 地層や化石からわかること	・地層や化石から、どのようなことがわかるか考える。
				第4節 大地の変動	・海底でできた地層が見られる山脈や山地は、どのような力でつくられるか考える。	
				第5節 身近な大地の歴史	・地層から大地の歴史を知るには、どのようなことを調べてまとめればよいか考える。 ・観察 5 身近な地層で調べる大地の歴史	

令和8年度 中学部 1年（I 課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	中学生の音楽1 / 中学生の器楽/他	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱, 器楽, 創作の技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや, 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み, 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (思判表力)音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表)音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	曲想と曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫しよう	「We'll Find The Way」 「My Voice！」 「リズムゲーム・リズムアンサンブル」
	4	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり及び楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力)音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫することができる。 (学・人) 4つのパートの役割に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各西部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表)音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きの生み、出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色と奏法との関わりを理解して, 器楽表現を工夫しよう	「千の風になって」 「カントリーロード」
	4	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表)音色、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学)曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	「ジョーズのテーマ」
2 学期	4	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (思判表力)音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) 旋律や強弱の生み出す曲想の変化、音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表)音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	曲想やパートの役割を感じ取って歌唱表現を工夫しよう	「君をのせて」
				日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう	「赤とんぼ」「浜辺の歌」

747	4	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な技能を身に付ける。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 (学・人) 曲の構成に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各西部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	曲の構成を理解して表現を工夫しよう	「風にのって」 太鼓を打ってみよう
	4	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 (思判表力) リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 (学・人) 反復、変化、対象などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知・技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解している。創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 (思・判・表) 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (主学) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音の重なり方や反復, 変化を理解して創作表現を工夫しよう	「Let's Create!」 「My Melody」
	3	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	「魔王」
3 学期	4	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	音楽で卒業生を送り出そう	・歌唱 ・器楽(合奏)
	4	(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ・箏曲「六段の調」 ・さくらさくら ・春の海	・箏曲の特徴について（音色、奏法、旋律の特徴、速度の変化） ・箏曲の歴史や背景について ・鑑賞 ・ワークシート
留意点 引継ぎ等		○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 中学部 1年(Ⅰ課程) 美術科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		中学部1年(Ⅰ課程)			美術1, 2・3(光村図書)／他
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 創造的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができるようにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ●形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす効果などについて理解することができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、全体のイメージで捉え、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができる。 (主学) ○自ら進んで創作活動や、鑑賞の活動に取り組み、作品の造型的な良さを感じようとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 『色と形であらわす』	・教科書に掲載されている作品を見たり、1年間の計画や内容を理解する。 ・様々な画題やモダンテクニックの技法を用いて自由に表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●対象や事象を見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考え、創造的な構成を工夫し心豊かに表すことができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。2,3学年	(知・技) ○版画の技法や道具の扱いなどを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、主題を全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った表現方法を選択し、意図に応じて工夫して構成を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『版で表す』	・身近なものから発想して主題を生み出し、版画で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考え、見通しを持って表すことができる。 (思判表力) ●構成や装飾の目的や条件などを基に調和のとれた美しさなどを総合的に考え表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、形や色などを工夫して、見通しをもって制作をすることができる。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かしてより美しく表現しようとしている。 (主学) ○地域の伝統工芸に興味を持ち、自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・コースターなどの小作品を紅型の型染めで自分の好みの配色に染める。
2学期	14	(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。2,3学年	(知・技) ○材料や用具の特性活かして形や質感などが感情にもたらす効果をもとに、対象を立体的にとらえて制作しようとしている。 (思・判・表) ○彫刻の作品を鑑賞し、作者の意図や心情などについて考え、自分なりの感想や意見を持つことができる。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	絵や彫刻など 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見たり触ったりしながら特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(思判表力) ●世界の美術作品の良さや日本の伝統や文化の良さや美しさを感じ取り、愛情を深め、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(思・判・表) ○美術作品、工芸品の造形的なよさや美しさ、生活様式との関連性を感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や季節にあわせた工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 『美術作品に親しもう』 『茶道と日本美術』	・タブレット端末や教科書などを利用し、世界中のさまざまな美術作品を鑑賞し、友だちと話し合ったり、自分の意見をはっきりしたりする。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・季節に合わせた茶道具を使って実際に点前の体験を行う。

		(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●使う目的や条件などを基に社会とのかかわりやユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや美しさなどとの調和を総合的に考え表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○意図に応じて表現方法などを創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって制作しようとしている。 (思・判・表) ○設置する場所や使う目的、生活とのかかわりなどから主題を生み出し、光の効果や使いやすさ、美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『明かりをつくろう』	・身近なものをヒントに、主題を生み出し、心がほっとするような明かりの作品を作る。工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
3 学期	9	(知及技) ●意図に応じてタブレットやアプリなどの特性を生かすことができる。 (思判表力) ●映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現を考えることができる。 (学・人) ●映像メディアの表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えることができる。	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、構図や動きなどの視覚的な要素の働きについて考え、構想を練っている。 (主学) ○映像メディアの特質や表現効果などを感じ取り、主題を伝えるために撮影の工夫をするなど主体的に創造活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『コマ撮りアニメーションに挑戦！』	・人物や学校生活の情景を撮影することに関心を持ち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知及技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 (思判表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営むことができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『共同制作の魅力 気持ちをあらかわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
	留意点 引継ぎ等	※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和 8 年度 中学部1年（ I 課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 1 年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしたりすることができる。	(知・技)・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを伝えている。 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえて運動している。 (主学)体づくり運動に仲間と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <例示>体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態 で約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行う。
		(知及技) チームや自己の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しながらゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表)課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学)作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこむ。
		(知及技) 記録向上の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法を身に付けることができる。 (思判表力)泳法などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配りながら活動することができる。	(知・技)・ ブルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表)体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学)水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について知ることができる。 (思判表力)健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)健康な生活と疾病の予防についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表)自分の生活を振り返り、よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。 (主学)自分の健康に関心を持ち、健康について考えようとしている。	保健分野（健康な生活と疾病予防①）	1 健康の成り立ち 自分にとって健康とは何かについて考える。 2 運動と健康 生活の中に運動を取り入れるためにできることについて考える。 3 食生活と健康 健康のために食生活で気を付けるべきことについて理解する。 4 休養・睡眠と健康 健康のために休養・睡眠をどのようにとればよいか理解する。 5 調和のとれた生活 調和のとれた生活とそれを続ける工夫について考える。

2 学 期	42	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて学び、伝えている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運んだり、仲間にパスをしたりすることができる。 (思・判・表)選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 (主学)フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶ。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送る。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 上段突き、中段突き ・ 正面蹴り、足刀蹴り ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けている。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組もうとしている。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期（発育急進期）に当たることを理解している。 (思・判・表)自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学)望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を持っている。	保健分野（心身の機能の発達）	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とどう向き合うか 性情報への対処について考える。
3 学 期	26	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 (思判表力)攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事ができる。	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて学んだことを伝えている。 (思・判・表)提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 (主学)マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つ。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりする。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身につける。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 心の働きには知的機能や情意機能があり、さまざまな経験や学習によって発達することを理解している。 (思・判・表)人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。 (主学)欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達（1）知的機能と情意機能の発達 心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する 6 心の発達（2）社会性の発達 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考える。 7 自己形成 どのように自己形成がなされるかについて理解する。 8 欲求不満やストレスへの対処 リラクセーションの方法を実習を通して身に付ける。
		(知及技) 運動やスポーツの効果について知ることができる。 (思判表力)運動やスポーツを行う時に自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 (学・人)運動やスポーツの様々な効果についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 様々なスポーツの効果について知り、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 (思・判・表)スポーツの意義や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 (主学)スポーツの心身への効果に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	体育理論（運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方）	1 運動やスポーツの効果 2 運動やスポーツの学び方 3 運動やスポーツの安全な行い方
留意点 引継ぎ等		・ 保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中12程度)と記載している。 ・ 体づくり運動は年間を通して行う。			

令和8年度 中学部1年（Ⅰ課程） 技術・家庭（技術分野）年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部1年		技術・家庭（技術分野） テクノロジーに希望をのせて 開隆堂

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 （思判表力） ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人） ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	35	（学・人） 技術分野ガイダンス 技術の役割を考えることができる。	・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち主体的に学習に取り組もうとしている。（主学）	・技術分野の入口のガイダンス ABCD（1）イ （1）ア（5）ウ	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表する。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。
		（知及技）（学・人） ①身の回りの材料と加工の技術について知ることができる。	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。（知・技） ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。（主学）	A（1）アイ 材料を利用するための技術	・身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているか知る。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。
		（知及技） ②木材・金属・プラスチックの特性について知ることができる。	・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。（知・技）		・木材、金属、プラスチックの特性について調べる。 ・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。
		（知及技） ③材料に適した加工方法を知ることができる。	・目的に応じた工具や機械について理解している。（知・技）		・工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全の決まりを確認する。簡単な加工体験を行う。
		（知及技） ④丈夫な製品を作るために工夫することができる。	・身の回り製品を丈夫にする方法を調べる活動を通して、構造、部材を丈夫にする方法について理解している。（知・技）		・部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。
		（思判表力） ⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ることができる。	材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。（思・判・表）		・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。
		（思判表力） ①問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。（思・判・表）	A（2）アイ （1）イ（6）アイ 問題解決の手順 A（1）ア（2）ア （6）アイエ 製作のための技能	・身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。
		（知及技）（思判表力） ②製品を構成し、設計することができる。	・製作に必要なずの描き方を理解している。（知・技） ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。（思・判・表）		・課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。（機能、材料、構造、加工法の検討） ・製作品に必要な構想を製作に必要な図に表す。（等角図、第三角法による正投影図）
		（思判表力） ③製作の計画を立てることができる。	・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。（思・判・表）		・工程ごとに使用する工具や機器を調べる。
		（知及技） ④製品を構成し、設計することができる。	・安全、適切な製作や検査修正をすることができる技能を身に付けている。（知・技）		・寸法線に従って部品加工、切断、組み立て、表面処理を行う。
		（学・人） ⑤問題解決の評価、改善・修正することができる。	・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。（主学）		・材料と加工の技術に込められた問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し改善修正する方法について考える。
		（知及技） ①材料と加工の技術の最適化を工夫することができる。	・材料と加工の技術の概念について理解している。（知・技）	A（3）アイ （7）	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。
		（学・人） ②これからの材料と加工の技術を確認することができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて考えている。（主学）		・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。
		（知及技）（学・人） ①生物生育の技術を知ることができる。	・生物を育てる技術の目的について理解しようとしている。（技・知） ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。（主学）	B（1）ア （2）ア（6）アイ さまざまな生物育成の技術	・生物育成の目的を知る。（食料の生産、材料・燃料の生産、健康医療など） ・生物育成の技術についてまとめる。（生育環境を調整する技術、生物の成長を管理する技術、生物の特徴を改良する技術）
		（知及技） ②作物の生育環境を調節する技術を知ることができる。	・作物の生育環境を調節する技術について理解している。（知・技）		・作物の育成環境を調整する技術について調べる。（光、温度、水分、土の管理）
		（知及技） ③作物の育成環境を調節する技術を身に付けることができる。	・作物の育成環境を調節する技術についての技術を身に付けようとしている。（知・技）		・作物の生長を管理する技術について調べる。 ・作物の生長を管理する技術とその目的についてまとめる。
		（知及技） ④動物を育てる技術を知ることができる。	・動物を健康に育てるための技術について理解している。（知・技）		・人と動物との関わりについて知る。 ・家畜としての動物の利用を調べる。 ・動物を健康に育てるための技術を調べる。
		（知及技） ⑤水産生物を育てる技術を身に付けることができる。	・水産生物を安定的に供給するための養殖について理解している。（知・技）		・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について知る。 ・水産生物を健康に育てるための技術を調べる。
		（思判表力） ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ることができる。	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。（思・判・表）		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気づいたことをまとめる。

		(思判表力) ①問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 (思・判・表)	B (1) イ (2) アイ (2) イ (6) アイエ 生物育成の技術による 問題解決	・家庭、学校、地域、社会における生物生育の技術によって解決できる問題を見つける。
		(思判表力) (学・人) ②生物の育成計画を立て実践することができる。	・育成する作物に適した環境条件について考える。(思・判・表) ・育成する目的の合わせて栽培計画を立てる力を身に付けている。(思・判・表) ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用としている。(主学)		・生物を育てる目的を考え、生物の成長に合わせた育成計画を立てる。(販売用、自家消費用) (食用、観賞用、加工用、飼料用など)
		(知及技) (学・人) ③成長に合わせて適切に育成の方法を知ることができる。	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技術を身に付けている。(知・技) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(主学)		・安全に配慮し、成長の状態に合わせて適切な管理作業をおこなう。 (ミニトマトの場合) ・定植、支柱立て、誘引、灌水、元肥、追肥、摘芽、摘芯、受粉、健康管理、病害虫駆除、収穫。 ・管理作業の内容を栽培記録表にまとめる。
		(思判表力) (学・人) ④問題解決の評価、改善、修正し工夫することができる。	・育成過程や問題解決の結果を評価し改善及び修正する力を身に付けている。(思・判・表) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(主学)		・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法についてかんがえる。
		留意点 引継ぎ等			
・「技術の見方・考え方」を働かせた深い学びになるように配慮する。 ・技術の学習を通して、どうすればSDGsの目標を達成できるかについて考える。					

令和8年度 中学部1年（Ⅰ課程）技術・家庭（家庭分野） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学1年		新しい技術・家庭 家庭分野/東京書籍

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (学・人) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技)住まいの役割や基本的な機能について理解できる。 (知及技)健康で快適な室内環境の条件を知り、改善策を考えることができる。 (思判表力)住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考えることができる。	(知・技)住居の基本的な機能について理解している。 (思・判・表)家族の健康や安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 (主学)自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫し創造し、実践しようとしている。	4編1章 ①住まいの役割と安全な住まい ②住まいと気候風土関わり ③健康で快適な室内環境 ④家族住まい安全・安心 ⑤災害への対策 2章 ①持続可能な住生活目指して	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。 ・自分の地域の住まいの特徴について調べる。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。 ・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
		(知及技)自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考えることができる。 (知及技)計画的な金銭管理の必要性を理解することができる。 (思判表力)消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考えることができる。 (学・人)商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理することができる。	(知・技)売買契約の仕組みについて理解している。 (思・判・表)実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について考えている (主学)物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定し、改善しようとしている。	5編1章私たちの消費生活 ①消費としての自覚 ②購入方法支払い方法 ③バランス良く計画的な金銭管理 ④消費トラブルその対策 5編2章 責任ある消費者になるために ①何を考え決めますか -意思決定のプロセス- ②消費者としてできること -権利と責任 5編3章 持続可能な消費生活 ①省エネルギーと持続可能な社会 ②持続可能な消費生活を目指して	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について確認する。 ・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。 ・ ・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・自分に合った金銭管理の方法を考えてまとめる。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・商品（物資やサービス）を適切に選択、購入する方法について考える。 ・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。 ・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
2学期	16	(知及技)これまでの衣食住や消費生活・環境での学習、自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考えることができる。 (思判表力)幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解・幼児の生活習慣がどのように身についていくのかを考えることができる。 (学・人)幼児と関わるときのことを想定して、絵本の読み聞かせを練習したり、簡単な遊び道具を調べたりすることができる。	(知・技)幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて気づいている。 (思・判・表)幼児の生活やさまざまな遊びを観察し、遊びで育つ力について考えている。 (主学)幼児の生活や衣生活、消費生活に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	6編1章 家族・家庭生活での自立 ①家庭生活の協力・協働 2章 幼児の生活と家族 ①幼い頃振り返り ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の1日の生活 ⑤支えられて身に付ける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ⑦遊びを豊かにする物	・これまでの衣食住や消費生活・環境での学習、自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。 ・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢、エピソードなどを書き出し、気づいたことをまとめる。 ・幼児の体の発達の特徴について考える。 ・幼児の心の発達の特徴について考える。 ・幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解・幼児の生活習慣がどのように身についていくのかを考える ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。 する ・幼児の生活やさまざまな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・幼児が遊ぶために適切な環境があることを知る。 ・遊び道具について調べ、遊び道具の役割について考える。 ・幼児と関わるときのことを想定して、絵本の読み聞かせを練習したり、簡単な遊び道具を調べたりする。
		(知及技)家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考えることができる。 (思判表力) 家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 (学・人)高齢者の体の特徴を理解し、高齢者との関わり方を考えることができる。	(知・技)家族の互いの立場や役割について理解している。 (思・判・表) 家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 (主学) 高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	6編3章 持続可能な家庭・地域生活 ①家族との関わり ②家族や地域の高齢者との関わり ③地域での協働を目指して	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。 ・高齢者の体の特徴を理解し、高齢者との関わり方を考える。
留意点 引継ぎ等		生徒の体調や理解度に応じて学習を進める。			

令和8年度 中学部1年（I課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 1年		Here We Go! 1 (光村図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の基本的な働きなどを理解し、4技能を活用してコミュニケーションを行うための基礎的な技能を身につける。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題などについて、外国語で簡単な考えを理解したり、表現したりすることができる力を養う。 (学・人) 外国語学習を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) ・アルファベットや数や基本的な単語を聞き取り、小学校で学習した表現を使った会話から内容を理解できる。 ・アルファベットを書いたり、小学校で学習した表現を使って自分のことを書くことができる。 (思判表力) ・同じ色が好きな友達を探すなどの目的のために、適切な表現を使って友達とやりとりをすることができる。 ・英語の音と文字の関係について考えることができる ・積極的に会話ができる。 ・積極的に英語らしい発音ができる。	(知・技) ・アルファベットや数や基本的な単語を聞き取ったり、小学校で学習した表現を使った会話から内容を理解したりしている。 ・アルファベットを書いたり、小学校で学習した表現を使って自分のことを書いたりしている。 (思・判・表) ・同じ色が好きな友達を探すなどの目的のために、適切な表現を使って友達とやりとりをしている。 ・英語の音と文字の関係について考えている。 (主学) ・積極的に話題を選んで会話をしようとしている。 ・積極的に英語らしい発音をしようとしている。	Let's Be Friends!	・好きな色を聞き取ったり、友達と好きな色をたずね合ったり、自分の好きな色を書いたりする。 ・数を表す言葉を読んだり、聞いたり、ゲームやクイズをしながら数を言ったりする。 ・アルファベットの大文字を聞いて書き取ったり、小文字を聞いて書き取ったりする。 ・音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりする。
		(知及技) ・I'm ～. I (don't)like ～. I can/can't ～.の構文について正確に理解できる。 ・自分の出身地、年齢、好きなものや好きでないもの、できることやできないことを正確に伝え合う技能を身につけることができる。 (思判表力) ・自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できごと、その他の情報を適切に書くことができる。 (学・人) ・自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに自分についての情報を積極的に書くことができる。	(知・技) ・I'm ～. I (don't)like ～. I can/can't ～.の構文について正確に理解している。 ・自分の出身地、年齢、好きなものや好きでないもの、できることやできないことを正確に伝え合う技能を身につけている。 (思・判・表) ・自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できごと、その他の情報を適切に書いている。 (主学) ・自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに自分についての情報を積極的に書こうとしている。	Unit 1 Here We Go!	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・I'm ～. I (don't)like ～. I can/can't ～.の構文を使った文を聞いたり、これらの構文を用いて話したり書いたりする。 ・自己紹介カードに自分の情報を書く。
		(知及技) ・海外宛ての送り状の宛名や住所の書き方を正確に理解できる。 ・海外宛ての送り状に、宛名や住所、自分の名前などを正確に書くことができる。	(知・技) ・海外宛ての送り状の宛名や住所の書き方を正確に理解している。 ・海外宛ての送り状に、宛名や住所、自分の名前などを正確に書く技能を身につけている。	Daily Life 1 国際郵便	・教科書のモデルを参考にして、海外宛ての送り状に宛名や住所を書く。

1 学期		(知及技) ・ Are you ~? Do you ~? Can you ~?の構文について正確に理解できる。 ・好きなことやできることなどを正確に伝え合うことができる。 (思判表力) ・登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取り、正確に理解できる。 (学・人) ・登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取ることができる。	(知・技) ・ Are you ~? Do you ~? Can you ~?の構文について正確に理解している。 ・好きなことやできることなどを正確に伝え合う技能を身につけている。 (思・判・表) ・登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取り、正確に理解している。 (主学) ・登場人物に合う部活動を知るために、会話からその人物の好みや得意なことなどを聞き取るようとしている。	Unit 2 Club Activities	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・ Are you ~? Do you ~? Can you ~?の構文を使った会話を聞いたり、これらの構文を用いて話したり書いたりする。 ・会話から好みや得意なことを聞き取る。
		(知及技) ・ What do you ~?の構文、動詞のing形、want to ~の表現について正確に理解できる。 ・週末にすること、好きなこと、したいことを正確にたずねあうことができる。 (思判表力) ・友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートをとることができる。 (学・人) ・友達の夏休みの過ごし方を知るために、積極的に質問を続けながらアンケートをとることができる。	(知・技) ・ What do you ~?の構文、動詞のing形、want to ~の表現について正確に理解している。 ・週末にすること、好きなこと、したいことを正確にたずね合う技能を身につけている。 (思・判・表) ・友達の夏休みの過ごし方を知るために、夏休みにしたいことについて適切な質問をしてアンケートをとっている。 (主学) ・友達の夏休みの過ごし方を知るために、積極的に質問を続けながらアンケートをとろうとしている。	Unit 3 Enjoy the Summer	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・ What do you ~?の構文、動詞のing形、want to ~の表現を使った会話を聞いたり、これらの構文や表現を用いて話したり書いたりする。 ・夏休みにしたいことについてアンケートを取る。
		(知及技) ・ How many ~?やHow do you ~?の構文について正確に理解できる。 (思判表力) ・自分たちとの共通点や相違点に気づくために、インタビューから世界の中学生の生活の様子を聞き取り、適切に理解できる。	(知・技) ・ How many ~?やHow do you ~?の構文について正確に理解している。 (思・判・表) ・自分たちとの共通点や相違点に気づくために、インタビューから世界の中学生の生活の様子を聞き取り、適切に理解している。	World Tour 1 世界の中学生	・インタビューを聞いて、世界の挨拶や中学生の様子を知る。
		(知及技) ・ am, areや一般動詞やcanを使って、自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解できる。	(知・技) ・ am, areや一般動詞やcanを使って、自分と相手のことを伝える言い方を正確に理解している。	Active Grammar 1 am, are/一般動詞/can	・ Unit 1～3のストーリーを読み返し、am, areや一般動詞、can, can'tを○で囲み、使い方に慣れる。
		(知及技) ・自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。 (思判表力) ・友達に自分のことを知ってもらうために、伝えたいことを整理して適切に自己紹介ができる。	(知・技) ・自分の出身地、誕生日、趣味、好きなことやしたいことなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話す技能を身につけている。 (思・判・表) ・友達に自分のことを知ってもらうために、伝えたいことを整理して適切に自己紹介をしている。	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	・グループで自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つける。
2 学期	41	(知及技) ・3人称単数を主語とするbe動詞の文やWho's ~?の構文について正確に理解できる。 (思判表力) ・友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して、Who's this?クイズを作成することができる。 (学・人) ・その人物が誰か友達が分かるように、紹介のしかたを工夫することができる。	(知・技) ・3人称単数を主語とするbe動詞の文やWho's ~?の構文について正確に理解している。 (思・判・表) ・友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して、Who's this?クイズを出題している。 (主学) ・その人物が誰か友達が分かるように、紹介のしかたを工夫しようとしている。	Unit 4 Our New Friend	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・3人称単数を主語とするbe動詞の文やWho is ~?の構文を使った会話を聞いたり、これらの構文や表現を用いて話したり書いたりする。 ・紹介したい人物の情報をまとめ、グループでWho's this?クイズをする。

2 学期		(知及技) ・ whereやwhenで始まる疑問文や命令形について正確に理解できる。 ・ 場所や時間を正確にたずね合ったり標識の意味を説明できる。 (思判表力) ・ 学校公開の日程や注意事項を知るために、案内状から必要な情報を読み取ることができる。 (学・人) ・ 学校公開の案内状から必要な情報を読み取ることができる。	(知・技) ・ whereやwhenで始まる疑問文や命令形について正確に理解している。 ・ 場所や時間を正確にたずね合ったり標識の意味を説明したりする技能を身につけている。 (思・判・表) ・ 学校公開の日程や注意事項を知るために、案内状から必要な情報を読み取り、適切に理解している。 (主学) ・ 学校公開の案内状から必要な情報を読み取ろうとしている。	Unit 5 This Is Our School	・ 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・ WhereやWhenで始まる疑問文や命令形を使った会話を聞いたり、これらの構文や表現を用いて話したり書いたりする。 ・ 学校公開の案内状を読んで内容を理解する。
		(知及技) ・ whoseで始まる疑問文や「～のもの」という言い方について正確に理解できる。	(知・技) ・ whoseで始まる疑問文や「～のもの」という言い方について正確に理解している。	Daily Life 2 落とし物	・ 落とし物の持ち主を探すやりとりを演じる。
		(知及技) ・ 人称代名詞や指示代名詞の使い方を正確に理解できる。	(知・技) ・ 人称代名詞や指示代名詞の使い方を正確に理解している。	Active Grammar 2 代名詞	・ Unit 4～5のストーリーを読み返し、人称代名詞や指示代名詞を○で囲み、その使い方に慣れる。
		(知及技) ・ 3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文、疑問文、否定文について正確に理解できる。 ・ 友達について正確に説明したり尋ね合ったりできる。 (思判表力) ・ クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近な素敵な人を紹介する文を書くことができる。 (学・人) ・ クラスの友達にその人の良さが伝わるように紹介文を書くことができる。	(知・技) ・ 3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文、疑問文、否定文について正確に理解している。 ・ 友達について正確に説明したり尋ね合ったりする技能を身につけている。 (思・判・表) ・ クラスの友達に紹介するために、適切な組み立てと表現で自分の身近な素敵な人を紹介する文を書いている。 (主学) ・ クラスの友達にその人の良さが伝わるように紹介文を書こうとしている。	Unit 6 Cheer Up, Tina	・ 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・ 3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文、疑問文、否定文を使った会話を聞いたり、これらの文を用いて話したり書いたりする。 ・ クラスの友達に向けて、身近な素敵な人を紹介する文を書く。
		(知及技) ・ 主語が3人称単数のときのbe動詞と一般動詞の使い方を正確に理解できる。	(知・技) ・ 主語が3人称単数のときのbe動詞と一般動詞の使い方を正確に理解している。	Active Grammar 3 is/3人称単数現在形	・ Unit 4～6のストーリーを読み返し、isと-(e)sのついた一般動詞を○で囲み、文の主語を確認する。
		(知及技) ・ Can I ～?, Which ～ or ～?, How much ～?という言い方について正確に理解できる。	(知・技) ・ Can I ～?, Which ～ or ～?, How much ～?という言い方について正確に理解している。	Daily Life 3 カフェ	・ Can I ～?, Which ～ or ～?, How much ～?という言い方を使って、飲食店で注文するやりとりを演じる。
		(知及技) ・ What time is it?を使った会話を聞いて、正確に時刻を聞き取ることができる。 (思判表力) ・ 世界の各都市の時刻を確かめるために、会話から各国の時刻を聞き取ることができる。	(知・技) ・ What time is it?を使った会話を聞いて、正確に時刻を聞き取る技能を身につけている。 (思・判・表) ・ 世界の各都市の時刻を確かめるために、会話から各国の時刻を聞き取り適切に理解している。	World Tour 2 世界の時刻	・ 電話での会話から世界各都市の時刻を聞き取り、時差を確かめる。
		(知及技) ・ 疑問詞を使った疑問文とその答え方を正確に理解できる。	(知・技) ・ 疑問詞を使った疑問文とその答え方を正確に理解している。	Active Grammar 4 疑問詞	・ Unit 4～5のストーリーを読み返し疑問詞を○で囲み、その答え方を確認する。
		(学・人) ・ What am I?の答えを知るために、説明文から”I”についての情報を読み取ることができる。	(主学) ・ What am I?の答えを知るために、説明文から”I”についての情報を読み取ろうとしている。	Let's Read 1 What Am I?	・ 説明文から”I”についての情報を読み取り、What am I?の答えを理解する。

		(知及技) ・人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。 (思判表力) ・CMIに採用されるために、グループで考えた「ドリームファミリー」を適切な表現を使って紹介することができる。	(知・技) ・人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話す技能を身につけている。 (思・判・表) ・CMIに採用されるために、グループで考えた「ドリームファミリー」を適切な表現を使って紹介している。	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・グループごとに「ドリームファミリー」を紹介し、CMIに採用する「ドリームファミリー」をクラスで決定する。
3 学期	27	(知及技) ・一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文やbe動詞の過去形について正確に理解できる。 ・したことやその感想を正確に伝えることができる。 (思判表力) ・ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想を書くことができる。 (学・人) ・冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想を書くことができる。	(知・技) ・一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文やbe動詞の過去形について正確に理解している。 ・したことやその感想を正確に伝えある技能を身につけている。 (思・判・表) ・ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想を書いている。 (主学) ・冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想を書くようとしている。	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文やbe動詞の過去形を使った会話を聞いたり、これらの文を用いて話したり書いたりする。 ・ALTに宛てて、冬休みの出来事を伝えるはがきを書く。
		(知及技) ・一般動詞人称とbe動詞の過去形の使い方、意味、かたちを正確に理解できる。	(知・技) ・一般動詞人称とbe動詞の過去形の使い方、意味、かたちを正確に理解している。	Active Grammar 5 動詞の過去形	・Unit 7のストーリーを読み返し動詞の過去形を○で囲み、その動詞の原形を確認する。
		(知及技) ・見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。	(知・技) ・見出しや写真を参考にして、ウェブサイトから必要な情報を読み取る技能を身につけている。	Daily Life 4 ウェブサイト	・様々な情報の中から必要な情報を探すにはどのように読むと良いか話し合う。
		(知及技) ・現在進行形の肯定文、疑問文とlook+形容詞について正確に理解することができる。 ・人がしていることや品物の印象を正確に伝え合う技能を身につけることができる。 (思判表力) ・どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取ることができる。 (学・人) ・どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取ることができる。	(知・技) ・現在進行形の肯定文、疑問文とlook+形容詞について正確に理解している。 ・人がしていることや品物の印象を正確に伝え合う技能を身につけている。 (思・判・表) ・どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取り、適切に理解している。 (主学) ・どの写真を説明しているかを知るために、写真の説明からその場の状況を聞き取ろうとしている。	Unit 8 Getting Ready for the Party	・本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味、かたち、使い方を理解する。 ・現在進行形の肯定文、疑問文とlook+形容詞を使った会話を聞いたり、これらの文を用いて話したり書いたりする。 ・パーティーの写真の説明からその場の状況を聞き取り、ふさわしい人物の絵を選ぶ。
		(知及技) ・現在進行形の使い方、意味、かたち、現在形との違いについて正確に理解できる。	(知・技) ・現在進行形の使い方、意味、かたち、現在形との違いについて正確に理解している。	Active Grammar 6 現在進行形	・Unit 8のストーリーを読み返し現在進行形の文を○で囲み、その文が表す状況を確認する。
		(知及技) ・ラジオ中継を聞いて、どこから何をリポートしているか聞き取ることができる。	(知・技) ・ラジオ中継を聞いて、どこから何をリポートしているか聞き取る技能を身につけている。	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオ中継を聞いて、中継している場所、気温、中継の対象、リポーターが食べたものを聞き取る。
		(学・人) ・物語を楽しむために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかむことができる。	(主学) ・物語を楽しむために、時を表す語や誰が何をしたかに注目して読み、あらすじをつかもうとしている。	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	・キーワードから物語の内容を予想し、物語を読んであらすじをつかんだ後、詳細を読み取る。
		(知及技) ・自分たちの学校行事について、自分たちがしたことやすることなどを簡単な語句や文を用いて話すことができる。 (思判表力) ・自分たちの学校と同じところや違うところを見つけるために、学校行事のウェブサイトから情報を読み取ることができる。	(知・技) ・自分たちの学校行事について、自分たちがしたことやすることなどを簡単な語句や文を用いて話す技能を身につけている。 (思・判・表) ・自分たちの学校と同じところや違うところを見つけるために、学校行事のウェブサイトから情報を読み取っている。	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校行事のウェブサイトから自分たちの学校と同じところや違うところを知り、自分たちのウェブサイトについて考える。

		(学・人) ・Tinaが日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えることができる。	(主学) ・Tinaが日本語について感じていることを知るために、日本語と英語の違いなどについて書かれたレポートの概要や要点を捉えようとしている。	Let's Read More My Japanese Lessons	・レポートを読んで概要をつかんだ後、Tinaが日本語について感じているのはどんなことかを読み取り、日本語と英語の違いについて考える。
留意点 引継ぎ等	特になし				

令和8年度 中学部 1 年（I 課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部 1 年		「中学道徳 あすを生きる①」 日本文教出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。 (中学部 1 学年の目標) ・基本的な生活習慣を身につけ、明るい生活態度を養う。 ・学級や学校の一員としての自覚を持たせ、思いやりの協調の精神を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	夢をもつことの大切さに気づき、目標に向かい希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。	困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く意志の大切さに気づき、自分の生活の中で夢や目標をもって取り組もうとする、意欲的な発言や記述が見られたか。	サッカー漫画を描きたい	・日常生活を振り返る。 ・『キャプテン翼』の挿絵を見る。 ・教材「サッカーの漫画を描きたい」を読み、考える。
		人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し、よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。	自分の弱さを克服してよかった、これからもよりよく生きていこうといった発言や記述が見られたか。	挫折から希望へ	・弱い心に負けそうになったことについて話し合う。 ・教材「挫折から希望へ」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気づき、自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする心情を育てる。	自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づき、それをあたりまえと思わないことや、感謝の気持ちを素直に表現することが大切であるといった発言や記述が見られたか。	人のフリみて	・最近、誰かに感謝したことがあるか考える。 ・教材の『人のフリみて』を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、学んだことをまとめる。
		あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時、場所、場面に応じて適切な言動をしようとする態度を育てる。	あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることを理解し、時、場所、場面に応じた言動をしようとする発言や記述が見られたか。	「愛情貯金」をはじめませんか	・日頃の自分の挨拶について振り返る。 ・教材「『愛情貯金を始めませんか』」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。	人間としてよりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりをせず、積極的に正義や公正を実現しようとする発言や記述が見られたか。	さかなのなみだ	・いじめについて考える ・教材「さかなのなみだ」を読み、考える。 ・教師説話を聞く
		互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。	互いに心から信頼できる友情を築き、いっそう友達を大切にしたいという発言や記述が見られたか。	近くにいた友	・友達とはどんな存在か、考える。 ・教材「近くにいた友」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く
		自己を見つめてそのよさに気づき、個性を生かして前向きに生きていこうとする態度を育てる。	発言や記述から、自己を見つめ、自らのよさに気づき、これからの生き方の中でそれを伸ばしていこうとする気持ちをもって、また、自らの体験を振り返りながら考えを深める様子が見られたか。	トマトとメロン	・「自分のよさ」はどんなところか、言葉にしてみる。 ・教材「トマトとメロン」を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、考えたことをまとめる。 ・相田みつをの作品と人生について知る。
		生命は連綿とつながっており、関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに、与えられた生命をせいっぱい生きようとする態度を養う。	生命が関わり合い支え合ってきたことを自分なりに考え、自他の生命を尊重してせいっぱい生きたいといった発言や記述が見られたか。	ばあば	・教材に興味を持つ。 ・教材「ばあば」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。	よりよい社会の実現のために進んできまりを守ろうとする発言や記述が見られたか。	ふれあい直売所	・アンケート結果を知る。 ・教材「ふれあい直売所」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		身近なゴミ問題を考え話し合うことをとおして、社会に尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。	身近にあっても解決が一筋縄ではない現代的な問題に対し、よりよい社会の実現をめざして、具体的な解決を自分なりに考えようとする意欲が発言や記述に見られたか。	あったほうがいい？	・日頃の経験を振り返る。 ・教材「あったほうがいい？」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		身近に起こり得る交通事故をもとに、安全や危機管理の大切さを理解し、安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲を育てる。	日常の安全や防災への意識をあらためて捉え直そうとする発言や記述が見られたか。	疾走、自転車ライダー	・けがをしたり、しそうになったりした経験から、そのときの状況を分析してみる。 ・教材「疾走、自転車ライダー」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。

		国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする態度を育む。	他国の文化や伝統などを尊重し、国際的視野に立って、世界平和と人類の発展に寄与しようとする発言や記述が見られたか。	花火に込めた平和への願い	・アリゾナ記念館の写真を見て、感じたことを発表する。 ・教材「花火に込めた平和への願い」を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、考えたことをまとめる。
2 学 期	14	異性についての理解を深め、互いに相手の人格を尊重しながら接しようとする実践意欲を育てる。	一方的な関心や憧れでなく、相手の心や思いを素直に受け止め、一人の人間として互いの人格を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られたか。	部活の帰り	・異性の好きなどところ、嫌いなどところについてのアンケートの結果から、異性に対するイメージについて考える。 ・教材「部活の帰り」を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、考えたことをまとめる。
		周囲の目に惑わされず、自分の中にある自主性を大切にし、自分で決め、考え、行おうとする実践意欲を育てる。	「自分らしさ」とは何かを考え、人間として成長していくために、自主的に考え、判断し、行動しようとする意欲が発言や記述に見られたか。	私らしさって？	・中学校に入学してから現在までの心境を考える。 ・教材「私らしさって？」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し、協力し合って学校生活を充実させようとする実践意欲を育てる。	学級や学校の一員としての責任を考え、集団の質を高めながらよりよい学校生活を送ろうとする発言や記述が見られたか。	むかで競走	・小学校から中学校に入ってから学校生活集団で、一丸となって取り組んだ体験を振り返る。 ・教材「むかで競争」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し、郷土への誇りや愛着をもち、郷土に対して主体的に関わろうとする実践意欲を育む。	地域に伝えられてきた伝統と文化を、自分たちが受け継いでいくことが大切であるといった発言や記述が見られたか。	震災を乗り越えて―復活した郷土芸能―	・身近な伝統芸能や郷土芸能の動画を見る。 ・教材「震災を乗り越えて―復活した郷土芸能―」を読み、考える。 ・教師の話を聞く。
		法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。	法やきまりが社会でどんな役割を果たしているかを考え、自他の権利を重んじる自覚が発言や記述に見られたか。	使っても大丈夫？	・日頃の生活を考える。 ・教材「使っても大丈夫？」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返り、まとめる。
		公平性を保つための判断基準をもつ大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする判断力を養う。	友達の意見を聞きながら、公平性の判断基準について主体的に考えている様子が見られたか。	公平と不公平	・公平や不公平を感じるのはどんな時か考える。 ・教材「公平と不公平」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。
		日本の習慣や文化のよさを理解するとともに、ほかの国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする実践意欲を高める。	困難があっても、お互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことが大切であるといった発言や記述が見られたか。	違いを乗り越えて	・教材に興味を持つ。 ・教材「違いを乗り越えて」を読み、考える。 ・教師の話を聞く。
		生命の連続性や有限性を理解し、この世に生まれてきたすべての生命を尊重しようとする態度を育てる。	死を待つ人々でさえも救おうと懸命に頑張るマザー・テレサの姿に共感する発言や記述が見られたか。また、そこから生命の重さを見つめ、大切にしようとする姿勢が見られたか。	あふれる愛	・マザー・テレサの考え方に触れる。 ・教材「あふれる愛」を読み、考える。 ・マザー・テレサの言葉を聞く。
		社会連帯の自覚を深め、一人ひとりが協力し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。	よりよい社会を実現するためには、一人ひとりの意識を高め、力を合わせて行動に移すことが大切だという思いが発言や記述に見られたか。	富士山から変えていく	・富士山の写真や絵を見てイメージをつかむ。 ・教材「富士山から変えていく」を読み、考える。 ・自分たちの生活とつなげて考える。
		自然の生命力と崇高さを知り、自然に謙虚に向き合いながら自然の愛護に努めようとする実践意欲を育てる。	生徒の発言や記述に、人間が上からの立場で自然を保護しようとするのではなく、自然の恵みをもたらって生かしていただいているという塚本さんの考えに共感し、自然を守ることを意味を考え、自ら自然を愛護しようという意欲的な態度が見られたか。	木の声を聞く	・自然の美しさに息を飲んだ体験について振り返る。 ・教材「木の声を聞く」を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、考えたことをまとめる。
		多くの人々の善意により社会生活が成り立っていることに感謝し、人間愛の精神をもって思いやりの心を能動的に示そうとする態度を育てる。	人間愛の精神をもって思いやりの心を示そうとする発言や記述が見られたか。	バスと赤ちゃん	・ペアワークや、グループ学習で質疑応答しながら考えをまとめ、発表する。
		父母、祖父母に対する敬愛の念を深め、家族の一員として協力し合って生活しようとする態度を育む。	家族から受けている無償の愛情や激励に気づき、家族の一員として協力していこうとする意欲が発言や記述に見られたか。	家族と支え合うなかで	・これまでの生活を振り返り、自分を支えてくれる人には、どのような人がいたか考える。 ・教材「家族と支え合うなかで」を読み、考える。 ・今日の学習で気づいたこと、考えたことをまとめる。
		働くことを通じて、喜びや生きがい、社会とのつながりを実感し、社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。	勤労をとおして社会とのつながりを感じ、社会に貢献しようとする意欲が発言や記述に見られたか。	私は清掃のプロになる	・空港の仕事に興味を持つ。 ・教材「私は清掃のプロになる」を読み、考える。 ・道徳ノートに今日の学習で感じたことや考えたことを記入し、発表する。
		日本人としての自覚をもって我が国の優れた文化を継承し、その創造に貢献しようとする態度を育てる。	史峰の生き方に触れることにより、日本の伝統や文化を大切にし、日本人として誇りをもって生きようという発言や記述が見られたか。	奈良筆に生きる	・奈良筆の実物や奈良筆作りの動画を見て感想を述べる。 ・教材「奈良筆に生きる」を読み、考える。 ・日本の伝統、文化について振り返る。

3 学 期	9	多くの人々の支えによって生きていると気づくことで、誰もがかけがえのない存在であると理解し、互いの存在を大切にしようとする心情を育む。	生きていることがあたりまえではないことに気づき、生命のつながりや支え合いに関する発言や記述が見られたか。	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	・阪神・淡路大震災について知る。 ・教材「ゆうへー生きていてくれてありがとうー」を読み、考える。 ・今日の学習の内容を振り返る。
		友情の尊さを理解するとともに、真の友情を築くために、互いに信頼し、励まし合おうとする心情を育てる。	自分にも友達を励まし支えていくことができると気づき、また、それに応えようとする双方向の大切さを捉えた発言や記述が見られたか。	旗	・友情についてのイメージを発表する ・教材「旗」を読み、考える。 ・友情を感じたことを、互いに発表する。
		いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぼうとする態度を育てる。	問題解決的な学習をとおして、「余り」をつくらない生き方のために、互いの存在を認め尊重し合うことが大切だといった発言や記述が見られたか。	自分だけ「余り」になってしまう……	・普段の生活体験を振り返り発表する。 ・教材「自分だけ『余り』になってしまう……」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		人間の力を超えた自然の素晴らしさに素直に感動し、自然の中で生かされていることを自覚して、自然を敬おうとする心情を深める。	オーロラの美しさや神秘さを、自分の自然体験と比べながら感じ、自然に対する畏敬の念をもち、自然から学ぼうとする様子が見られたか。	オーロラー光のカーテンー	・これまでの自然体験を想起する。 ・教材「オーロラー光のカーテンー」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		誠実さは自分の弱さから逃げない心や誇りから生まれることを理解し、自分の行動に責任をもち、自らを律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。	誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りに気づき、自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られたか。	裏庭でのできごと	・学習のめあてをもつ。 ・教材「裏庭でのできごと」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		社会に存在する職業それぞれの尊さや意義を理解し、将来、働くことで社会に貢献しようとする態度を育成する。	勤労の尊さを重んじる生き方をもとに、社会における自らの役割や将来の生き方に関して、発言や記述が見られたか。	役に立つことができるかな	・働く人の写真からどんなイメージが浮かぶか挙げる。 ・教材「役に立つことができるかな」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		現実を謙虚に受け止め、探究心をもって努力と工夫を重ねて理想を実現しようとする実践意欲を育てる。	実現したいと思う理想を見つけようとする、前向きな発言や記述が見られたか。	緑のじゅうたん	・国立競技場の芝について考える。 ・教材「緑のじゅうたん」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		先達のおかげで今の暮らしを営めることへの尊敬の念や感謝の気持ちを深め、主体的に郷土に関わろうとする態度を育てる。	自分のふるさとに対する再認識や、それを未来へ伝えていく大切さ、郷土の発展のために何ができるかななどに関する発言や記述が見られたか。	「肝心」のバスガイド	・沖縄への関心を高める。 ・教材「肝心」のバスガイドを読み、考える。 ・コラム「私の生き方」を読み、考える。
		人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きる喜びを見いだそうとする心情を育む。	フランクの心情の変化を追いかけて、誰もがもつ人間の弱さや醜さに共感し、よりよく生きる喜びに関わった発言や記述が見られたか。	いつわりのバイオリン	・バイオリンの写真や動画を見る。 ・教材「いつわりのバイオリン」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
留意点 引継ぎ等		特になし			

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりすることができる。 (思判表力) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えることができる。 (学・人) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	(知・技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりしている。 (思・判・表) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えている。 (主学) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	(知及技) 働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働かってどうということだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	(知及技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思判表力) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 (学・人) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思・判・表) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 (主学) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	(知及技) 卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
2	2	(知及技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 (思判表力) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 (思・判・表) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

2 学期	2	（知及技）自分の周り（地域や学校）で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 （思判表力）自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技）自分の周り（地域や学校）で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 （思・判・表）自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えている。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う
	3	（知及技）郷土の文化や行事について知ることができる。 （思判表力）郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 （学・人）郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	（知・技）郷土の文化や行事について知っている。 （思・判・表）郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 （主学）郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり、体験したりする。
3 学期	2	（知及技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 （思判表力）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	（知・技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 （思・判・表）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取り組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	（知及技）卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	（知・技）卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 ～ 3 学期	9	（知及技）働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）自分の役割を考えることができる。 （学・人）意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）自分の役割を考え取り組んでいる。 （主学）意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	0
	3	（知及技）各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し、教科横断的に活用する活動を通して、実社会実生活における様々な場面で活用できる。 （思判表力）知識・技能を活用する中で、課題を解決するため、自ら問題を発見し、解決していくために必要な、情報収集能力・分析能力等を育成し、他者に表現できるようにする。 （学・人）学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技） ・様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 （思・判・表）インターネット等を活用し、情報収集等を行い、他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 （主学）学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和8年度 中学部 1年（I 課程） 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部1年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをする。 ・他の学年や学部の子供と親睦を図る。
		(知及技)・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 (思判表力)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 (学・人)・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	(知・技)・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 (思・判・表)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 (主学)・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		(知及技)・戦争や平和について考えることができる。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 (思判表力)・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人)戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。 ・文化的行事に積極的に取り組む。	(知・技)・戦争や平和について考えようとしている。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表)・平和な生活を送るためにはどうすればよいか考えようとしている。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 (主学)・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。 ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。	・平和集会 ・森川フェス	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		(知及技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 ・一学期を振り返る。 (思判表力)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかななどを調べる。 ・一学期の反省を発表する。 (学・人)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	(知・技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 ・一学期を振り返ることができる。 (思・判・表)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかななどを調べている。 ・一学期の反省を発表している。 (主学)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)1学期の振り返りから、目標を決定する。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
2 学期	14	(知及技)少年犯罪について考えることができる。 (思判表力)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	(知・技)少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 (少年犯罪被害防止)	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		(知及技)・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 (思判表力)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 (学・人)・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	(知・技)・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 (思・判・表)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書くようとしている。 (主学)・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) 志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 (思判表力) 志望校の特色を調べる。 (学・人) 志望動機を考え、文章にする。	(知・技) 志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) 志望校の特色を調べている。 (主学) 志望動機を考えることができ、文章にしている。	・進路について	・志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知及技) ・エイズについての正しい知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての正しい知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学期	8	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・児童生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					
特になし					

令和7年度 中学部 3年（I課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部3年		現代の国語3（三省堂）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （思判表力）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （学・人）言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	38	（知及技）具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。((2)ア) （思判表力）「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(Cイ) （学・人）進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合う。	（知・技）具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) （思・判・表）「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) （主学）進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	言の森	1 詩に描かれた情景を読み取り、内容を理解する。 2 詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。
		（知・技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)イ) （思・判・表）「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えることができる。(Cア) （主学）進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評する。	（知・技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) （思・判・表）「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) （主学）進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。	握手	1 小説の構成や場面の展開を捉える。 2 登場人物のしぐさに着目して、心情を捉える。 3 過去を回想する語り手の思いを捉え、自分の考えをもつ。 4 小説の構成や場面の展開の効果を評価する。
		（知及技）敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。((1)エ) （学・人）進んで敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	（知・技）敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) （主学）進んで敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見1 敬語のはたらき	1 状況に合わせてふさわしい敬語を用いることを理解する。 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気配りを表す方法について理解する。
		（知及技）具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。((2)ア) （思・判・表）「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めることができる。(Aオ) （学・人）積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をする。	（知・技）具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) （思・判・表）「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ) （主学）積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める 【話す・聞く】	1 話し合いを計画的に進行するための方法を理解する。 2 話し合いを計画的に進行するための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えをまとめる。

(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) (学・人)進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) (主学)進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	批判的な読み 「批判的に読む」とは 間の文化	1 批判的に読む方法について理解し、文章の構成や表現の仕方について評価する。 2 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 3 文章の構成や論理の展開の仕方を評価する。 4 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。
(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(Bウ) (学・人)粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとする。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) (主学)粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	課題作文	1 課題について、自分の考えをまとめる。 2 自分の考えが伝わるように工夫して、課題作文を書く。 3 交流を通して、推敲する箇所を見つける。 4 交流を生かして推敲する。
(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価することができる。(Cウ) (学・人)進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) (主学)進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	俳句の世界／俳句十句	1 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 2 語句に注意して情景や心情を捉え、俳句を読み味わう。 3 表現の工夫や効果をふまえて俳句の魅力を伝え合う。
(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(Bイ) (学・人)粘り強く論理の展開を考え、自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評する。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) (主学)粘り強く論理の展開を考え、自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評しようとしている。	批評文	1 社会生活の中から批評の対象を決める。 2 対象となる物事を観察・分析する。 3 読み手を説得できるように構成を工夫して批評文を書く。 4 論理の展開や表現の仕方について意見を交流する。
(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)エ (学・人)進んで和語、漢語、外来語など使い分けることを通して五感を磨き、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ (主学)進んで和語、漢語、外来語など使い分けることを通して五感を磨き、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見2 和語・漢語・外来語	1 状況に合わせてふさわしい敬語を用いることを理解する。 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気配りを表す方法について理解する。
(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(C工) (学・人)進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって討論する。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学)進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって討論しようとしている。	海を越えた故郷の味	1筆者の思いを捉える。 2人間や社会について思いをめぐらせ、話し合っ て自分の考えをもつ。

		(知・技)自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(3)オ (思・判・表力)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(C工) (学・人)進んで人間、社会、自然などについて自分の意見を持ち、学習したことを生かして実生活への生かし方を考える。	(知・技)自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学)進んで人間、社会、自然などについて自分の意見を持ち、学習したことを生かして実生活への生かし方を考えている。	言葉は傘	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。
		(知・技)第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技)第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう ①②③	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。
2 学 期	42	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア (思・判・表力)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(Cイ) (学・人)進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめる。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) (主学)進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。	フロン規制の物語 ——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで	1 文章全体の構成と概要を捉える。 2 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの見方や考え方を捉える。 3 文章を批判的に読む。 4 社会と科学の関係について自分の考えを広げる。
		(知・技)話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(1)ウ (学・人)進んで話や文章の種類とその特徴について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ (主学)進んで話や文章の種類とその特徴について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	文法の窓 表現につながる文法	1 「文法の窓」で文末の表現について考える。 2 「文法のまとめ」「表現につながる文法」について理解を深める。 3 「確認しよう」の課題に取り組む。
		(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思・判・表力)「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(Aウ) (学・人)積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話そうとする。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) (主学)積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。	パブリックスピーキング 状況に応じて 話す力を養う	1 社会生活の中から題材を探し、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 2 自分の考えが伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。
		(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(3)ア (思・判・表力)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価することができる。(Cウ) (学・人)進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合う。	(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) (主学)進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合うとしている。	和歌の世界 ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 コラム 和歌がつなぐ思い	1 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 2 和歌の形式や表現の特徴を捉える。 3 和歌の表現の効果について理解し、鑑賞文にまとめる。

(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。((Cイ) (学・人)進んでものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合う。	(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。((Cイ) (主学)進んでものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	おくのほそ道	1 表現やリズムを意識して、古文を音読する。 2 歴史的背景などに注意して、作者のものの見方や考え方を捉える。 3 優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。
(知・技)時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。((3)ウ) (学・人)進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) (主学)進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見3 言葉の現在・過去・未来	1 状況に合わせてふさわしい敬語を用いることを理解する。 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気持ちを表す方法について理解する。
(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。((Cエ) (学・人)進んで人間や社会などについて自分の意見をもち、学習課題にそって文章にまとめようとする。	(知・技)歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。((Cエ) (主学)進んで人間や社会などについて自分の意見をもち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。	論語 漢文の読み方 訓読の仕方の確認	1 漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 2 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。
(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)イ) (思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めることができる。((Bア) (学・人)粘り強く目的や意図に応じて題材を決め、学習の見通しをもって自分の考えを書くこととする。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) (思・判・表)「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。((Bア) (主学)粘り強く目的や意図に応じて題材を決め、学習の見通しをもって自分の考えを書くこととしている。	漢字一字 自分自身や社会を見つめる	1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 2 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。
(知・技)情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。((2)イ) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。((Aオ) (学・人)進んで情報の信頼性の確かめ方を理解しながら、内容を解釈し、学習課題にそって議論や討論する。	(知・技)情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。((Aオ) (主学)進んで情報の信頼性の確かめ方を理解しながら、内容を解釈し、学習課題にそって議論や討論しようとしている。	マンガ 情報の扱い方 【読む(情報)】 見たいものだけ見る私たち 【読む(論説)】 情報の信頼性を高める 【話す・聞く】 【読む・(実用文・図表)】	1 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 2 使用A「見たいものだけ見る私たち」を読み、筆者の意見を捉える。 3 情報の信頼性の確かめ方について理解したことを使う。 4 話し合いを通して、情報の信頼性の確かめ方について考えを深める。
(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)イ) (学・人)進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) (主学)進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見4 慣用句・ことわざ・故事成語	1 慣用句の意味と用法を理解する。 2 ことわざ・故事成語について意味や由来を理解する。 3 ことわざ・故事成語の表現効果を理科し、語感を磨く。 4 日本語と英語の慣用表現の類似点・相違点について理解を深める。

		(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)イ) (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう ④⑤⑥	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。
3 学期	25	(知・技)時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。((3)ウ) (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価することができる。(Cウ) (学・人)進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合う。	(知・技)時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) (主学)進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	初恋	1 詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 2 表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。
		(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことができる。((1)イ) (学・人)進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組む。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。((1)イ) (主学)進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字のしくみ 四字熟語	1 四字熟語について理解を深める。 2 四字熟語の組み立て方の種類について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。
		(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。((2)ア) (思判表力)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(Cイ) (学・人)進んで文章を批判的に読み、考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって批評する。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) (思・判・表)「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) (主学)進んで文章を批判的に読み、考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって批評しようとしている。	故郷	1 人物の心情と描写との関連や人物設定を捉える。 2 登場人物の言動や関係を捉える。 3 表現の工夫や特徴を捉え、評価する。 4 作品に現れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。
		(知・技)自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。((3)オ) (思判表力)「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(Aイ) (学・人)積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案する。	(知・技)自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ) (主学)積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	読書活動 ブックトーク 【話す・聞く】	1 話の構成を工夫してシナリオを考える。 2 ブックトークをする。

		(知及技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもることができる。(C工) (学・人)進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって考えたことを文章にまとめる。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学)進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	私とは何か	1 「分人」という考え方を捉える。 2 筆者の主張について、自分の意見を持ち、考えを交流する。
		(知及技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)イ (思判表力)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(C工) (学・人)進んで人間や社会などについて考え、学習課題にそって批評する。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ (思・判・表)「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学)進んで人間や社会などについて考え、学習課題にそって批評しようとしている。	坊っちゃん	1 言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読む。 2 身近な人との関わり方について考えを深める。 3 作品の特徴を評価する。
		(知及技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(2)ア (思判表力)「話すこと」において、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(Aア) (学・人)積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作る。	(知・技)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア (思・判・表)「話すこと」において、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) (主学)積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作ろうとしている。	名言集 中学校生活を振り返って	1 編集方針を立て、言葉を集める。 2 言葉を選び、構成を決める。 3 推敲して清書し、交流する。
		(知及技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)イ (学・人)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技)理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ (主学)進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう ⑦⑧	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。
	留意点 引継ぎ等	年間を通して ・習熟度に合わせた漢字の読み書きや、作品の音読練習に取り組む。 ・「書く」、「読む」領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れるものとし、副読本および課題プリントを活用した家庭学習の指導を基本とする。			

令和8年度 中学部 3年(Ⅰ課程) 社会科 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	中学部3年		帝国書院 中学生の公民

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。 (学・人) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。また、現代社会における文化の意義や影響について理解する。 (思判表力) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について考察し、表現する。 (学・人) 私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解している。 (思・判・表) ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について考察し、表現している。 (主学) ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●現代社会と文化	・情報化が進む現代 ・グローバル化が進む現代 ・少子高齢化が進む現代 ・私たちの生活と文化 ・日本の伝統と文化
		(知及技) 人間は本来社会的存在であること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。また、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 (思判表力) 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について考察し、表現する。 (学・人) 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・人間は本来社会的存在であること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ・対立と合意、効率と公正などについて理解している。 (思・判・表) ・社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について考察し、表現している。 (主学) ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●現代社会をとらえる枠組み	・社会的存在として生きる ・効率と公正 ・私たちときまり ・1学期の振り返り
2		(知及技) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 (思判表力) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現する。 (学・人) 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 (思・判・表) ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現している。 (主学) ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●日本国憲法	・民主主義と日本国憲法 ・基本的人権の尊重 ・法の支配を支えるしくみ

学 期	27	(知及技) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや議会制民主主義の意義、国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。 (思判表力) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察し、表現する。 (学・人) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや議会制民主主義の意義を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 (思・判・表) ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察し、表現している。 (主学) ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●民主政治	・民主政治と私たち ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち ・2学期の振り返り
3 学 期	18	(知及技) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 (思判表力) 個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察し、表現する。 (学・人) 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 (思・判・表) ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察し、表現している。 ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察し、表現している。 (主学) ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●市場経済	・私たちの生活と経済 ・消費者と経済 ・企業と経済 ・これからの日本経済
		(知及技) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。 (思判表力) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について考察し、表現する。また、財政及び租税の役割について考察し、表現する。 (学・人) 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 (思・判・表) ・市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について考察し、表現している。 ・財政及び租税の役割について考察し、表現している。 (主学) ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●財政	・私たちの生活と財政 ・国の支出と収入 ・社会資本の役割と環境への取り組み
		(知及技) 領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 (思判表力) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する。 (学・人) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) ・領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 (思・判・表) ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。 (主学) ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●国際社会	・紛争のない世界へ ・貧困解消と環境保全 ・持続可能な社会を目指して
留意点 引継ぎ等	生徒の理解度に応じて学習を進めること。				

令和8年度 中学部 3年（I課程）数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	中学部3年		東京書籍 新しい数学3

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) ・単項式で割る除法の計算や展開や因数分解をすることができる。 (思判表力) ・既に学習した計算の方法と関連付けて表現することができる。 (学・人) ・数学的に考察することができる。	(知・技) ・単項式で割る除法の計算や展開や因数分解をしようとしている。 (思・判・表) ・式の展開や因数分解する方法を考察し表現しようとしている。 (主学) ・展開や因数分解の必要性や意味を考えようとしている。	1節 多項式の計算	○単項式どうしの和差
				2節 因数分解	○多項式を、いくつかの式の積で表すことを考えてみよう
				3節 式の計算の利用	○連算のしくみを探ろう ○数の計算のくふうを考えてみよう
		(知及技) ・数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 (思判表力) ・平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	(知・技) ・数の平方根の必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・平方根を含む式の計算の方法を考察し表現しようとしている。 (主学) ・数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。	1節 平方根	○いろいろな面積の正方形をかくてみよう ○2乗して2になる数について調べてみよう
				2節 根号をふくむ式の計算	○新しい数の世界の計算を考えよう ○平方根の乗法や除法は、どのように計算すればよいか考えてみよう
				3節 平方根の利用	○コピー用紙はどんな長方形？
2学期	41	(知及技) ・二次方程式の必要性和意味を理解することができる。 (思判表力) ・二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 (学・人) ・数学の事象から見通しをもち考察したりすることができる。	(知・技) ・2次方程式の必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・平方根や因数分解の考えをもとに、表現しようとしている。 (主学) ・2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	1節 2次方程式とその解き方	○ロープで囲んだ長方形の面積は？ ○2次の項をふくむ方程式について考えてみよう
				2節 2次方程式の利用	○畑に通路をつくろう ○2次方程式を利用して、いろいろな問題を解決してみよう
		(知及技) ・関数 $y=ax^2$ について理解することができる。 (思判表力) ・関数 $y=ax^2$ を用いて表現することができる。 (学・人) ・数学的に表現・処理し、考察したりすることができる。	(知・技) ・関数 $y=ax^2$ として捉えられるものを知っている。 (思・判・表) ・変化や対応の特徴を考察し表現しようとしている。 (主学) ・関数について学んだことを生活に生かそうとしている。	1節 関数 $y=ax^2$	○時間とともに進む距離が増えていくような変化のようすを調べてみよう
				2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方	○関数 $y=ax^2$ のグラフにはどのような特徴があるか調べてみよう
				3節 いろいろな関数の利用	○身のまわりの問題を、関数 $y=ax^2$ を利用して解決してみよう
		(知及技) ・円周角と中心角の関係の意味を理解することができる。 (思判表力) ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 (学・人) ・数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	(知・技) ・円周角と中心角の関係が証明できることを知っている。 (思・判・表) ・円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 (主学) ・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	円の性質を見つけて証明しよう 1節 円周角の定理	○カメラの位置を調べよう ○弧と円周角の関係について調べてみよう ○円周角の定理の逆が成り立つかどうか調べよう
2学期	27			2節 円周角の定理の利用	○船の位置を見つけよう ○円外の点からその円への接線の作図を考えてよう ○円と交わる直線でできる図形について考えてよう
		(知及技) ・標本調査の必要性和意味を理解することができる。 (思判表力) ・標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 (学・人) ・数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	(知・技) ・コンピュータなどの情報手段を整理しようとしている。 (思・判・表) ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現しようとしている。 (主学) ・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする。	1節 標本調査	○どのように調査しているのかな？ ○身のまわりの調査について調べてみよう ○母集団から標本を取りだす方法について考えよう
留意点 引継ぎ等		特になし			

令和 8 年度 中学部 3 年（I 課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部 3 年		新しい科学 3（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：A（知・技）知識・技能 B（思・判・表）思考・判断・表現 C（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （知及技） 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 （学・人） 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技） ●身近な酸性、アルカリ性の水溶液の例をあげ、いくつかの水溶液の性質を確かめることができる。また、中和反応の実験を通して、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。 （思判表力） ●化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 （学・人） ●酸性、アルカリ性の水溶液の性質に関心をもって調べ、酸性、アルカリ性それぞれの水溶液に共通する性質を科学的に探究しようとしている。	（知・技） ・身近な水溶液の性質を調べ、酸性、アルカリ性などに分類することができる。 ・酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 （思・判・表） ・水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 （主学） ・酸性、アルカリ性の水溶液の性質に関心をもって調べ、酸性、アルカリ性それぞれの水溶液に共通する性質を科学的に探究しようとしている。	単元 1 化学変化とイオン 第 2 章 酸、アルカリとイオン	第 1 節 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 ・酸性の水溶液やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるか調べる。 ・実験 3 酸性、アルカリ性の水溶液の性質 第 2 節 酸性、アルカリ性の正体 ・酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれ何が共通して存在しているか調べる。 ・実験 4 酸性・アルカリ性を示すものの正体 第 3 節 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化 ・酸の水溶液にアルカリの水溶液を加えていくと、どのような変化が起きるか調べる。 ・実験 5 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化
2 学期	27	（知及技） ●生物の成長とふえ方について、細胞に着目して理解するとともに、それらの観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 （思判表力） ●生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。 （学・人） ●生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	（知・技） ・生物の成長とふえ方について、細胞分裂の様子を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 （思・判・表） ・生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現している。 （主学） ・生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元 2 生命の連続性 第 1 章 生物の成長と生殖	第 1 節 生物の成長と細胞の変化 ・生物が成長するとき、細胞はどのように変化するのか調べる。 ・観察 1 体細胞分裂の観察 第 2 節 無性生殖 ・無性生殖は、どのような生殖か考える。 第 3 節 有性生殖 ・有性生殖は、どのような生殖か考える。 ・観察 2 花粉管の伸長 第 4 節 染色体の受けつがれ方 ・親から子へ染色体が受けつがれていくときには、どのような決まりがあるのか考える。
		（知及技） ●エンドウを使ったメンデルの交配実験について、メンデルが行った方法や、その結果を理解する。 （思判表力） ●ハムスターの例をもとに、遺伝の規則性についての課題を見いだすことができる。 （学・人） ●遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとする力を養う。	（知・技） ・エンドウを使ったメンデルの交配実験について、メンデルが行った方法や、その結果を理解している。 （思・判・表） ・ハムスターの例をもとに、遺伝の規則性についての課題を見いだし、表現している。 （主学） ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第 2 章 遺伝の規則性と遺伝子	第 1 節 遺伝の規則性 ・親の形質は、どのようにして子や孫に受けつがれるのか考える。 ・実習 1 遺伝子の組み合わせ 第 2 節 水中から陸上へ ・陸上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか考える。 第 3 節 さまざまな進化の証拠 ・進化の証拠には、どのようなものがあるのか考える。 第 4 節 進化と多様性 ・進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるのか考える。

		(知及技) ●セキツイ動物が出現した時期や、生物の進化について知る。 (思判表力) ●生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。 (学・人) ●生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	(知・技) ・セキツイ動物が出現した時期や、生物の進化について理解している。 (思・判・表) ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (主学) ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 生物の多様性と進化	第1節 生物の歴史 ・110, 111ページの図とセキツイ動物の5つのグループの特徴を関連づけて比較すると、どのようなことがわかるか考える。 第2節 水中から陸上へ ・陸上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか考える。 第3節 さまざまな進化の証拠 ・進化の証拠には、どのようなものがあるのか考える。 第4節 進化と多様性 ・進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるのか考える。
		(知及技) ●運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 (思判表力) ●物体の運動について、観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現することができる。 (学・人) ●物体の運動に関する事物・現象に進んで関わろうとする態度を養う。	(知・技) ・運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (思・判・表) ・物体の運動について、観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ●物体の運動に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりしている。	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動	第1節 物体の運動の記録 ・水平面上で移動する物体の運動を記録タイマーで記録すると、何がわかるか調べる。 ・実験1 水平面上での台車の運動 第2節 物体の運動の速さの変化 ・物体の運動の速さの変化をくわしく調べるには、どうすればよいか考える。 第3節 だんだん速くなる運動 ・物体がだんだん速くなる運動に、力はどのように関係しているか調べる。 ・実験2 斜面上での台車の運動 第4節 だんだんおそくなる運動 ・物体の運動の向きとは逆向きに一定の力がはたらき続けるとき、物体の速さはどのように変化するか考える。
3 学 期	18	(知及技) ●身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 (思判表力) ●太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 (学・人) ●天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとする態度を養う。	(知・技) ●身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (思・判・表) ●太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程をふり返り気付いたことを表している。 (主学) ●天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究している。	単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き	第1節 太陽の1日の動き ・太陽は、1日でどのように動いて見えるか調べる。また、その理由を考える。 ・観察2 太陽の1日の動き 第2節 地球の自転と方位、時刻 ・地球上の方位と時刻は、どのように決められているのか考える。
		(学・人) ●自然環境を保全するさまざまなとり組みを理解し、科学的な観点をもたえて、自然環境の保全に向けて、身のまわりからできる行動を考え、自然を総合的に見ようとする態度を養う。	(主学) ・自然環境を保全するさまざまなとり組みを理解し、科学的な観点をもたえて、自然環境の保全に向けて、身のまわりからできる行動を考え、実行しようとしている。	単元5 地球と私たちの未来のために 第2章 自然環境の調査と保全	第1節 身近な自然環境の調査 ・生物と自然環境はどのようにかわっているのか、身近な自然環境を調査して考える。 ・調査1 身近な自然環境の調査 第2節 人間による活動と自然環境 ・自然環境に人間の活動がどのような影響をあたえているのか考える。 第3節 自然環境の開発と保全 ・自然環境を保全するためにどのような活動が行われているのか調べる。

令和8年度 中学部 3年（Ⅰ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／相当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	中学生の音楽2・3上下/中学生の器楽/他	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。 （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 （学・人）主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	（知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。 （思判表力）音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 （学・人）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 （思・判・表）音色、リズム、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 （主学）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう	「花」 「My Voice！」
	3	（知及技）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 （思判表力）リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて考えることができる。 （学・人）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 （思・判・表）リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 （主学）音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう	「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」 「My Melody」
	3	（知及技）曲想と音楽の構造との関わり及び楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 （思判表力）音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 （学・人）音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各西部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 （思・判・表）音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 （主学）曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色と奏法との関わりを理解して器楽表現を工夫しよう	「カントリーロード」 「日曜日よりの使者」
	3	（知及技）曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と背景となる文化や歴史との関わりについて理解することができる。 （思判表力）音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 （学・人）音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 （思・判・表）音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （主学）曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	「ブルダバ（モルダウ）」

2 学 期	4	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	「ボレロ」
	3	(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	「ポピュラー音楽」 さまざまな音楽のジャンルについて調べたり、実際に聞いたりしてみよう
	4	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 (思判表力) リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 (学・人) 反復、変化、対象などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解している。創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 (思判表力) 音色、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (学・人) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音の重なり方や反復、変化を理解して創作表現を工夫しよう	「Let's Create!」
	3	(知及技) 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができる。全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい楽器表現としてどのように表すかについて考えることができる。 (学・人) 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい楽器表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	音色や響きと奏法との関わりを理解して、楽器表現を工夫しよう	「クラッピングラブソディー第1番」 他
3 学 期	5	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて考えることができる。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な技能を身に付けている。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	音楽で卒業生を送り出そう	・歌唱 ・器楽(合奏)
	4	(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。 (思判表力) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 (思・判・表) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	能「敦盛」 沖縄の伝統芸能「組踊」
留意点 引継ぎ等		○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 中学部 3年（Ⅰ課程）美術科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時間		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
1/35		中学部1年（Ⅰ課程）		美術1、2・3(光村図書)／他	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 創造的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができるようにする。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ●形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす効果などについて理解することができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、全体のイメージで捉え、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○教科書や映像から、様々な美術作品を鑑賞し、それらの良さを感じ取って、自分の意見や感想を持つことができる。 (主学) ○自ら進んで創作活動や、鑑賞の活動に取り組み、作品の造型的な良さを感じようとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 『色と形であらわす』	・教科書に掲載されている作品を見たり、1年間の計画や内容を理解する。 ・様々な画題やモダンテクニックの技法を用いて自由に表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●対象や事象を見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考え、創造的な構成を工夫し心豊かに表すことができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○版画の技法や道具の扱いなどを理解し、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、主題を全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った表現方法を選択し、意図に応じて工夫して構成を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『版で表す』	・身近なものから発想して主題を生み出し、版画で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考え、見通しを持って表すことができる。 (思判表力) ●構成や装飾の目的や条件などを基に調和のとれた美しさなどを総合的に考え表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、形や色などを工夫して、見通しをもって制作をすることができる。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かしてより美しく表現しようとしている。 (主学) ○地域の伝統工芸に興味を持ち、自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・コースターなどの小作品を紅型の型染めで自分の好みの配色に染める。
		(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●造型的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。2,3学年	(知・技) ○材料や用具の特性活かして形や質感などが感情にもたらす効果をもとに、対象を立体的にとらえて制作しようとしている。 (思・判・表) ○彫刻の作品を鑑賞し、作者の意図や心情などについて考え、自分なりの感想や意見を深めようとしている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。	絵や彫刻など 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見たり触ったりしながら特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
2学期	14	(思判表力) ●世界の美術作品の良さや日本の伝統や文化の良さや美しさを感じ取り、愛情を深め、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(思・判・表) ○美術作品、工芸品の造形的なよさや美しさ、生活様式などの関連性を感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や季節にあわせた工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 『美術作品に親しもう』 『茶道と日本美術』	・タブレット端末や教科書などを利用し、世界中のさまざまな美術作品を鑑賞し、友だちと話し合ったり、自分の意見をはっきりとしたりする。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・季節に合わせた茶道具を使って実際に点前の体験を行う。
		(知及技) ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を工夫して創造的に表すことができる。 (思判表力) ●使う目的や条件などを基に社会とのかかわりやユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや美しさなどの調和を総合的に考え表現の構想を練ることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を深めることができる。	(知・技) ○意図に応じて表現方法などを創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって制作しようとしている。 (思・判・表) ○設置する場所や使う目的、生活とのかかわりなどから主題を生み出し、光の効果や使いやすさ、美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『明かりをつくらう』	・身近なものをヒントに、主題を生み出し、心がほっとするような明かりの作品を作る。工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。

3 学 期	9	(知・技) ●意図に応じてタブレットやアプリなどの特性を生かすことができる。 (思・判・表力) ●映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現を考えることができる。 (学・人) ●映像メディアの表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えることができる。	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、構図や動きなどの視覚的な要素の働きについて考え、構想を練っている。 (主学) ○映像メディアの特質や表現効果などを感じ取り、主題を伝えるために撮影の工夫をするなど主体的に創造活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『コマ撮りアニメーションに挑戦！』	・人物や学校生活の情景を撮影することに関心をもち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知・技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 (思・判・表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『共同制作の魅力 気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ 等		※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和 8 年度 中学部3年（ I 課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部3年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしたりすることができる。	(知・技)・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを伝えている。 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえて運動している。 (主学)体づくり運動に仲間と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <例示>体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態 で約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行う。
		(知及技) チームや自己の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しながらゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表)課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学)作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこむ。
		(知及技) 記録向上の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法を身に付けることができる。 (思判表力)泳法などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配りながら活動することができる。	(知・技)・ ブルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表)体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学)水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について知ることができる。 (思判表力)健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)健康な生活と疾病の予防についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表)自分の生活を振り返り、よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。 (主学)自分の健康に関心を持ち、健康について考えようとしている。	保健分野（健康な生活と疾病予防①）	1 健康の成り立ち 自分にとって健康とは何かについて考える。 2 運動と健康 生活の中に運動を取り入れるためにできることについて考える。 3 食生活と健康 健康のために食生活で気を付けるべきことについて理解する。 4 休養・睡眠と健康 健康のために休養・睡眠をどのようにとればよいか理解する。

2 学 期	42	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて学び、伝えている。 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運んだり、仲間にパスをしたりすることができる。 (思・判・表)選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 (主学)フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶ。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送る。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 上段突き、中段突き ・ 正面蹴り、足刀蹴り ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けている。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組もうとしている。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期（発育急進期）に当たることを理解している。 (思・判・表)自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学)望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を持っている。	保健分野（心身の機能の発達）	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とどう向き合うか 性情報への対処について考える。
3 学 期	26	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 (思判表力)攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、ことができる。	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて学んだことを伝えている。 (思・判・表)提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 (主学)マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つ。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりする。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付ける。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 心の働きには知的機能や情意機能があり、さまざまな経験や学習によって発達することを理解している。 (思・判・表)人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。 (主学)欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達（1）知的機能と情意機能の発達 心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する 6 心の発達（2）社会性の発達 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考える。 7 自己形成 どのように自己形成がなされるかについて理解する。 8 欲求不満やストレスへの対処 リラクセーションの方法を実習を通して身に付ける。実習
		(知及技) 運動やスポーツの効果について知ることができる。 (思判表力)運動やスポーツを行う時に自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 (学・人)運動やスポーツの様々な効果についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 様々なスポーツの効果について知り、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 (思・判・表)スポーツの意義や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 (主学)スポーツの心身への効果に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	体育理論（運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方）	1 運動やスポーツの効果 2 運動やスポーツの学び方 3 運動やスポーツの安全な行い方
留意点 引継ぎ等		・ 保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中12程度)と記載している。 ・ 体づくり運動は年間を通して行う。			

令和8年度

中学部3年（Ⅰ課程）
 技術・家庭科（技術分野）
 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		新しい技術・家庭（技術分野） 未来を創るTechnology 東京書籍

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思判表力) ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学期 ～ 3 学期	35	(知及技)(学・人) ①計測・制御システムを理解することができる。	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知・技) ・計測・制御システムにけるプログラムの役割を理解している。(知・技) ・主体的に情報の技術について考えようとしている。(主学)	D(3)アイ 計測・制御のプログラミングによる問題解決について 総合的な問題解決	・身の回りにある計測・制御システムを調べる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。	
		(思判表力) ②問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思・判・表)		・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。	
		(思判表力)(学・人) ③計測・制御システムを構想することができる。	・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思・判・表) ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産権を創造するとともに他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(主学)		・問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決を具体化する。(センサと仕事を行う部分の選択、計測・制御システムの構成の整理、情報処理の手順の管理)	
		(知及技)(思判表力)(学・人) ④問題解決の評価、改善、修正し解決することができる。	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックができる技術を身に付けている。(知・技) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思・判・表) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(主学)		・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックを行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。	
		(思判表力)(学・人) ⑤問題解決の評価、改善、修正し解決することができる。	・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思・判・表) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものに改善・修正しようとしている。(主学)		・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	
		(知及技)(思判表力) ①情報の技術の最適化を理解することができる。	・情報の技術の概念について理解している。(知・技) ・情報の技術の最適化について考えている。(思・判・表)		D(4) 社会の発展と情報の技術	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。(社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性) ・情報の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかとめる。
		(思判表力)(学・人) ②これからの情報の技術について理解することができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思・判・表) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている(主学)			・持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。
		(学・人) ・学んだことを社会に生かすことができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(主学)		A(3) B(3) C(3) D(4) 技術分野の学習を終えて	・3年間の技術の学習内容を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいかを考える。 ・地球環境や将来の世代のための技術について考え10年後、50年後の未来を予測する。
留意点 引継ぎ等		・「技術の見方・考え方」を働かせた深い学びになるように配慮する。				

令和8年度 中学部3年（Ⅰ課程）技術・家庭科（家庭分野） 年間指導計画

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		新しい技術・家庭 家庭分野/東京書籍

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （学・人） 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	（知及技）住まいの役割や基本的な機能について理解できる。 （知及技）健康で快適な室内環境の条件を知り、改善策を考えることができる。 （思判表力）住まいの災害対策について知り、災害に備えることができる。	（知・技）住居の基本的な機能について理解している。 （思・判・表）家族の健康や安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 （主学）自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、工夫し創造し、実践しようとしている。	4編1章 ①住まいの役割と安全な住まい ②住まいと気候風土関わり ③健康で快適な室内環境 ④家族住まい安全・安心 ⑤災害への対策 2章 ①持続可能な住生活目指して	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。 ・自分の地域の住まいの特徴について調べる。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。 ・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
		（知及技）自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考えることができる。 （知及技）計画的な金銭管理の必要性を理解することができる。 （思判表力）消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考えることができる。 （学・人）商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理することができる。	（知・技）売買契約の仕組みについて理解している。 （思・判・表）実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について考えている。 （主学）物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、問題を見いだして課題を設定し、改善しようとしている。	5編1章 私たちの消費生活 ①消費としての自覚 ②購入方法支払い方法 ③バランス良く計画的な金銭管理 ④消費トラブルその対策 5編2章 責任ある消費者になるために ①何を考え決めますか -意思決定のプロセス- ②消費者としてできること -権利と責任 5編3章 持続可能な消費生活 ①省エネルギーと持続可能な社会 ②持続可能な消費生活を旨として	・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について確認する。 ・具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。 ・ ・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・自分に合った金銭管理の方法を考えてまとめる。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・商品（物資やサービス）を適切に選択、購入する方法について考える。 ・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。 ・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
2学期	16	（知及技）これまでの衣食住や消費生活・環境での学習、自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考えることができる。 （思判表力）幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解・幼児の生活習慣がどのように身についていくのかを考えることができる。 （学・人）幼児と関わる時のことを想定して、絵本の読み聞かせを練習したり、簡単な遊び道具を調べたりすることができる。	（知・技）幼児頃を振り返り、周囲の人との関わりの大切さについて気づいている。 （思・判・表）幼児の生活やさまざまな遊びを観察し、遊びで育つ力について考えている。 （主学）幼児の生活や衣生活、消費生活に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	6編1章 家族・家庭生活での自立 ①家庭生活の協力・協働 2章 幼児の生活と家族 ①幼児頃振り返り ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の1日の生活 ⑤支えられて身につける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ⑦遊びを豊かにする物	・これまでの衣食住や消費生活・環境での学習、自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。 ・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢、エピソードなどを書き出し、気づいたことをまとめる。 ・幼児の体の発達の特徴について考える。 ・幼児の心の発達の特徴について考える。 ・幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解・幼児の生活習慣がどのように身につけていくのかを考える。 ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。 ・ ・幼児の生活やさまざまな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・幼児が遊ぶために適切な環境があることを知る。 ・遊び道具について調べ、遊び道具の役割について考える。 ・幼児と関わる時のことを想定して、絵本の読み聞かせを練習したり、簡単な遊び道具を調べたりする。
3学期	5	（知及技）家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考えることができる。 （思判表力）家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 （学・人）高齢者の体の特徴を理解し、高齢者との関わり方を考えることができる。	（知・技）家族の互いの立場や役割について理解している。 （思・判・表）家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 （主学）高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	6編3章 持続可能な家庭・地域生活 ①家族との関わり ②家族や地域の高齢者との関わり ③地域での協働を目指して	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・ ・家族関係をよりよくする方法を考える。 ・高齢者の体の特徴を理解し、高齢者との関わり方を考える。
留意点 引継ぎ等		生徒の体調や理解度に応じて学習を進める。			

令和8年度 中学部3年（I課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	担当者	児童生徒	教科書／副教材
4/140		中学部3年	Here We Go! 3 (光村図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声、語彙、表現、文法、言語の基本を理解し実際の場面に於いて活用しようとする態度を身につける。 (思判表力)目的や場面に応じて自分の事や社会問題などを簡単な英語で表現したり、順序立てて伝え合ったり、理解しようとする態度を養う。 (学・人)背景となる文化についての理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	51	Unit 1 Virtual Safari Tour	(知及技) 受け身の文、「[let [help]+人・もの+動詞の原形]」、「[tell+人+that+文]」の意味・形・使い方を理解して、活用ができる。 (思判表力) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表ができる。 (学・人) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようすることができる。	(知・技) 受け身の文、「[let [help]+人・もの+動詞の原形]」、「[tell+人+that+文]」の意味・形・使い方を理解して、活用している。 (思・判・表) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表している。 (主学) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の文・「[let [help]+人・もの+動詞の原形]」、「[tell+人+that+文]」の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 1 計画を立てよう	(知及技) be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えることができる。 (学・人) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えようすることができる。	(知・技) be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えている。 (主学) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えようとしている。	・音声聞いて、質問された内容に答える。
		Unit 2 Our School Trip	(知及技) 現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。 (学・人) 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。	(知・技) 現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしている。 (主学) 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 2 留守番電話	(知及技) 不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、接続詞if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解し、活用できる。 (思判表力) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書くことができる。 (学・人) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書くことができる。	(知・技) 不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、接続詞if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解し、活用できる。 (思・判・表) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書いている。 (主学) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書こうとしている。	・留守番電話を聞いて要件を把握し、返答をする。
		Unit 3 Lessons From Hiroshima	(知及技) 現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書くことができる。 (学・人) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうすることができる。	(知・技) 現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書いている。 (主学) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈継続〉・現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の用法の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形	(知及技) 現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・現在完了形〈完了〉〈経験〉〈継続〉の用法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Let' s Read 1 Visas for 6,000 Lives	(知及技) 時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解することができる。 (思判表力) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明することができる。 (学・人) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明しようすることができる。	(知・技) 時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解している。 (思・判・表) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明している。 (主学) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明しようとしている。	・ユダヤ人の置かれた状況や杉原千畝の決断を読み取る。

2 学 期	56	You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめることができる。 (学・人) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめている。 (主学) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようとしている。	・海外の中学生の意見文を読んでおおまかな内容を捉え、自分の考えを書き込む。
		World Tour 1 Speak Up!	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	・世界を変える若者たちを紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。
		Unit 4 AI Technology and Language	(知及技) 関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解し、活用できる。 (思判表力) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書くことができる。 (学・人) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとすることができる。	(知・技) 関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解し、活用できる。 (思・判・表) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書いている。 (主学) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解する。
		Let's Read 2 Living with Robots	(知及技) 「let [help]+人・もの+動詞の原形」、関係代名詞which, who, thatが主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書くことができる。 (学・人) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書こうとすることができる。	(知・技) 「let [help]+人・もの+動詞の原形」、関係代名詞which, who, thatが主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書いている。 (主学) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書こうとしている。	・説明文全体を通して聞いたり読んだり、内容を捉える。
		Daily Life 3 レシピ	(知及技) 調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) レシピから、必要な情報を読み取ることができる。 (学・人) レシピから、必要な情報を読み取ろうとすることができる。	(知・技) 調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) レシピから、必要な情報を読み取っている。 (主学) レシピから、必要な情報を読み取ろうとしている。	・レシピから、必要な情報を読み取る。
		Unit 5 My Dreams for the Future	(知及技) 関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表することができる。 (学・人) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようことができる。	(知・技) 関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表している。 (主学) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞which, thatが目的語になる文の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 4 講演	(知及技) 環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 聞いたことをもとに、メッセージを書くことができる。 (学・人) 聞いたことをもとに、メッセージを書こうとすることができる。	(知・技) 環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 聞いたことをもとに、メッセージを書いている。 (主学) 聞いたことをもとに、メッセージを書こうとしている。	・講演を聞いて、おおまかな内容を捉え、感想を書く。
		Unit 6 The Chorus Contest	(知及技) 動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えることができる。 (学・人) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようことができる。	(知・技) 動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしている。 (主学) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing形による後置修飾の意味・形・使い方を理解、練習する。
		Active Grammar 2 後置修飾	(知及技) 後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・前置詞、不定詞、動詞の-ing形、過去分詞・接触節や関係代名詞を使った後置修飾の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		You Can Do It! 2 持続可能な社会に向けりポートしよう	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書くことができる。 (学・人) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書いている。 (主学) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとしている。	・10代の若者たちの持続可能な社会の実現に向けた取り組みについての投稿を読み、要点を捉える。
		World Tour 2 If the World Were a Village of 100 People	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えようとしている。	・世界の現状を紹介している音声聞いて、おおまかな内容を捉える。

3 学期	33	Unit 7 Tina' s Speech	(知及技) If I could ～.やI wish I could ～.の仮定法の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる。 (学・人) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしようすることができる。	(知・技) If I could ～.やI wish I could ～.の仮定法の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしている。 (主学) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中でIf I could ～. I wish I could ～.の仮定法の文の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Let' s Read 3 Changing the World	(知及技) want+人+不定詞」、「疑問詞+to+動詞の原形」、間接疑問文、If ... の仮定法などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合うことができる。 (学・人) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合おうとすることができる。	(知・技) 「want+人+不定詞」、「疑問詞+to+動詞の原形」、間接疑問文、If ... の仮定法などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合っている。 (主学) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのスピーチについて考えたことを伝え合おうとしている。	・人類は1つの家族であり分かち合うことが大切であることや、大人の言行不一致を非難し、行動を起こすよう訴えているセヴァンさんの主張を読み取る。
		Active Grammar 3 仮定法	(知及技) 仮定法の意味・形・使い方を理解し、活用ができる。	(知・技) 仮定法の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・仮定法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Unit 8 Goodbye, Tina	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 内容や表現を工夫して、手紙を書くことができる。 (学・人) 内容や表現を工夫して、手紙を書こうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 内容や表現を工夫して、手紙を書いている。 (主学) 内容や表現を工夫して、手紙を書こうとしている。	・本文の内容を捉える。
		You Can Do It! 3 自分たちのこれからに言葉を贈ろう	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書くことができる。 (学・人) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書こうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書いている。 (主学) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉を書こうとしている。	・それぞれの言葉に込められた思いを読み取り、友達や自分のこれらに向けて贈る言葉を書く。
		Let' s Read More 1 Elections in Norway	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 記事を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、おおまかな内容を捉えようとするこができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) 記事を読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・記事全体を通して読み、ノルウェーの子供たちと選挙や政治との関わりについて読み取る。
		Let' s Read More 2 Fight for Equality	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えようとするこができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・伝記全体を通して読み、20世紀中頃のアメリカ南部での黒人への差別や隔離について読み取る。
		Let' s Read More 3 A story from The Adventures of Tom Sawyer	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 物語を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 物語を読み、おおまかな内容を捉えようとするこができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 物語を読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 物語を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・物語全体を通して読み、ある土曜日の朝のトムの状況を読み取る。
		Story Retelling	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明することができる。 (学・人) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとするこができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明している。 (主学) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとしている。	・ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。
		Let' s Talk!	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して活用することができる。 (思判表力) 自分自身や興味のあることについてその場で伝え合うことができる。 (学・人) 自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して活用している。 (思・判・表) 自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。 (主学) 自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。	・自分や相手のことについて、その場でやり取りする。
留意点 引継ぎ等		特になし			

令和8年度 中学部 3年（I 課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部3年		「中学道徳 あすを生きる③」 日本文教出版

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（中学部の目標） ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。 （中学部3学年の目標） ・理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていく態度を養う。 ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・経験の拡充を図り、社会的適応能力を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	困難に直面しくじけそうになっても、状況を見つめ直し、前向きかつ柔軟な姿勢で行動することで、人は成長できることを自覚し、希望と勇気をもって目標を達成しようとする実践意欲を育てる。	困難に直面した際に、冷静に状況を見つめ直し、前向きかつ柔軟に考え努力することの重要性を捉えた発言や記述が見られたか。	相撲を世界に	◎大学生のとき相撲を諦めかけた今さんにとって、相撲を続ける原動力になったものはなんだろう。 ○困難を乗り越えて自分がやろうとしたことを続けるために、大切なことはなんだろう。
		一人ひとりが集団の一員であるという役割と責任、尊敬と感謝の意識をもって、自分たらしさを発揮することで集団の成長が実現することを自覚し、集団生活を充実させようとする実践意欲を育てる。	集団の目的達成に向け、集団の一員として自分ができることを考え実行することが集団全体の成長につながるという発言や記述が見られたか。	世界一のロッカールーム	◎廣瀬さんは、どんな思いでチームに貢献しているのだろう。 ○学校の人と信頼し合い、学校や学級の一員としてみんなでよりよい校風をつくることの意味について考えてみよう。
		仕事の素晴らしさややりがい、仕事と自分自身、相手、社会それぞれとの関係から多様性を見いだせることを自覚し、自分の能力や個性を生かした働き方をしようとする実践意欲を高める。	働くことによって充実した生き方が得られるなどの仕事の素晴らしさについて、自分ごととして考えている発言や記述が見られたか。	あるレジ打ちの女性	◎レジ打ちの女性が気づいた仕事の素晴らしさは、どんなものだろう。 ○自分にとって、仕事にはどんな意味があるのか考えてみよう。
		優れた伝統と文化を大切に、鋭く広い視野でよりよいものを創出することが伝統文化の継承と発展につながることを自覚し、社会の形成者として文化の継承と発展に寄与しようとする態度を育てる。	伝統文化の価値や、それを受け継ぐことの意義を再認識し、社会の形成者としてその継承と発展に寄与しようという発言や記述が見られたか。	使い手を驚かせて魅了する	◎江戸切子の伝統を受け継ぐ堀口さんを支えているのは、どんな思いだろう。 ○伝統と文化をより深く理解するうえで、大切にしたい考え方はなんだろう。
		友達とは、無批判に同調したり表面的に付き合い合ったりする存在ではなく、互いに励まし合い、高め合う存在であることの自覚を通して、友達を一層大切にしようとする実践意欲を育てる。	「僕」に共感し、葛藤する場面を通して友情とは何かについて考えた発言や記述が見られたか。	違うんだよ、健司	◎健司が教えてくれた「大切なこと」とは、どんなことだろう。 ○あなたは、相手にとってどんな友達でいたいだろう。
		集団の圧力に負ける人間の心の弱さや醜さは深い心の傷を生むことや、集団の中で一歩踏み出すことがその克服につながることを自覚し、差別や偏見を人間として集団として許さない態度を育てる。	いじめは差別的で人間として許されない理不尽なものであることや、その克服に関わる発言や記述があったか。	卒業文集最後の二行	◎いじめという問題乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろう。 ○「私」のこれまでの生き方を踏まえて、これからの自分の生き方について考えてみよう。
		国際社会で生きるためには、世界の中の日本人として、民族や国を超えた人類愛をもって尊重し助け合うことが必要であることを自覚し、世界平和や人類の幸福を願い、貢献しようとする心情を育てる。	ユダヤ人を救おうと決心した杉原千蔵の姿を通して、世界平和や人類の幸福を大切に思う発言や記述が見られたか。	命のトランジットビザ	◎ビザの発給を決断するとき、杉原はどんなことを考えていたのだろう。 ○国際社会で世界平和に力を尽くすためには、どんな考えが大切だろう。
		生命はただ存在するのではなく、その生命を未来へ生かすようとした多数の生命の意志があるからこそ尊い存在であることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	生命の尊さやそのつながり、かけがえのない生命を軽々しく扱ってはならないといった発言や記述が見られたか。	エリカ —奇跡のいのち—	◎エリカはどんな思いで「わたしのかけがえのないいのちは、いまもかがやいているのです。」と言っているのだろう。 ○つながれてきた命と、命をつないでいくことについて考えたことをまとめてみよう。
		真に自分でやろうと決めたことを誠実に実行していくことが、自律的な生き方につながることを自覚を通して、自分の行為の結果に責任をもち、自律的に生きていこうとする態度を育てる。	よりよい人生に向け、主体的に考え誠実に実行しようとする発言や記述が見られたか。	私も高校生	◎四年間学び続けることができたのは、「私」にどんな思いがあったからだろう。 ○あなたにとって、学ぶ意味や喜びとは何か、改めて考えてみよう。
		他者の考え方や見方の違いを受け入れて共に考えることで、自分の考え方や見方が豊かに広がり、新しい発想につながることを自覚を通して、謙虚に他に学ぶという態度を育てる。	他者と共に考えることで、自分の考え方や見方が豊かに広がって新しい発想につながることでできるといった発言や記述が見られたか。	親友と語り合った「孤独の解消」	◎吉藤さんは、番田さんとの出会いによって、どんなことに気づいたのだろう。 ○ほかの人の考えに接するとき、どんなことを大切にしたいだろう。

郷土の未来のために尽くした先達のおかげでいまの暮らしを営めており、自分も地域社会の形成者であることを自覚し、郷土に貢献しようとする実践意欲を育てる。	郷土に対する自分自身の思いを認識し、今度は自分が主体となって郷土に貢献していきたいといった発言や記述が見られたか。	稲むらの火	◎広村堤防に関わる行事が続けられているのは、地域の人たちがどんな思いを抱いているからだろう。 ○自分たちの地域のために大切なのは、どんな考えだろう。
弱い存在に優越感を抱くなどの差別・偏見の考え方から脱却し、互いに理解しようとする姿勢がよりよい社会につながることを自覚し、豊かな人権感覚のある社会の実現に努めようとする態度を育てる。	K君の姿から豊かな人権感覚を学んだ「僕」に共感しながら、「僕」の立場を自分に置き換えて考えている発言や記述が見られたか。	命の大切さ	◎「僕」はどんな思いから「彼にありがとうと言いたい。」と考えたのだろう。 ○豊かな人権感覚があるとどんな社会になると思うか、考えをまとめてみよう。
同性か異性かを問わず、相手の内面的なよさに目を向け、認め合い励まし合う関係が、互いの人間としての成長を促すことの自覚を通して、互いに向上させ合う関係を築こうとする実践意欲を育てる。	異性を尊重し、互いに認め合う関係を築くことの大切さに触れる発言や記述があったか。	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	◎「僕」は、小林さんのどんなところが輝いていると感じたのだろう。 ○友達と認め合う関係になるためには、どんなことが大切だろう。
自分の好きなことは自分の独自性であり、かけがえのない自分を伸ばすことで人生が輝いていくことの自覚を通して、自分らしい充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。	自分自身を見つめ、他者との関わりの中で自分らしさを発見できた経験を生かして新しい生き方をしようとする発言や記述が見られたか。	カラフルな世界で	◎井手上さんの「自分の好きなことを大切にしよう。」には、どんな思いが込められているのだろう。 ○自分らしく生きるために、大切なことはなんだろう。
法やきまりは、みんなの権利や幸せを守るためにみんなで知恵を出して厳格に作ったもので、それに従うことも思いやりある行為であることを自覚し、立法者の視点を大切にしようとする態度を育てる。	法やきまりの意義について深く考え、進んで守ろうとする意欲的な発言や記述があったか。	二通の手紙	◎二通の手紙を見比べた元さんが、この年になって初めて考えさせられたことは、どんなことだろう。 ○法やきまりの意義とは何か、考えたことをまとめてみよう。
これまで歩んできた自分の人生だからこそできること、すべきことがあり、それを実行することが気高い生き方につながることを自覚を通して、自分のよりよい生き方について考えようとする心情を育てる。	自分の人生をよりよく生きることへの関心が高まっているような発言や記述が見られたか。	世界を動かした瞳	◎オードリーは、どんな思いで紛争地域を訪問し、活動を続けたのだろう。 ○あなたは、オードリーの生き方から何を学ぼうだろうか。
思いやりとは相手を気遣いながら関わろうとする心であり、その心を形に表してこそ相手との心の通い合いが生まれることの自覚を通して、思いやりを素直に表そうとする実践意欲を育てる。	お互いが相手の立場を尊重することで心の通い合いが生まれることや、思いやりの心をもって人に接したいといった発言や記述が見られたか。	電車の中で	◎タケシは、席に座らずにいた自分たちの行為と、席を譲った女子二人の行為を比べて、何を考えたのだろう。 ○思いやりの心と形について、考えたことをまとめてみよう。
働くことで、社会や他者の生き方を支えることができ、自分の成長や豊かな生き方にもつながることの自覚を通して、労働を通して社会に貢献する生き方をしようとする実践意欲を高める。	臼井さんの心情と自分の体験を対比するなどして、社会貢献の視点で仕事の意義について考えている発言や記述が見られたか。	失った笑顔を 取り戻す	◎「この仕事に『これでもいい。』という終わりはありません。」と言う臼井さんを支えているものはなんだろう。 ○私たちににとって、働くことにはどんな意味があるだろう。
世界規模の課題でも自分ごととして捉え積極的に関わろうとすることが、根本的な解決につながるっていくことの自覚を通して、社会の一員としてよりよい社会をつくらうとする態度を育てる。	社会的な問題を自分ごととして捉え、積極的に関わっていくこととする発言や記述が見られたか。	海のごみは「まちなか」で生まれる	◎藤枝教授が、地元住民や民間団体などの「善意に甘えてはいけない」と指摘するのはどうしてだろう。 ○社会が抱える問題に対して、私たちはどのように向き合えばよいのだろう。
自然には、その地に生きる人間の歴史と結び付いた文化としての側面もあり、文化を存続させることが自然との共生につながることを自覚を通して、進んで自然の愛護に努めようとする態度を育てる。	「川端」を通して人間と自然との共生の在り方を考え、進んで自然愛護に努めようとする発言や記述が見られたか。	「川端」のある暮らし	◎「水も宝なら、ここで暮らす人たちも宝である。」という言葉には、どんな意味が込められているのだろう。 ○人間が、自然と共生していくためには、どんな心構えが必要だろう。
好奇心をもち、楽しみながら疑問を探究し続けることが、新たな発見や創造につながることを自覚を通して、自らの好奇心を大切にし、新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。	好奇心は、真理を探究し、新しいものを生み出すための原動力となることを考え、自らの好奇心を大切に、分かるようになる過程を楽しむとする発言や記述が見られたか。	ちょっと寄り道を —研究者・眞鍋淑郎—	◎眞鍋さんが好奇心を大切にしてきたのは、どんな考えからだろう。 ○物事を探究して新しいものを生み出すために、大切だと思うことをまとめてみよう。
自分で決めて責任をもって実行することで、人間として成長し、自分の生き方に自信がもてるようになることの自覚を通して、自律的な生き方をしようとする態度を育てる。	自分の意志で行動することの大切さを捉えた発言や記述が見られたか。	町内会デビュー	◎明は、どうして自分から草や枝を集めて運び始めたのだろう。 ○背筋を伸ばして大股で学校に向かった明は、どんなことを思っていただろう。 ○自ら考え、行動することのすばらしさについて考えてみよう。
生命の大切さは何よりも優先されるものであるが、それは、生命の有限性や唯一性、連続性など多様な視点から考えられることを自覚し、自他の生命を尊重しようとする判断力を育てる。	臓器提供について自分の意見を持ち、仲間との考えを受け入れて、自他の生命の尊厳について考えを深めたような発言や記述が見られたか。	臓器提供	◎臓器移植について、家族や周囲の人たちが迷うのはどうしてだろう。 ○かけがえのない生命の尊さについて、考えたことをまとめてみよう。
自制とは、我慢のような消極的なものではなく、自分を制御して人生の主人公になることであり、自制することで人生が豊かになることの自覚を通して、よい生活習慣を身につけようとする態度を養う。	人生をより豊かにするためには望ましい生活習慣を身につけることが大切であり、それを実践しようとする発言や記述が見られたか。	独りを慎む	◎向田さんが、独りのときこそ「慎む」ことを大切にしようとしたのはどうしてだろう。 ○自制する心に必要なのは、どんなことだろう。

3 学 期	9	多様なマナーの根底には相手を大切に する考えが共通して存在し、マナーによって人間 関係を円滑にできることの自覚を通して、さり げなく礼節ある言動をとろうとする実践意欲を 高める。	相手への思いを形に表すとき相手のことを最大 限に考えながらさりげなく伝えるよさや、そ れを実践しようとする発言や記述が見られた か。	マナーって なんだろう	◎マナーがないと、私たちの生活はどうなるだろう。 ○マナーに対してどんな心構えが必要なのだろう。
		自然や人間の力を超えたものに会ったとき、人は心を動かされて癒やされ、その感動 が心豊かに生きるための活力となることの自 覚を通して、畏敬の念をもって素直に受け止 めようとする心情を育てる。	自分の体験を基に振り返り、感動が心豊かに 生きる力になることについての記述や発言が 見られたか。	星空を届けたい	◎高橋さんが「星空を届けたい。」と思う理由はなんだろう。 ○感動することは、私たちの生き方に何をもちたすのだろう。
		国際的視野に立ち、世界平和のために自分 ができることを主体的に模索し、実践すること が重要であることを自覚し、世界平和や人類 の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。	世界平和や人類の幸福について自分のことと して考え、日常的に取り組める目標を見つけ 取り組もうとする発言や記述が見られたか。	本とペンで世界を 変えよう	◎マララをここまで突き動かすものは、なんだろう。 ○私たちが世界平和のためにできることは何か、考えたことをまと めてみよう。
		多くの人との関わりや経験を基に形作られる 自分自身の信念をもつことが、気高く力強い 生き方につながることを自覚を通して、信念を もってよりよく生きようとする実践意欲を育て る。	筆子の生き方を知り、話し合う中で、自分の生 き方や信念についての考えを広げようとする 発言や記述が見られたか。	生きてこそ 一石井筆子の生涯―	◎筆子は、どんな考えから「私は生きなくては……。」と思ったのだ ろう。 ○あなたはこれからどんな生き方をしたいか、考えたことをまとめて みよう。
		自分が一歩踏み出すことではじめて周囲の思 いやりや気遣いに気づき、感謝の思いや生き る喜び、相互のきずなが芽生えることを自覚 し、周囲からの善意を次につなげようとする態 度を育てる。	周囲の支えや善意により日々の生活や自分 があることや、またそれに対する感謝の気持ち について深く考えようとする発言や記述があっ たか。	塩むすび	◎「食事係で新しい世界を知った」という「私」は、どんなことを考え たのだろう。 ○私たちが支えてくれている人の思いやつなごりに、どのように応 えていけばよいのだろう。
		家族に支えられていることに感謝し、自分も家 族を支えることで、家庭生活を築く一員になれ ることの自覚を通して、充実した家庭生活を築 こうとする態度を養う。	「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安、自 分の家族に思いをはせ、次は自分の番だと いった発言や記述が見られたか。	一冊のノート	◎黙って祖母と並んで草取りをする「僕」は、どんなことを考えてい たのだろう。 ○家族について、考えたことをまとめてみよう。
		自分も社会の一員だという意識があると、法や 規則を、他律的ではなく「守りたいから守る」と 主体的かつ自律的に守れるようになることの 自覚を通して、自ら規則を守ろうとする態度を 育てる。	法やきまりは、仕方なくではなく、自分から自 律的に守ることが大切であると意識しているよ うな発言や記述が見られたか。	キラー・ゼブラと 呼ばれて	◎この交通規則の問題は、どのように考えていけばよいのだろう。 ○規則が守られる社会にするために、大切にしたいことはなんだろ う。
		社会の一員としての権利を積極的に理解し、 主体的に社会の形成に関わろうとすることが、 よりよい社会の実現につながることを自覚を通 して、他者と共に社会参画しようとする態度を 養う。	「将来の一票」がよりよい社会の実現につなが るといった発言や記述が見られたか。	サトシの一票	◎サトシは、「将来の一票」をどのように捉えているのだろう。 ○あなたが住む街の未来のために、できることを考えてみよう。
		生命には必ず終わりがあることを認識したう えで、その一回限りの生命を、希望をもって懸命 に生きようとすることで人生が豊かになることの 自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする 態度を育てる。	生命の有限性など、一回限りの生命を大切に するために、自分に何ができるかを考えている 発言や記述が見られたか。	希望	◎この作文を通して、「私」が伝えたかったのはどんな思いだろう。 ○「懸命に生きる」とはどういうことか、考えたことをまとめてみよう。
留意点 引継ぎ等		・ 学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・ 生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 ・ 生徒の安全を最優先にする。 （評価） ・ 授業への参加や、活動ができたか、自分の自己評価を行う。			

令和8年度 中学部3年（Ⅰ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 （思判表力）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	（知及技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりすることができる。 （思判表力）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えることができる。 （学・人）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	（知・技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりしている。 （思・判・表）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えている。 （主学）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	（知及技）働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働くってどういうことだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	（知及技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思判表力）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 （学・人）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	（知・技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思・判・表）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 （主学）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	（知及技）卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	（知・技）卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
	2	（知及技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 （思判表力）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 （思・判・表）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

2 学期	2	(知及技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えている。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う
	3	(知及技)郷土の文化や行事について知ることができる。 (思判表力)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技)郷土の文化や行事について知っている。 (思・判・表)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 (主学)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり、体験したりする。
3 学期	2	(知及技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知ることができる。 (思判表力)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	(知・技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知っている。 (思・判・表)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	(知及技)卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技)卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学)意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 5 3 学期	9	(知及技)働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分の役割を考えることができる。 (学・人)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきることができる。	(知・技)卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)自分の役割を考え取り組んでいる。 (主学)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	0
	3	(知及技)各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し、教科横断的に活用する活動を通して、実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力)知識・技能を活用する中で、課題を解決するため、自ら問題を発見し、解決していくために必要な、情報収集能力・分析能力等を育成し、他者に表現できるようにする。 (学・人)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)インターネット等を活用し、情報収集等を行い、他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 (主学)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和8年度 中学部 3年（I課程） 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをとする。 ・他の学年や学部の生徒と親睦を図る。
		(知及技)・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 (思判表力)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 (学・人)様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	(知・技)・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 (思・判・表)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 (主学)・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		(知及技)・戦争や平和について考えることができる。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 (思判表力)・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人)戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。 ・文化的行事に積極的に取り組む。	(知・技)・戦争や平和について考えようとしている。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表)・平和な生活を送るためにはどうすればよいかを考えようとしている。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 (主学)・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。 ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。	・平和集会 ・森川フェス	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		(知及技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 ・一学期を振り返る。 (思判表力)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかなどを調べる。 ・一学期の反省を発表する。 (学・人)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	(知・技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 ・一学期を振り返ることができる。 (思・判・表)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかなどを調べている。 ・一学期の反省を発表している。 (主学)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート1学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)1学期の振り返りから、目標を決定する。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
2 学期	14	(知及技)少年犯罪について考えることができる。 (思判表力)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	(知・技)少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 (少年犯罪被害防止)	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		(知及技)・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 (思判表力)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 (学・人)・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	(知・技)・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 (思・判・表)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書こうとしている。 (主学)・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) 志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 (思判表力) 志望校の特色を調べる。 (学・人) 志望動機を考え、文章にする。	(知・技) 志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) 志望校の特色を調べている。 (主学) 志望動機を考えることができ、文章にしている。	・進路について	・志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知及技) ・エイズについての正しい知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての正しい知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学 期	8	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・児童生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

特になし

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 3年		国語☆☆☆☆（東京書籍） 国語☆☆☆☆☆☆（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 （思判表力）順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	38	（知及技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。 （思判表力）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 （学・人）自分の言葉で気持ちや考え方を詩に表す。	（知・技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知っている。 （思・判・表）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 （主学）自分の言葉で気持ちや考え方を詩に表そうとしている。	詩「ただいだけで」	・リズムを意識して音読する。 ・詩の用語や形式を学ぶ ・気になった言葉や好きな表現を選び、発表する。 ・互いの発表を聞き、多様な感じ方に触れる。 ・詩の情景がうかぶような詩を作り、発表をする。
		（知及技）身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 （思判表力）身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えることができる。 （学・人）相手の伝えたいことを主観的に聞き取ろうとする。	（知・技）身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 （思・判・表）身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えている。 （主学）相手の伝えたいことを主観的に聞き取ろうとしている。	ペンギンショーを見に行こう	・本文を読み、おおまかな内容を捉える。 ・何の目的で、何を聞き取ろうとしているのかを確認する。 ・館内放送分の作成をする。
		（知及技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。 （思判表力）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 （学・人）文章を読むことで必要な語彙を増やそうとする。	（知・技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知っている。 （思・判・表）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 （主学）文章を読むことで必要な語彙を増やそうとしている。	日本を旅して	・紀行文を知る。 ・文章を読んで情景を想像する。 ・文章からイメージを持ち、写真と文とのマッチングをする。 ・絵と写真をみて想像と異なっていた部分や想像通りだったところを発表する。 ・修学旅行先について調べ、まとめて発表する。
		（知及技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。 （思判表力）文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。 （学・人）様々な物語に触れることで、自国の言語文化を知ろうとする。	（知・技）読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ることができる。 （思・判・表）文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもっている。 （主学）様々な物語に触れることで、自国の言語文化を知っている。	江戸小話	・独特の語り口調や言い回しを聞いたり、音読したりする。 ・話の内容を捉える。 ・読み取った内容から好きな場面や人物について、話し合ったり発表をしたりする。 ・様々な小話について触れる。

		(知及技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。 (思判表力)見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (学・人)手紙の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとする。	(知・技)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知っている。 (思・判・表)見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめている。 (主学)手紙の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	季節の手紙 「暑中見舞い」	・行事や季節に合わせたさまざまなお便りがあることを知る。 ・メールでのやりとりとの違いについて考えや意見をもつ。 ・相手に応じてふさわしい書き方があることを知る。
2 学 期	42	(知及技)郷土の言語文化に触れ、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)身近な言葉を聞き、何についての話かを感じ取り、話の大体を捉えることができる。 (学・人)身近な言葉に興味をもち、しまくとうばの学習に参加しようとする。	(知・技)郷土の言語文化に触れ、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表)身近な言葉を聞き、何についての話かを感じ取り、話の大体を捉えている。 (主学)身近な言葉に興味をもち、しまくとうばの学習に参加している。	しまくとうば	・地域によって使われる言葉に違いがあることを知る。 ・日常生活の場面（あいさつや給食など）で使われる言葉に触れ、しまくとうばと標準語との違いに気付く。 ・しまくとうばを聞いたり、まねして声に出したりする。
		(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くことができる。 (思判表力)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動することができる。 (学・人)アクセントや反対語、同義語等、言葉に関心を持つとする。	(知・技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることを理解している。 (思・判・表)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動しようとしている。 (主学)アクセントや反対語、同義語等、言葉に関心を持つとしている。	言葉のページ 言葉の意味 仲間の言葉	・教科書の音読 ・メモの内容の確認(修学旅行に向けて) ・メモをとる ・メモをもとに質問や対話をする

		(知及技) 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) 身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉の伝え方や言葉の選択など、思いや考えを伝え合おうとする。	(知・技) 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使おうとしている。 (思・判・表) 身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉の伝え方や言葉の選択など、思いや考えを伝え合おうとしている。	校外学習に行く前に確認しよう	・説明を聞いて大切なことを聞き漏らさないように気をつけながら書き留めていくことを確認する。 ・メモを取りながら聞く ・メモを手がかりに聞き取った内容を生徒同士で比較する。 ・メモを使いながらわからない点や確かめたい点を友達に質問して、内容の大体を理解できるようにする。
		(知及技) 長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使おうことができる。 (思判表力) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学・人) 読書の幅を広げ、情景や心情を読み取って、情操を豊かにしようとする。	(知・技) 長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使おうとしている。 (思・判・表) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 (主学) 読書の幅を広げ、情景や心情を読み取って、情操を豊かにしている。	修学旅行の思い出	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・修学旅行の感想文を書く ・感想文を発表する
		(知及技) 修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。 (思判表力) 様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学・人) 説明的文章に親しみをもち、進んで読書をしようとする。	(知・技) 修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解している。 (思・判・表) 様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。 (主学) 説明的文章に親しみをもち、進んで読書をしようとしている。	スーパーマーケットの見学	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・わかったことについて発表したり、質問し合ったりする(修学旅行に向けて)。
		(知及技) 生活に身近なことわざなどを知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。 (学・人) 身近なことわざに関心をもち、日常生活の中で進んで使おうとする。	(知・技) 生活に身近なことわざなどを知り、使うことにより様々な表現に親しんでいる。 (主学) 身近なことわざに関心をもち、日常生活の中で進んで使おうとしている。	ことわざ	・ことわざや標語の音読 ・教科書以外のことわざや標語を見つける。
		(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることができる。 (思判表力) 見聞かしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。 (学・人) 手紙の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとする。	(知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知っている。 (思・判・表) 見聞かしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめている。 (主学) 手紙の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	年賀状	(知及技に関する活動) 1 敬体と常態の文末表現の違いについて学ぶ。 2 場面に応じた表現方法について知る。 3 賀詞の種類や表現方法について知る。 (思判表力に関する活動) 1 年賀はがきの書き方に沿って年賀状を書く。
3学期	25	(知及技) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。 (学・人) 書道のよさを感じ、筆を用いて書くことに取り組もうとする。	(知・技) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 (主学) 書道のよさを感じ、筆を用いて書くことに取り組もうとしている。	書き初め	・書道用具の名称を学ぶ。 ・準備・片付けの手順に沿って書道に取り組む。 ・「とめ」、「はね」、「はらい」、「点」の書き方に注意して書く。 ・書いた文字を紹介する。
		(知及技) 修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解することができる。 (思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 文章から読み取ったことをもとに、自分の感じたことや考えたことを進んで伝え合おうとする。	(知・技) 修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解している。 (思・判・表) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学) 文章から読み取ったことをもとに、自分の感じたことや考えたことを進んで伝え合おうとしている。	医学の発展に尽くした日本人	・わかったことや感じたことの発表 ・ほかの伝記を読んでみる。
		(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などの関係を明確にして文章の構成を考えることができる。 (学・人) よりよい言葉を使って、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などの関係を明確にして文章の構成を考えている。 (主学) 文章の構成を考えながら、文章を書こうとしている。	3年間の思い出を書こう	・内容の読み取り ・3年間の思い出を考え、まとめる。 ・発表をする。

		(知及技) 発声や発音、声の大きさに注意し、内容の大体を意識しながら音読をすることができる。 (思判表力) 学校生活を思い出し、話し合いをしながら、文章を作ることができる。 (学・人) 学校生活を振り返り、友達と関わりながら思い出や気持ちを大切に言葉にしようとする。	(知・技) 発声や発音、声の大きさに注意し、内容の大体を意識しながら音読をしている。 (思・判・表) 学校生活を思い出し、話し合いをしながら、文章を作っている。 (主学) 学校生活を振り返り、友達と関わりながら思い出や気持ちを大切に言葉にしようとしている。	よびかけ (送辞・答辞)	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・答辞作り(「3年間の思い出を書こう」をもとに)
留意点 引継ぎ等	年間を通して ・習熟度に合わせた漢字の読み・書きを行う。 ・絵本、物語、図鑑等の図書に親しむ活動を通して、言葉や表現に触れる機会を設け、読むことへの興味や楽しさを育む。 ・季節行事や学校行事等の身近な話題をあげ、学習内容との関係性を示しながら、学習への関心・意欲を高める。 ・各領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れるものとする。				

令和8年度 中学部 3年(ⅡA課程) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部 3年			ひかりのくに みじかなマーク 小学館 ちずずかん2
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことから関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 身近な地域や自分の住んでいる市町村の様子が分かる。 (思判表力) 沖縄県内における市町村の位置や地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現する。 (学・人) 沖縄県の様子や自分たちの住んでいる地域に対して関心をもつ。	(知・技) ・身近な地域や自分の住んでいる市町村の様子が分かっている。 (思・判・表) ・沖縄県内における市町村の位置や地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。 (主学) ・沖縄県の様子や自分たちの住んでいる地域に対して関心をもとうとしている。	●沖縄県の地理	・沖縄県の市町村(名前、位置など) ・沖縄県の地形や気候 ・主な産業の分布 ・他県とのちがいが、地理的環境の特色
		(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや歴史上の出来事、文化遺産などを知る。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現する。 (学・人) 沖縄県の歴史や文化財、年中行事等について関心をもつ。	(知・技) ・県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや歴史上の出来事、文化遺産などを知っている。 (思・判・表) ・歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) ・沖縄県の歴史や文化財、年中行事等について関心をもとうとしている。	●沖縄県の歴史	・沖縄県の時代区分 ・主な歴史的事象 ・県の発展に尽くした先人の働き ・沖縄県の文化財、世界遺産 ・沖縄の年中行事 ・生活や道具などの変化
2 学期	28	(知及技) 世界の様々な地域に関わる学習活動を通して、文化や風習の特徴や違いを知り、人々の生活の様子を大まかに理解する。 (思判表力) 世界の中の日本と国際交流に関わる学習活動を通して、そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現する。また、世界の出来事などに着目して、多様な文化について考え、表現する。 (学・人) 世界の出来事や多様な文化など、外国の様子に関心をもつ。	(知・技) ・世界の様々な地域に関わる学習活動を通して、文化や風習の特徴や違いを知り、人々の生活の様子を大まかに理解している。 (思・判・表) ・世界の中の日本と国際交流に関わる学習活動を通して、そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現している。また、世界の出来事などに着目して、多様な文化について考え、表現している。 (主学) ・世界の出来事や多様な文化など、外国の様子に関心をもとうとしている。	●外国の様子	・世界の国々(名前、位置、国旗など) ・世界各国の自然と歴史、産業 ・世界各国の生活習慣と文化(衣服、料理、住居など) ・日本とのちがいが ・世界の出来事(オリンピックなど)
3 学期	17	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現する。 (学・人) 身近なマークに関心をもつ。また、そのマークが示すことに従うことができる。	(知・技) ・家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 (思・判・表) ・社会生活ときまりとの関連を考え、表現している。 (主学) ・身近なマークに関心をもち、そのマークが示すことに従おうとしている。	●社会参加ときまり	・道路標識、交通ルール ・ごみの分別 ・身近なマーク ・きまりを守る意義
留意点 引継ぎ等		生徒の理解度に応じて学習を進めること。			

令和 8 年度 中学部 3 年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	中学部 3 年		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを生活に活かす。 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量に注目して処理する技能を身に付けるようにする。（小学部） (思判表力) 数学的な表現や処理の仕方を習得する。日常の事象の中から数量を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。（小学部） (学・人) 問題が解ける喜びや成就感を味わい、意欲的に学習する。数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。（小学部）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けるイメージがある。 ・予算内にどんなものが購入できるか知る。 (思判表力) ・頭の中で折り曲げた紙の展開図を描ける。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える。 (学・人) ・お金の支払いをするための工夫をしようとしている。	(知・技) ・頭の中で、折りたたんだ紙に穴を開けるけたとき、穴の位置がどこかわかる。 ・予算内にどんなものを購入できるか理解することができる。 (思・判・表) ・展開図の仕組みを理解して想像することができる。 ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶか考えることができる。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる。 (主学) ・お金の支払いの工夫をしようとしている。	コグトレ 金銭	・想像する（穴の位置） ・おつりのある払い方 ・予算を考えよう
		(知及技) ・頭の中で、イメージを回転させる。 ・レシートの見方がわかる。 (思判表力) ・レシートの項目と数字を見ながら処理する。 (学・人) ・お金を管理しようとしている。	(知・技) ・頭の中で、3次元空間がわかる。 ・レシートと小遣い帳の関連を理解することができる。 (思・判・表) ・小遣い帳を正しく書くことができる。 ・計算機を使って、正確に計算することができる。 (主学) ・金銭感覚を身につけ、計画的に金銭を管理しようとする。	コグトレ 金銭	・想像する（心で回転） ・小遣い帳をつけよう
2 学期	30	(知及技) ・それぞれの関係性を理解する。 ・バスの利用の仕方を知る。 (思判表力) ・家から学校までのバスの乗り方を考える。 ・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える。 (学・人) ・バス通学をする方法を知ろうとする。	(知・技) ・それぞれの関係性を理解することができる。 (思・判・表) ・バスの利用の仕方を理解している。 ・家から学校までのバスの乗り方を考える事ができる。 ・自分にとってベストなバス賃の支払い方を考える事ができる。 (主学) ・バス通学をする方法を知ろうとしている。	コグトレ 公共交通機関の利用	・想像する（順位決定戦） ・バス賃はいくら？ ・最寄りのバス停から学校に来るには（模擬）
		(知及技) ・それぞれの関係性を理解する。 ・調べた物を表にする方法を知る。 ・表からグラフを作成する。 ・結果の大小関係がわかる。 (思判表力) ・どのように表すことで結果がわかりやすいか考える。 ・様々な項目の比較を考える。 (学・人) ・他にどんなグラフの形があるか知ろうとする。	(知・技) ・それぞれの関係性を理解することができる。 (思・判・表) ・表から棒グラフを作成することができる。 ・結果の大小関係が理解できている。 ・それぞれを比較して、論理的に順位付けをすることができる。 ・ぱっと見て結果がわかりやすいグラフを考える事ができている。 ・項目の大小関係の比較を考える事ができている。 (主学) ・他にどのようなグラフの形があるのか知ろうとしている。	コグトレ 表とグラフ	・想像する（順位決定戦） ・身の周りの生徒や先生の情報を聞いて、グラフを作ろう。
3 学期	16	(知及技) ・ストーリーを想像する。 ・映画館まで行く方法を知る。 ・映画を観るまでに必要な流れを知る。 ・必要な予算を知る。 (思判表力) ・時間の感覚を感じる。 ・移動方法を考える。 ・映画館での飲食代を考える。 ・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える。 (学・人) ・映画館で映画を観る方法を知ろうとする。	(知・技) ・ストーリーを想像することができる。 (思・判・表) ・時間概念を理解し、論理的に物語を作ることができる。 ・移動方法を考える事ができている。 ・映画館での飲食代を考える事ができている。 (主学) ・映画チケット購入方法を考える事ができている。 ・映画館で映画を観る方法を知ろうとしている。	コグトレ 休日に映画館に出かけよう	・想像する（物語づくり） ・見たい映画に間に合わせて移動しよう（模擬） ・予算内に飲み物と食べ物を購入しよう（模擬）
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 中学部3年（Ⅱ課程A） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2／70		中学部3年		理科☆☆☆☆(東京書籍) 沖縄の理科(沖縄時事出版) 他	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)人の体のつくりや磁石の性質及び水や空気と温度についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(中1～2段階) (思判表力)人の体のつくりや磁石の性質及び水や空気と温度について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につける。(中1～2段階) (学・人)人の体のつくりや磁石の性質及び水や空気と温度について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。(中1～2段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知・技) ・磁石の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を知らうとすることができる。(中1段階Cア) (思・判・表) ・磁石の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつ力を身につけることができる。(中1段階Cイ) (主学) ・磁石の性質について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中1段階Cウ)	(知・技) ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、また、磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。 ・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ・磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ・磁石の性質について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【磁石の性質】 ・磁石に引きつけられる物 ・異極と同極	・いろいろな物に磁石を近づけてみて、気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、磁石の性質と働きについて調べる問題を見いだす。 ・いろいろな物に磁石を近づけた経験やこれまでに学んだことを基に、どんな物が磁石につくかを予想する。 ・いろいろな物に磁石を近づけて、磁石にくかどうか調べる。 ・鉄は磁石につくことをまとめる。 ・電気を通す物と磁石につく物について学んだことを生かして、身の回りの物を分類する。 ・磁石は離れていても鉄を引き付けるかを、磁石を近づけたり遠ざけたり、間に物を挟んだりして調べる。 ・磁石は離れていても鉄を引き付けけることをまとめる。 ・磁石の極について知り、極の性質を調べる。 ・磁石の極の性質をまとめる。 ・身の回りにおける磁石を利用した物を探す。 ・磁石につけた鉄の釘が磁石になっているかを調べる方法を考え、調べる。 ・磁石につけた鉄の性質についてまとめる。
		(知・技) ・雨水の行方と地面の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階Bア) (思・判・表) ・雨水の行方と地面の様子について調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階Bイ) (主学) ・雨水の行方と地面の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階Bウ)	(知・技) ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 ・水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ・雨水の行方と地面の様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・雨水の行方と地面の様子について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・雨水の行方と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【雨水の行方と地面の様子】 ・地面の傾きによる水の流れ ・土の粒の大きさと水のしみ込み	・雨の日の校庭の様子を観察し、水たまりの様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、雨水の流れ方について調べる問題を見出す。 ・雨水はどこからどこへ流れてどのような場所に集まるかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・雨水が流れていた所の地面の傾きや、水たまりとその周りの地面の傾きを調べる。 ・雨水の流れ方と集まり方についてまとめる。 ・資料を読んで、雨水による災害を防ぐ取り組みについて捉える。 ・雨が降った後の校庭と砂場の地面の様子を比べて、調べる問題を見出す。 ・土や砂の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて予想する。 ・水のしみ込み方についてまとめる。 ・雨水の行方と地面の様子について、学んだことをまとめる。
2学期	28	(知・技) ・人の体のつくりと運動について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階Aア) (思・判・表) ・人の体のつくりと運動について調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階Aイ) (主学) ・人の体のつくりと運動について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階Aウ)	(知・技) ・人の体には骨と筋肉があることを理解している。 ・人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 ・人の体のつくりと運動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思・判・表) ・人の体のつくりと運動について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・人の体のつくりと運動について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・人の体のつくりと運動についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・人の体のつくりと運動について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【人の体のつくりと運動】 ・人の体のつくり ・骨の動きと筋肉による運動	・人の体の構造を観察し、骨や筋肉について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、骨や筋肉の役割について調べる問題を見出す。 ・人は骨や筋肉をどのように動かして運動するのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・ほかの動物の骨や筋肉と人の骨や筋肉のを比較して、運動の特性をもとに、その働きのちがいに調べる。 ・資料を読んで、動物の体のつくりがどのように異なるかについて捉える。 ・人の体のつくりと、鳥類や魚類のからだのつくりを比べて、調べる問題を見出す。 ・人の体のつくりについて、学んだことをまとめる。
		(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階Aア) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階Aイ) (主学) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階Aウ)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や経された結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(夏の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・夏と春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの自然の様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、植物や動物の様子の変わり方について疑問を見いだす。 ・サクラやヘチマなどの成長の様子を観察して、記録する。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・これまでの記録を基に、ヘチマなどの成長と気温の変化をグラフなどにまとめ、育ち方と気温との関係を考える。 ・これまで観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまで学んだことや経験したことを基に予想して話し合う。 ・資料を読んで、夏の季節の特徴を捉える。
		(知・技) ・電気の回路について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を知らうとすることができる。(中1段階Cア) (思・判・表) ・電気の回路から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつ力を身につけることができる。(中1段階Cイ) (主学) ・電気の回路について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中1段階Cウ)	(知・技) ・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ・電気を通す物と通さない物があることを理解している。 ・電気の回路について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ・電気の回路について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【電気の通り道】 ・電気を通すつなぎ方 ・電気を通す物	・豆電球、乾電池、導線を用いて明かりをつけてみて、気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、電気の通り道について調べる問題を見いだす。 ・豆電球に明かりがつくときとつかないときのつなぎ方を調べる。 ・豆電球に明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方の回路についてまとめる。 ・回路の途中に鉄の釘や木の爪楊枝をはさんだときの様子を見、電気を通す物について問題を見出す。 ・回路にいろいろな物をつないで、電気を通す物を探す。 ・金属は電気を通すことをまとめる。 ・豆電球に明かりがつく回路のつなぎ方と電気を通す物について、学んだことをまとめる。

3 学 期	17	(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階A7) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階Ai) (主学) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階Au)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や絵垂れた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・身近動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(冬の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・冬と秋の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・寒い頃のサクラの枝先の様子と枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。 ・これまで観察してきた植物や動物のこれからの変化について、話し合う。 ・資料を読んで、冬の季節の特徴を捉える。
		(知・技) ・水や空気の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階Cア) (思・判・表) ・水や空気の性質について調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階Cイ) (学・人) ・水や空気の性質について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階Cウ)	(知・技) ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わることで、また、水が氷になると体積が増えることを理科している。 ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。 (思・判・表) ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・温度を変化させたとときの水の体積や状態の変化についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・温度を変化させたときの水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【水や空気と温度】 ・温度と体積変化 ・水の三態変化	・水のでき方について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、水を冷やしたときの水のすがたの変わり方について問題を見いだす。 ・水を冷やした問の様子や温度と体積の変化を調べ、表やグラフに整理する。 ・冷やしたときの水の様子や温度の変化についてまとめる。 ・水を熱したときの様子について知っていることや資料写真を見て、気づいたことを話し合う。 ・水を熱したときの水の温度の様子を予想する。 ・水を熱したときの水の温度の様子を調べる方法を考える。 ・水を熱したときの水の様子や温度の変化についてまとめる。 ・熱した後にピーカーの中の水が減っていた理由について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・熱した後にピーカーの中の水が減っている理由を調べる方法を考える。 ・水を熱して、湯気や泡の正体について調べる。 ・水を熱したときの温度をまとめる。 ・水の3つのすがたについてまとめる。 ・温度による水のすがたの変化について、学んだことをまとめる。

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	中学部3年ⅡA課程		音楽☆☆☆☆☆/音楽☆☆☆☆（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。 （学・人）進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技）曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付くことができる。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現ができる。 （思判表力）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現、身体表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付いている。音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を身に付け、歌ったり、体を動かしたりしている。 （思・判・表）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現や身体表現に対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	友達と歌おう 【歌唱】 「花」 【歌唱、手話】 「Believe」	・CDや動画で曲を聴き、曲の雰囲気をつかむ。 ・伝統的な歌曲を聴き、曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりを感じる。 ・歌詞のうち古語による表現の箇所については、生徒がイメージできるように絵や写真、映像を示し、歌詞の意味を調べる時間を設定し、理解を促す。 ・「喜び」「寂しさ」「明るさ」等感情を表す歌詞について気持ちを込めて歌う。 ・互いの声を聞き合いながら歌うことや歌詞に合わせた動作や手話をつけて歌う。
		（知及技）曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現ができる。 （思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながらリズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことに対する思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体を動かしている。 （思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら身体表現に対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	ボディリズム「青と夏」 テーブルミュージック「青と夏」	・体全体をパーカッションにしてリズムをきざみ、その重なりで音楽を奏する（ボディパーカッション） ・身体表現を通してリズムの特徴や曲の雰囲気を感知取る。 ・タイミングを合わせる工夫をしながら友達と協力して主体的に動きを合わせるようにする。
		（知及技）いろいろな音の響きの特徴に気付くことができ、リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能、音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 （思判表力）音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）いろいろな音の響きの特徴に気付いている。リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能、音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 （思・判・表）音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように音楽をつくるか発想を得たり、音楽づくりに対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。	音楽をつくろう① 【音楽づくり】 「いろいろな音をつくろう」 「音が休みのきまり」 「楽器をつくろう」 レインスティックをつくろう	・自然の音、校内の音を録音してみる、(iPad) ・身近な素材やiPadを使って音を出してみることで、音の不思議さや面白さを感じ取る。 ・友達同士でお互いの表現について感じたことを話し合う。 ・音符や休符の名前、長さについて学習する。 ・手作りしたレインスティックを見て奏法を考える ・筒の中に入れる物によって音色に違いが生じることを聴き比べる。
		（知及技）楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付くことができる。音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能、友達の楽器の音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 （思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いている。音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能、友達の楽器の音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 （思・判・表）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。	合奏をしよう 「マンボNo. 5」 楽器（ウクレレ）に挑戦しよう 「さらさらぼし」 「日曜日よりの使者」	・ボンゴ、マラカス、タンブリン、ドラム等好きな打楽器を選び曲を聴きながら演奏する。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて演奏する

2 学 期	27	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と他の芸術との関わりに気づくことができる。曲の速度やリズムの特徴を理解することができる。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、強弱、曲の構成などを知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽のよさや美しさを感じながら聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と他の芸術との関わりについて気づいている。曲の速度やリズムの特徴を理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、強弱、曲の構成などを知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽のよさや美しさを感じながら聴いている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう 「ボレロ」	・他の芸術との関わりについて知る。 ・繰り返し、演奏されるリズムと旋律、音色や強弱の変化に注目して聴く。 ・作曲者について知る。 ・オーケストラの楽器について知る。
		(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かっている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽のちがいをくらべよう 【鑑賞】 「音色のちがいをくらべよう」 「声の重なりを感じよう」 「旋律の重なりを感じよう」	・音色の異なる曲を比較しながら鑑賞する。 「アメイジング グレイス」「フォー ト短調」「四季より」春」「アルルの女より」メヌエット」 ・声の重なり、旋律の重なりを感じながら鑑賞する。 「オペラまてきより パ・パ・パ」 「パッヘルベルのカノン」 「アルルの女第2組曲からファランドール」
		(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わり、歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付くことができる。多様な楽器の音色と全体との響きとの関わりに気付くことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わり、歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。多様な楽器の音色と全体との響きとの関わりに気付いている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞表現、器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。	世界の楽器と音楽を調べよう 「ラ クカラーチャ」メキシコ民謡 「コンドルは飛んでいく」ペルーその他	・各国の音楽・楽器・曲を聴き、雰囲気や特徴を知ろう。 ・世界地図で場所を確認する。 ・写真や映像で見たり、視聴したりして世界の音楽・楽器・曲について知る。
		(知及技) 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音色、リズム、テクスチャを知り、雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて考えることができる。 (学・人) 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 音色、リズム、テクスチャを知り、雰囲気を感じながら、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	クラッピングラブソディー第1番	・リズムの変化を感じとって演奏する（キーボード、木琴等） ・リズム伴奏を考える。（ドラムセット、キーボードのリズムマシン、GarageBand等）
3 学 期	18	(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かっている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな音楽を聴こう 【鑑賞】 「アイネクライネナハトムジーク」 「A列車でいこう」 「カルメン前奏曲」 「Let It Be」 「ハリーポッターのテーマ」	・CDを聴いたり、映像を見たりする。 ・弦楽器について知る。 ・ビックバンドによるジャズ音楽や楽器について知る。 ・旋律を口ずさんだり、手拍子(裏打ち)をしたりして曲想を味わえるようにする。 ・オーケストラの響きに親しみ歌劇(オペラ)に興味関心を持つ。 ・歌とエレクトリックギタードラムなどによるロックバンドの様式や楽器を知る。 ・曲を聴きながらモチーフ(ヘッドウィッグのテーマ)を探す。チェレスタという楽器で演奏されていることを知る。 ・鑑賞して気付いたことや感想を話し合う。
		(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付く。友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	みんなで歌おう 【歌唱】 「花は咲く」「栄光の架橋」「ベストフレンド」など	・CD、映像、範唱などで曲を知る。 ・歌詞を読んで内容を理解する。 ・曲や歌詞に合う歌い方(明るい、優しい、力強い、穏やかなど)を伝え、歌い方を工夫する。 ・伴奏や友達の歌を聴き、声を合わせて歌う。
留意点 引継ぎ等		○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「時をこえ」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 中学部 3年(Ⅱ課程) 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2/70		中学部3年(Ⅱ課程)		美術2・3(光村図書)／他	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標	(知及技) 生徒の実態に応じて、造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。 (思判表力)造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める。 (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●材料や用具の扱い方に親しむとともに表し方を工夫し、材料や道具を選んで使い表すことができる。 (思判表力) ●造形的なよさや美しさ表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に発想し構想することができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○年間の学習の見通しを立てることができるとともに、材料や道具の扱いが分かり、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具、技法を選択し構想を練っている。 (主学) ○主体的に制作の活動に取り組んだり、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしている。	オリエンテーション 『美術を楽しむために』 絵や彫刻など 『色と形からあらわす』	・教科書に掲載されている作品を見たり、1年間の計画や内容を理解する。 ・様々な画題やモダンテクニックの技法を用いて自由に表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の扱い方に親しむとともに表し方を工夫し、材料や道具を選んで使い表すことができる。 (思判表力) ●身近なものや経験したこと、想像したことなどから表したいことを考えて構想することができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○版画の技法や道具の扱いなどが分かり、形や色、などが感情にもたらす効果をもとに、主題を全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った表現方法を選択し、意図に応じて工夫して構成を練っている。 (主学) ○自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『版で表す』	・身近なもののから発想して主題を生み出し、版画で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の扱い方に親しむとともに表し方を工夫し、材料や道具を選んで使い表すことができる。 (思判表力) ●経験したことや思ったこと、材料などを基に表現の発想を練ることができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○紅型のなりたちや工程などを知り、形や色などを工夫して、見通しをもって制作することができている。 (思・判・表) ○紅型の材料や用具、配色のきまりなどの特性を生かしながら自分の好みの配色でより工夫して表現しようとしている。 (主学) ○自らすすんで楽しく創作活動や、鑑賞の活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『地域の伝統工芸・紅型を知る』	・沖縄の伝統的な工芸品である紅型鑑賞し、その成り立ちや技法を知る。 ・コースターなどの小作品を紅型の型染めで自分の好みの配色に染める。
2学期	27	(知及技) ●造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身につけるとともに多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる。 (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組む、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者が作品に隠した思いなどをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を深めることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『身近なものを立体でとらえる』	・身近なものをよく見たり触ったりしながら特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・さまざまな彫刻作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・塑像の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●材料や用具の扱い方に親しむとともに表し方を工夫することができる。 (思判表力) ●経験したことや思ったこと、材料などを基に表現の発想を練ることができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○表したいことに応じて材料や道具を選び工夫して、制作しようとしている。 (思・判・表) ○材料や想像したこと、設置する場所などから主題を生み出し、光の効果や美しさなどから表現の構想を練っている。 (主学) ○主体的に制作の活動に取り組んだり、作品の造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしている。	デザインや工芸など 『明かりをつくらう』	・身近なものをヒントに、主題を生み出し、心がほっとするような明かりの作品を作る。工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
		(思判表力) ●世界の美術作品を鑑賞したり、工芸品に触れて会見することで自分の見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(思・判・表) ○美術作品などを鑑賞して、自分自分なりの感想や考えを持ち、発表したりワークシートに記入することができる。 (主学) ○美術作品や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	鑑賞 『美術作品に親しもう』 『茶道と日本美術』	・タブレット端末や教科書などを利用し、世界中のさまざまな美術作品を鑑賞し、友だちと話し合ったり、自分の意見を発表したりする。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、作品がつくられた背景や茶道の歴史等について調べたり、調べたことを記入する。 ・季節に合わせた茶道具を使って実際に点前の体験を行う。

3 学 期	18	(知・技) ●意図に応じてタブレットやアプリなどの特性を生かすことができる。 (思・判・表力) ●映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現を考えることができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、構図や動きなどの視覚的な要素の働きについて考え、構想を練っている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『コマ撮りアニメーションに挑戦！』	・人物や学校生活の情景を撮影することに興味をもち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・用具やアプリの特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知・技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようににあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 (思・判・表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。 (学・人) ●創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、豊かな情操を培うことができる。	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 『共同制作の魅力 気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見直しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ 等		※授業計画及び教材における描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和 8 年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 3年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。(中1段階ア) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを言ったり書き出したりにしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。 (主学) 体づくり運動に積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気持ちいい関わり合ったりする。 体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行うこと。 ・ ・ 様々な用具を使ってリレーをする。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている・サーブでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げるができる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つこと。 ・ ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すこと。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。
		(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表) 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学) 水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。 ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 (思判表力) 熱中症について知り、その予防方法や手当ての仕方について理解することができる。 (学・人) 活動に適した環境について答えることができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 熱中症になりやすい環境について知り、予防方法について答えている。 (主学) 環境が健康に及ぼす影響について考えようとしている。	保健分野 ・ 健康な生活と疾病予防 ・ 健康と環境	1 健康の成り立ち 2 調和のとれた生活 3 活動に適する環境 4 熱中症の予防と手当て

2 学 期	41	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、さまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて、言ったり書き出したりしている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。(思・判・表) 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。(主学) フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。(思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。(主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 突き、蹴り等の基本的な動き。 ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き。 ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。(思判表力) 攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。(学・人) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするができる。	(知・技) 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。(主学) 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	球技	○バスケットボール、サッカーを基にしたゲーム ・ ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ・ ボール保持者と自分の間に守る者がいないように移動すること。 ・ コート内で攻守入り交じって、味方にパスをする、シュートをする、ドリブルをすること。
		(知及技) 心と体の発達と心身が相互に関わっていることについて理解することができる。(思判表力) 心身の基本的な機能の発達について理解している。(学・人) 心身の機能の発達と心の健康について実生活と結び付けて取り組むことができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たることを理解している。(思・判・表) 自分自身の心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。(主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、自己の生活に活かそうとしている。	保健分野	・ 心身の機能の発達 ・ 健康な生活と疾病の予防 1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とう向き合うか 性情報への対処について考える。 5 感染症の種類と予防 性感染症を含めた感染症の種類や予防方法について知る。
3 学 期	27	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、さまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。(主学) マナーを守ったり相手の健康を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つこと。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすること。

		(知及技) 思春期における心身の機能の発達ついて知ることができる。 (思判表力)心の健康について考えて、よりよいコミュニケーションの方法について知ることができる。 (学・人)ストレスが心身に及ぼす影響について知り、ストレスへの対処法を身につけることができる。	(知・技) 心は様々な経験や学習によって発達し、体の健康にも影響することを理解している。 (思・判・表)よりよいコミュニケーションほ方法について考え、表現している。 (主学)ストレスへの対処について、実生活に結び付けて考ようとしている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達 心のはたらきについて理解する。 6 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて考える。 7 ストレスへの対処 リラクセーションの方法を身に付ける。
留意点 引継ぎ等	・ 体づくり運動は年間を通して行う。				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程Aグループ）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部3年		職業・家庭 たのしい職業科 わたしの夢につながる

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につける。 （思・判・表） ・将来の家庭生活や職業生活に必要な時柄を見いだし課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現する力を養う。 （学・人） ・よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 （関連教科）	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	70	・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（知・技） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知・技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思・判・表） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工） ・野菜の販売学習（情報）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：畑作り（土の中耕作業・元肥） ・オクラの定植、灌水、追肥、誘引、除草、収穫、作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・花壇への花の定植。（松葉ボタン・トレニア・向日葵、メランポジウム） ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を理解する。（寸法取り・部品加工・塗装） ・ラックの作成。（共通課題） ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（知・技） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知・技） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：畑作り（土の中耕作業・元肥） 玉葱・馬鈴薯・人参の播種、定植、灌水、追肥、除草、作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・プランターへの花の定植。（マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ペゴニア・ヒオラ） ・管理作業。（追肥、摘花、花殻摘み、灌水） ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を経験、理解する。（寸法取り・部品加工） ・個人作品の作成。（個人で製作したい作品）
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（知・技） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知・技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思・判・表） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工） ・野菜の販売学習（情報）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：玉葱・馬鈴薯・人参の収穫。 ・作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・プランターの花への管理作業。（追肥、摘花、花殻摘み、灌水） ・次年度へ向けての畑の整備をする。 ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を経験、理解する。（塗装） ・個人作品の作成。（個人で製作したい作品） ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を定着することができる。
年間を通しての指導		・分担区清掃 （学・人）	・協力して分担区の清掃作業に取り組む。（主学）	・職業	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の実態に応じて農場での栽培をプランター栽培に切り替える時もある。（生徒の実態を考慮する） ※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品など。			

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程Aグループ） 職業・家庭（家庭） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	中学部3年		職業・家庭☆☆☆☆ 文部科学省

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。 （思判表力）将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を身につける。 （学・人）よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技）自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。 （思判表力）家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えて行うことができる。 （学・人）家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ることができる。 （知及技）職業・家庭の学習内容を知る。	（知・技）自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 （思・判・表）家にはどのような仕事があるか知り、自分にできることを考え実践しようとしている。 （主学）家庭生活、衣食住に興味を持っている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、ワークシート等	・オリエンテーション 「職業・家庭で何を学習するの？」	・自分の成長を振り返り、働いて生活する大人になるために、自分が頑張りたいことをワークシートにまとめる。 ・働く意義や働く上で必要な力について知り、家庭内の役割について考えワークシートにまとめる。 ・パワーポイントをを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。 ・3年間で身に付けたい目標をたてる。
		（知及技）場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践することができる。 （思判表力）日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。 （知及技）衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解することができる。	（知・技）場面に応じた衣服の選択や手入れ仕方、簡単な裁縫技能などを身に付けようとしている。 （思・判・表）衣服の着方や手入れの方法をTP0に応じて工夫することができる。 （知・技）職業や学校など職種ごとに制服が違うことを理解する。 （知・技）行事や冠婚葬祭、場に応じた服装があることを理解している。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・衣服をきれいにしよう ・TP0に応じた着方 ・身だしなみを整えよう	・洗濯機の使い方 ・手洗いの仕方 ・洗濯物の干し方 ・衣服に応じたたたみ方 ・アイロンのかけ方 ・「いつ」「どこで」「何をするか」を確認しながら適した服装を考える。 ・おしゃれの基本を確かめる。 ・自分の好きなおしゃれをして友達と見せ合う。 ・洗顔、肌の整え方、髪のセットの方法、爪の切り方を実践する。
2学期	30	（学・人）健康な生活と食事の役割について知ることができる。 （知及技）簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。 （思判表力）簡単な調理計画について考えることができる。	（主学）自分自身の食生活を振り返り、日頃の食生活が健康な体作りに大切な役割を果たしていることを知る。 （知・技）簡単な調理の方法を知り、手順に沿って日常食を作ろうとしている。 （思・判・表）簡単な調理計画について工夫ができる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・食生活（健康な体作りの基本、食事の役割） 調理の基礎、簡単な調理	・自分自身の食生活の振り返りや食事の役割について、ワークシートにまとめる。 ・調理室や調理器具の使い方について知る。
3学期	16	（思判表力）住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践することができる。 （思判表力）季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。	（思・判・表）整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持っている。 （主学）級友と協力して清掃ができる。 （思・判・表）季節の変化に合わせて住まい方の工夫ができる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・住生活（住まいの整理・整頓、清掃）	・身の回りの整理整頓や台拭き・掃除機やワイパーを使っての清掃 ・視聴覚教材を見ながら季節ごとの住まいの整え方を知る
引継ぎ等		・2～3学年Ⅱ課程で学習を行うが、生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。			

令和8年度 中学部3年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部3年 II課程A		ドラえもんはじめての 英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 簡単な表現の英語であいさつができる (思判表力) 簡単な表現の英語で自己紹介ができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 簡単な表現の英語であいさつしている (思・判・表) 簡単な表現の英語で自己紹介している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2 学期	28	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.
2 学期		(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している (思・判・表) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3 学期	17	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする	(知・技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take aright at the next light. ・I'll have a cheese burger and a midium orrange juice.
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。 ・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。			

令和8年度 中学部 3年（Ⅱa課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		あすを生きる①（中学道徳） 日本文教出版 新・10歳からのルール100 ①友達・学校のルール

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。 ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。 ・自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
道徳教育は各教科・全領域・学校生活の中でその場（考えさせる）の機会をとらえて指導する	35	・学級の友達や教師に対する親しみの気持ちを深める。	場に応じた言葉使いを使用している。	・礼儀作法	・友達や教師に、場に応じた言葉使い挨拶をする。
		・平和の大切さ、命の尊さを知る。	平和の尊さ、戦争の恐ろしさを理解しようとしている。	・平和の尊さ	・平和学習(沖縄戦)を通して戦争の恐ろしさ、平和の尊さについての学習を行う。
		・自分の健康を見つめ直し、丈夫な心と体を作ろうとする。	体調が悪いときには我慢せずに連絡しようとしている。	・生命尊重 健康安全	・怪我をしたり、体調が悪くなったら我慢せずに、報告する大切さを学習する。
		・自分の持ち物、他の人の持ち物を区別することができる。	机の上、ロッカーなどの整理整頓し常に綺麗にするようにしている。	・整理整頓	・自分の持ち物が分かり、机の上、ロッカーなどを整理整頓し常に綺麗にする態度を身に付ける。
		・自分のことは自分でする態度を養う。	自分のことは、自分自身で使用としている。	・自律	・学校生活、日常生活の中で自分でできることは、進んで行う。
		・友達を労り、思いやりの心を育てる。	ゲームなどを通して、順番などのルールを理解しようとしている。	・寛容	・友達と仲良くするにはルールがあることを知る。 ・ゲームなどを通して、順番などのルールがあることを知る。
		・物事を最後までやり遂げる態度を養う。	物事を最後までやり抜き成功させようとしている。	・向上心	・各活動で、中途半端に終わらず、最後までやり抜くことや成功などの達成感を味わわせる。
		・身近な自然の事物に興味・関心を持ち自然に親しみを持つ。	草花を観察し自然の素晴らしさを味わおうとしている。	・自然	・草花を植えたり、灌水を行い自然の美しさを感じる。
		・お世話になっている人に対して感謝する気持ちを育む。	お世話になった人に対して感謝の気持ちを伝えようとしている。	・感謝の気持ち	・自分の両親をはじめ、自分に関わっている全ての人に対して感謝の気持ちを持つ。
		・自分でできることは進んで行い、困っている人がいたときには一緒に頑張って問題を解決する態度を養う。	みんなのために行動し与えられた仕事を遂行しようとしている。	・勤労役割	・給食当番、日直活動、清掃活動など自分の役割を果たし、更に級友を助ける行動を身に付ける。
		・いけないこと、悪いことを素直に認め、謝ろうとする心を育てる。	間違った事をしっかり反省し次の行動に生かそうとしている。	・素直な心	・クールダウンを行い、自分のやったことが悪いと認め謝罪する態度を身に付ける。
		・決まりや規則を守ることの大切さを理解させ、規則を守ろうとする態度を育てる。	よりよい学校生活を過ごせるように級友と一緒に行動しようとしている。	・規律	・学校・学級の決まりを守り、楽しい学校生活を送る。
		・みんなで使う物を大切にしようとする態度を育てる。	私物、みんなで使う道具を大切に使うようとしている。	・公共心	・自分で使った道具などは、きちんと片付ける。 ・みんなで使う物は乱暴な取り扱いをせず大切に使う。
		・金銭を大切に扱う態度を養う。	お金の計算を機械を使用して計算し、お金の大切さを理解しようとしている。	・金銭	・金銭の取り扱いが分かるようにする。
留意点 引継ぎ等		・学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 (評価) ・授業への参加や、活動ができたか自己評価を行う。 (中学道徳) あすを生きる① 各学期に、普通学校の道徳の教科書を使用し授業を行う。 1学期・・・「言葉の向こうに」、2学期・・・「あったほうがいい?」、3学期・・・「ゆうへー生きていてくれてありがとう」。			

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 （思判表力）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	（知及技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりすることができる。 （思判表力）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えることができる。 （学・人）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	（知・技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりしている。 （思・判・表）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えている。 （主学）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	（知及技）働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働くってどういうことだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	（知及技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思判表力）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 （学・人）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	（知・技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思・判・表）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 （主学）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	（知及技）卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	（知・技）卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
	2	（知及技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 （思判表力）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 （思・判・表）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

2 学期	2	(知及技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えている。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う
	3	(知及技)郷土の文化や行事について知ることができる。 (思判表力)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技)郷土の文化や行事について知っている。 (思・判・表)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 (主学)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり、体験したりする。
3 学期	2	(知及技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知ることができる。 (思判表力)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	(知・技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知っている。 (思・判・表)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	(知及技)卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技)卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学)意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 5 3 学期	9	(知及技)働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分の役割を考えることができる。 (学・人)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきることができる。	(知・技)卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)自分の役割を考え取り組んでいる。 (主学)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	・教室や校内の清掃に取り組む
	3	(知及技)各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し、教科横断的に活用する活動を通して、実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力)知識・技能を活用する中で、課題を解決するため、自ら問題を発見し、解決していくために必要な、情報収集能力・分析能力等を育成し、他者に表現できるようにする。 (学・人)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)インターネット等を活用し、情報収集等を行い、他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 (主学)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		無し

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思判表力）学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 （学・人）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表）学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 （主学）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをとする。 ・他の学年や学部の生徒と親睦を図る。
		（知及技）・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 （思判表力）・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 （学・人）・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	（知・技）・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 （思・判・表）・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 （主学）・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		（知及技）・戦争や平和について考えることができる。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 （思判表力）・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 （学・人）戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。 ・文化的行事に積極的に取り組む。	（知・技）・戦争や平和について考えようとしている。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 （思・判・表）・平和な生活を送るためにはどうすればよいかを考えようとしている。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 （主学）・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。 ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。	・平和集会 ・森川フェス	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		（知及技）・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 一学期を振り返る。 （思判表力）・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかなどを調べる。 一学期の反省を発表する。 （学・人）・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	（知・技）・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 一学期を振り返ることができる。 （思・判・表）・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかなどを調べている。 一学期の反省を発表している。 （主学）・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート1学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		（知及技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思判表力）1学期の振り返りから、目標を決定する。 （学・人）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表）1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 （主学）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
2 学期	14	（知及技）少年犯罪について考えることができる。 （思判表力）少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 （学・人）事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	（知・技）少年犯罪について考えようとしている。 （思・判・表）少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 （主学）事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 （少年犯罪被害防止）	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		（知及技）・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 （思判表力）・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 （学・人）・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	（知・技）・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 （思・判・表）・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書こうとしている。 （主学）・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) 志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 (思判表力) 志望校の特色を調べる。 (学・人) 志望動機を考え、文章にする。	(知・技) 志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) 志望校の特色を調べている。 (主学) 志望動機を考えることができ、文章にしている。	・進路について	・志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知及技) ・エイズについての正しい知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての正しい知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学期	8	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・児童生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

特になし

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Bグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年生（1名）		にほんごえいごおしゃべりタブレット絵本他 各種絵本、動画、画像、CD等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小学部1段階） (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人とかかわりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小学部1段階） (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人) 相手の応答に対して応じようとする。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 相手の応答に対して応じようとしている。	呼んでみよう 返事をしよう	・ 出席点呼 ・ 先生の名前と顔写真のマッチング ・ 学部生徒の名前と顔写真のマッチング ・ あいさつ活動
		(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表現することができる。 (学・人) 言葉や表情・動作などで表すことのよさを感じるとともに、自分なりの方法で思いや考えを伝えようとする。	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表現している。 (主学) 言葉や表情・動作などで表すことのよさを感じるとともに、自分なりの方法で思いや考えを伝えようとしている。	聞いてみよう 動いてみよう	・ リズム遊び（手を触れる、叩く、つなぐなど） ・ 体の部位を指す（顔、指、手など） ・好きな活動を選択する
2学期	27	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味を持つことができる。 (思判表力) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現することができる。 (学・人) 読み聞かせに対して、声や身体の動きなどで応答し、言葉を受け止めようとする。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味を持っている。 (思・判・表) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現している。 (主学) 読み聞かせに対して、声や身体の動きなどで応答し、言葉を受け止めようとしている。	絵本を読もう	・ 絵本（教科書「にほんごえいごおしゃべりタブレット絵本他」他） ・ 学校図書館利用 ・ パワーポイント資料 ・ 歌（CD）、動画（DVD） ・ NHK for school「おはなしのくに」など
		(知及技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 書くことを通して、自分の考えや気持ちを表現しようとする。	(知・技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知っている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしている。 (主学) 書くことを通して、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	書いてみよう 塗ってみよう	・ マーカーペン、クレヨン、絵の具（刷毛）などを用いた運筆 ・ シールや電子ペン、手指を用いた活動 ・ iPad、パソコンアプリ ・ 学習プリント（自分や先生、級友の名前）
3学期	18	(知及技) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思判表力) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人) 読み聞かせに対して、声や身体の動きなどで応答し、言葉を受け止めようとする。	(知・技) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れている。 (思・判・表) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしている。 (主学) 読み聞かせに対して、声や身体の動きなどで応答し、言葉を受け止めようとしている。	いろいろな物語を楽しもう	・ 動きや触れ合いを含む絵本（「ぎゅつ」他） ・ 学校図書館利用 ・ エブロンシアター、ペープサートなど ・ パワーポイント資料 ・ 歌（リトミック教材等）
		(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現することができる。 (学・人) 言葉や表情・動作などで表すことのよさを感じるとともに、自分なりの方法で思いや考えを伝えようとする。	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しんでいる。 (思・判・表) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現している。 (主学) 言葉や表情・動作などで表すことのよさを感じるとともに、自分なりの方法で思いや考えを伝えようとしている。	我が国の文化に親しもう	・ 昔話の絵本（「かぐやひめ」他） ・ 祝祭日の絵本（「十二支のはじまり」他） ・ 祝祭日の学習（カレンダーなど） ・ NHK for school「おはなしのくに」など
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・ 生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・ 各領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れる。 ・ iPadなどのICT機器や、具体物に触れたり操作する機会を設けるなど、体験活動を通した学習を取り入れる。 ・ 身近な日常生活の場面を設定し、生活経験を豊かにすることをねらいとした題材を設定する。 ・ 学校図書館の利用を通して、読書に親しむ時間を設ける。 ・ 絵本や写真・イラストの多い本、読み聞かせ等を取り入れ、本に親しむ経験を重ねながら、言葉への理解や表現意欲を高める。			

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Bグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年生（1名）		各種絵本、動画、画像、CD等

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けることができる。 (思・判・表) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとする ことができる。 (学・人) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶したり、コミュニケーションを楽しもうとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしている。 (主・学) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶をしたり、会話をしようとする態度を身に付けている。	・先生や友だちに自己紹介をしよう	・あいさつ活動 ・自己紹介 ・コミュニケーションゲーム
		(知・技) 教師と一緒に沖縄戦や平和に関する内容の映像を見たり説明を聞いたりすることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に順番やマナーを守って遺留品に触れたり、感触を味わうことができる。 (学・人) 安定した気持ちで平和学習に参加したり、友達や先生と楽しく時間を過ごしたりする活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に沖縄戦や平和に関する内容の映像を見たり説明を聞いたりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に順番やマナーを守って遺留品に触れたり、感触を味わったりしている。 (主・学) 安定した気持ちで平和学習に参加したり、友達や先生と楽しく時間を過ごしたりする活動に取り組んでいる。	・国民の祝日について学ぼう ・平和について学ぼう	・国民の休日 ・沖縄戦 ・平和学習
2 学期	14	(知・技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのか気付くことができる。 (思・判・表) 具体物に触れたり施設を利用したりした気持ちを、発声や体を動かしてみんなに伝えることができる。 (学・人) 先生や友だちと、社会の仕組みについて知り、自分なりの方法で活用することができる。	(知・技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのか気付いている。 (思・判・表) 具体物に触れたり施設を利用したりした気持ちを、発声や体を動かしてみんなに伝えようとしている。 (主・学) 先生や友だちと、社会の仕組みについて知り、自分なりの方法で活用しようとしている。	・公共施設を利用しよう	・公共施設の役割や利用の仕方 ・校内散策（スタンブラリー）
		(知・技) 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動できる。 (思・判・表) ルールに従いゲームに参加して、気持ちを身振り手振りで教師に伝えることができる。 (学・人) 教師と一緒に日常生活の中で守るべきルールに気付き、体験を通して実際に守ることができる。	(知・技) 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動している。 (思・判・表) ルールに従いゲームに参加して、気持ちを身振り手振りで教師に伝えようとしている。 (主・学) 教師と一緒に日常生活の中で守るべきルールに気付き、体験を通して実際に守ろうとしている。	・決まりを守って行動しよう	・きまりやルール ・ゲーム交流
3 学期	9	(知・技) 学校の中、家族の中など社会生活における自分の役割に気付くことができる。 (思・判・表) 自分のできること、苦手なことを意識して、教師に自分はどうかたいかを表情や発声で伝えることができる。 (学・人) 社会生活におけるそれぞれの仕事や役割について関心をもち、自分なりに関わろうとすることができる。	(知・技) 学校の中、家族の中など社会生活における自分の役割に気付き行動している。 (思・判・表) 自分のできること、苦手なことを意識して、教師に自分はどうかたいかを声や表情で伝えている。 (主・学) 社会生活におけるそれぞれの仕事や役割について関心をもち、自分なりに関わろうとしている。	・世の中の仕事について知ろう	・社会生活 ・世の中の仕事
		(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。 (学・人) 安全についての理解を深め、安全に生活しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとしている。 (主・学) 安全についての理解を深め、安全に生活しようとしている。	・安全や防災について知ろう	・安全と防災 ・日常で気をつけるべきこと
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・教師が作成したスライドなどを、生徒の実態に合わせて視聴しやすいうに、生徒各自のiPadを準備して使用する。 ・学校行事や学部行事での学習活動と関連させながら評価をする。 ・身近な日常生活の場面設定を行ったり、具体物を用いたりすることで、生活経験が豊かになるよう題材を工夫する。			

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	中学部3年		ひとりだちするための算数・数学／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小学部) (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小学部) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係関心をもって関わることについての技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図を用いながら数の数え方を考え、表現することができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことが態度を養うことができる。	(知・技) 10までの数が分かり、具体物を数えたり、指定された個数を取ったりしている。 (思・判・表) 表示された数字に注目し、指定された数字を3つの数字の中から選ぶようとしている。 (主学) 具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 「10までの数」 ・数えてみよう ・数字を当てよう	・「すすくすプラス」ひよこ - かずのさほん5まで - かずをえらぼう - かずにあうものをえらぼう - かずのさほん6まで - かずをえらぼう10まで - かずにあうものをえらぼう10まで - かずをつなごう10まで ・「かぞえ10」 ・指定された個数のおもちゃを選ぶ
2 学期	30	(知及技) 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) 図形に関心をもち、楽しみながら学習することができる。	(知・技) 丸や三角、四角という名称と形を一致させている。 (思・判・表) 身の回りの形に関心を持ち、形の違いに気付いている。 (主学) 形集めに進んで取り組もうとしている。	【図形】 「まる、さんかく、しかく」 ・○△□の名前を知ろう ・形で分けよう ・形を探そう ・○△□を集めよう	・「すすくすプラス」ひよこ - いろいろかたちのさほん ・○、△、□の形と名称を確認する。 ・同じ色、大きさを○、△、□の分類をする。 ・異なる大きさを○、△、□の分類をする。 ・異なる色、大きさを○、△、□の分類をする。 ・身の回りの物の写真を撮り、○、△、□で分類する。
3 学期	16	(知及技) ・耳で聞いた情報を覚えて記入できる ・映画館まで行く方法を知る ・映画を観るまでに必要な流れを知る ・必要な予算を知る (思判表力) ・移動方法を考える ・映画館での飲食代を考える ・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える (学・人) ・映画館で映画を観る方法を知ろうとする	(知・技) 身の回りの具体物の長さや大きさに注目し、それらの違いが分かり、比べようとしている。 (思・判・表) 具体物を操作し、二つの長さや大きさを比べたり、一方を基準として他方と比べようとしている。 (主学) 具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【測定】 「ながいとみじかい」 ・一番長い物を探そう ・一番短い物を探そう ・同じ長さを探そう ・長さクイズをしよう 「おおきいとちいさい」 ・一番大きい物を探そう ・一番小さい物を探そう ・同じ物を探そう 「比べてみよう」 ・二種類のものを比べてみよう ・比べ方について	・「長い・短い」という言葉の意味を確認する。 ・「すすくすプラス」うさぎ - いろいろなひかく ・「すすくすプラス」きつね - おなじものがうもの ・えんぴつ、モール、ひも、りぼんなどの具体物を直接比べ、どれが一番長い(短い)か予想した後に長さを比べる。 ・身の回りの具体物から長いもの、短いものを探す。 ・「大きい・小さい」という言葉の意味を確認する。 ・数種類の形を用意し、その中から大きいものや小さいもの、同じ大きさのものを探す ・比較する対象となるものの比べ方について確認する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Bグループ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	中学3年生		各種絵本、動画、画像、CD等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、自然の特徴やよき、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。（小学部2段階） （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを自分なりに表現することができるようにする。（小学部2段階） （学・人）自分のことに取り組んだり、身近な人々、自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。（小学部2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技） 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けることができる。 （思判表力） 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとすることができる。 （学・人） 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶したり、コミュニケーションを楽しもうとする態度を身に付けることができる。	（知・技） 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けようとしている。 （思・判・表） 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとしている。 （主学） 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶をしたり、会話を楽しもうとする態度を身に付けようとしている。	・先生や友だちに自己紹介をしよう ・一緒に遊ぼう	・あいさつ活動 ・自己紹介 ・コミュニケーションゲーム ・磁石で遊ぼう
		（知及技） 花や葉、土などの自然に触れることができる。 （思判表力） 身のまわりにある生命や自然に気付き、教師と一緒に皆に伝えることができる。 （学・人） 身の回りの生命や自然について関心をもつ。	（知・技） ・花や葉、土などに触れることができる。 （思・判・表） ・身のまわりにある生命や自然に気付き、教師と一緒に皆に伝えようとしている。 （主学） ・身の回りの生命や自然について関心を持ち、まわりを見渡したり手を伸ばしたりして自ら自然に触れようとしている。	・自然に触れる	・校庭を散策し、花や葉、土の感触を確かめる ・野菜や花を育てる ・生き物のようすを観察する
2学期	14	（知及技） 天気や気温、季節の移り変わりに気付くことができる。地域の行事と季節の関係について知る。 （思判表力） 気温や季節の変化を感じて気付いたことを自分なりに表すことができる。 （学・人） 晴れや雨などの天候の変化に気付くなど天気や空の様子に関心を持つことができる。	（知・技） 天気や気温、季節の移り変わりに気付いている。地域の行事と季節の関係について知る。 （思・判・表） 気温や季節の変化を感じて気付いたことを自分なりに表そうとしている。 （主学） 晴れや雨などの天候の変化に気付くなど天気や空の様子に関心を持っている。	・水に触れる （冷たい、ぬるい、熱いなど） ・季節の行事を知ろう	・空や雲のようすを観察する ・水の温度と気温の変化を感じる ・季節にちなんだ行事に取り組む
		（知及技） 身の回りの生活の中で、ものの質感や重さに違いがあることを感じるすることができる。 （思判表力） 具体物に触れ、気付いたことや感じたことを自分なりに表すことができる。 （学・人） 身のまわりにあるものに関心をもつ。	（知・技） 身の回りの生活の中で様々なものに触れ、質感や重さに気付き、違いを感じている。 （思・判・表） 具体物に触れ、気付いたことや感じたことを自分なりに表そうとしている。 （主学） 身のまわりにある物に注意を向けた触れようとしていたりしている。	・ものに触れる ・ものづくり	・ペットボトル、缶、ビンなど素材に注目しよう ・質感や重さの違いを感じよう ・ぶつけたときの音や持ったときの感触で素材をみわけよう
3学期	9	（知及技） 風やゴムの力は、ものを動かすことができることを知る。 （思判表力） 身のまわりにあるものの仕組みや働きに気付き、感じたことを自分なりに表すことができる。 （学・人） 風やゴムの力によって物が動く様子に関心を持ち、どうなるかを予想したり確かめようとしていたりすることができる。	（知・技） 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動しようとしている。 （思・判・表） 身のまわりにあるものの仕組みや働きに気付き、感じたことを教師や周りに伝えようとしている。 （主学） 風やゴムの力によって物が動く様子に関心を持ち、動きを確かめようとしている。	・風やゴムの力とその働き ・ものの仕組みや働きを知る ・風やゴムを使った道具を使ってみよう	・うちわやサーキュレーター、風船を使った実験 ・風の強さを変えたときに物がどう動くかを確かめよう ・紙コップや輪ゴムを使った実験
留意点 引継ぎ等		・生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・学校行事や地域行事と関連させながら取り組む。 ・身近な日常生活の場面設定を行ったり、具体物を用いたりすることで、生活経験が豊かになるよう題材を工夫する。 ・V O C A、スイッチ教材、視線入力装置などの支援機器を活用する。			

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程Bグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	中学部3年ⅡB課程		なし

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う		（知及技）音や音楽に注意を向けて気付くことができる。 （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて自分なりに表そうとすることができる。 （学・人）音や音楽に気付いて教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。	（知・技）音や音楽に気付き、身体の部位を動かす、楽器の音を出す、声を出す等の活動をしようにする。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて自分なりに表そうとしている。 （主学）教師の働きかけに応えたり、音や音楽を通しての教師とのやりとりの楽しさを感じ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽活動に取り組もうとしている。	一緒に音楽を楽しもう 音楽に合わせて身体を動かそう	「パンパン」・タッピング「お星さまとアリサ」「天国と地獄」等 身体表現 「手と手と手と」「おおきなわ」「オブラディオブラダ」「イルカはさんぶらこ」「わらべうた」「おどりの好きなウンパッパ」等
1学期	25	（知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。音楽に合わせて楽器を鳴らすことができる。 （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする。 （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知・技）聴こえてくる音や音楽に気付き、じっと動きを止めて聴いたり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりする。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて自分なりに表そうとしている。 （主学）音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽遊びの学習活動に取り組もうとしている。	曲の雰囲気や季節を感じよう リズムに合わせて表現しよう	「雨ふり水族館」「あめふりりんちゃん」「だから雨ふり」「月桃」「いのちのリレー」「うみ」「カイト」「海の声」等 ※バルーン、布、スズランテープ、傘、音源、楽器等を使用し視覚・聴覚・触覚で感じよう 「おお牧場はみどり」「ウンパッパ」「歩いてゆこう」 アプリ（paintone、）iPadの活用
2学期	27	（知及技）いろいろな音に注意を向けて気付くことができ、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。 （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	（知・技）色々な素材の音や楽器の音を出そうとする。 （思・判・表）音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて自分なりに表そうとしている。 （主学）音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな素材の音や楽器の音を聴いてみよう いろいろな素材の音を出したり、楽器を鳴らしたりしよう 曲の雰囲気や季節を感じよう	新聞紙、筒、布、金属音、豆等 「ハンガリー舞曲」「お料理行進曲」「おもちゃのシンフォニー」等 「もみじ」「まっかな秋」 ※バルーン、布、スズランテープ、傘、音源、楽器等を使用し視覚・聴覚・触覚で感じよう

3 学期	18	(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くことができ、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 音楽に合わせて楽器の音を出そうとする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	器楽を楽しもう	「ラデツキー行進曲」 「エルクンパンチエロ」 「クリモカベル」等
		(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) いろいろな音楽に触れ、聞こえてくる音や音楽に気付き、じっと動きを止めて聴いたり、反応したりする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	様々な国の音楽を聴こう 郷土の音楽に親しもう	「諸外国の民族音楽」「クラシック」「ジャズ」「ロック」「沖縄民謡」等
	留意点 引継ぎ等	○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「卒業式の歌」等）			

令和8年度 中学部 3年(Ⅱ課程B) 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部3学年 Ⅱ 課程B課程			自作教材等
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)形や色など造形的な視点に気づき、表したいことに合わせて材料や用具を使い表し方を工夫することができる。 (思判表力)身の回りの作品や材料などから自分の見方感じ方を広げたりすることができる。 (学・人)つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技)(思判表力) ●一年の制作活動内容を知ることができ、楽しく創作できる。	(知・技)(思・判・表)(主学) ○教科書やスライドなどを見たり、教師の話を聞いているか	オリエンテーション 『うつくしい！/美術の広がり』	・美術はどんな授業か、1年間の計画や内容を知る。
		(知及技) ●形や色などに気づき、材料や道具を使うことができる。 (思判表力) ●材料や素材を見たり、表したいことを思いついたりできる。 (学・人) ●素材や作品を見たり自ら触れようとすることができる。	(知及技) ○教師と一緒に材料や道具を見たり触れようとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に好きな素材を選ぼうとしている。 (主学) ○教師と一緒に作品を見たり触れようとしている。	表現・鑑賞: 『色や感触を楽しもう』	・かみねんど、寒天、色紙、色セロファンなど様々な色や感触の素材に触れ、材料や道具に親しむ。
		(知及技) ●粘土に触れながら形作ることができる。 (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (学・人) ●参考作品の実物や映像、自分の作品を見ることができる。	(知・技) ○教師と一緒に粘土に触り、作品作りをしようとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に何を作るか考えたりえらんだりしようとしている。 (主学) ○教師と一緒に参考作品や自分の作品を興味を持って鑑賞しようとしている。	表現・鑑賞:工芸 『暮らしの中のやさしいもの』	・日本や沖縄のやさしいものを実物や映像で鑑賞する。 ・粘土の感触を楽しみながら形や色、技法などを工夫して制作する。 ・素焼きに自由に絵付けをする ・自分や友だちの完成作品を鑑賞し、良さを味わう。
		(知及技) ●表したいことを思いついたり、作品を見たりできる。 (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (学・人) ●進んで表したり見たりする活動に取り組む、作り出すことの楽しさに気づくことができる。	(知・技) ○教師と一緒に様々なポスターの表現方法について知ろうとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に使いたい材料や画材などを選んで制作しようとしている。 (主学) ○教師と一緒に作品作りに取り組んだり、自分や友だちの作品を興味を持って鑑賞しようとしている。	表現・鑑賞:デザイン 『メッセージを広く伝える』 行事等のポスターをつくろう	・さまざまなポスター作品などを鑑賞する ・伝える主題をもとに、教師と一緒に作品形態や表現方法などを考える。 ・形や色、構成などを工夫して制作する。 ・自分や友だちの完成作品を鑑賞し、良さを味わう。
2 学期	27	(知及技) ●表したいことを思いついたり、作品を見たりできるようにする。 (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (学・人) ●進んで表したり見たりする活動に取り組む、作り出すことの楽しさに気づくことができる。	(知・技) ○教師と一緒に様々な版画の表現方法や技法について知ろうとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に使いたい材料を選んで構成しようとしている。 (主学) ○教師と一緒に作品作りに取り組んだり、教師と一緒に自分や友だちの作品を興味を持って鑑賞しようとしている。	表現・絵画 『コラグラフ版画』	・参考作品などを映像で鑑賞する。 ・木の葉や紙、紐など様々な材料を選んで構成し判を作る。 ・自分たちの完成作品を鑑賞する。
		(思判表力) ●映像作品の面白さを感じ取り自分なりの見方や感じ方を広げる事ができる。 (学・人) ●進んで表したり見たりする活動に取り組む、鑑賞の楽しさに気づくことができる。	(思・判・表)(主学) ○教師と一緒に楽しく作品鑑賞をしようとしている。	鑑賞:デザイン 『コマ撮りアニメーション』	・他のグループの友だちが作った完成作品を鑑賞する。
3 学期	18	(知及技) ●材料や素材を見たり、表したいことを思いついたりできる。 (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (学・人) ●進んで表したり見たりする活動に取り組む、作り出すことの楽しさに気づくことができる。	(知・技) ○教師と一緒に形や色、構成や構図、材料などから選んだり、考えようとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○教師と一緒に作品作りに取り組んだり、教師と一緒に自分や友だちの作品を興味を持って鑑賞しようとしている。	絵画 『共同制作の魅力』	・過去の作品などを映像で鑑賞する。 ・自分の分担の部分を制作する。 ・友だちの作品と自分の作品を合わせて完成させ、飾る。 ・自分たちの完成作品を鑑賞する。

留意点 引継ぎ等	○身近なものを触る際に、感染症対策に配慮する。 ○生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ○授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ○郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白さや見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ○年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。
-------------	---

令和 8 年度 中学部 3年（Ⅱ課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 3年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。(中1段階ア) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを言ったり書き出したりにしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。 (主学) 体づくり運動に積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気持ちいい関わり合ったりする。 体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行うこと。 ・ ・ 様々な用具を使ってリレーをする。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている・サーブでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げるができる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つこと。 ・ ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すこと。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。
		(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表) 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間伝えていく。 (主学) 水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。 ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について理解することができる。 (思判表力) 熱中症について知り、その予防方法や手当の仕方について理解することができる。 (学・人) 活動に適した環境について答えることができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 熱中症になりやすい環境について知り、予防方法について答えている。 (主学) 環境が健康に及ぼす影響について考えようとしている。	保健分野 ・ 健康な生活と疾病予防 ・ 健康と環境	1 健康の成り立ち 2 調和のとれた生活 3 活動に適する環境 4 熱中症の予防と手当

2 学 期	41	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、さまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて、言ったり書き出したりしている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。(思・判・表) 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。(主学) フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。(思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。(主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 突き、蹴り等の基本的な動き。 ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き。 ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。(思判表力) 攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。(学・人) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするができる。	(知・技) 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。(主学) 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	球技	○バスケットボール、サッカーを基にしたゲーム ・ ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ・ ボール保持者と自分の間に守る者がいないように移動すること。 ・ コート内で攻守入り交じって、味方にパスをする、シュートをする、ドリブルをすること。
		(知及技) 心と体の発達と心身が相互に関わっていることについて理解することができる。(思判表力) 心身の基本的な機能の発達について理解している。(学・人) 心身の機能の発達と心の健康について実生活と結び付けて取り組むことができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たることを理解している。(思・判・表) 自分自身の心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。(主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、自己の生活に活かそうとしている。	保健分野	・ 心身の機能の発達 ・ 健康な生活と疾病の予防 1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とう向き合うか 性情報への対処について考える。 5 感染症の種類と予防 性感染症を含めた感染症の種類や予防方法について知る。
3 学 期	27	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、さまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。(主学) マナーを守ったり相手の健康を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つこと。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすること。

		(知及技) 思春期における心身の機能の発達ついて知ることができる。 (思判表力)心の健康について考えて、よりよいコミュニケーションの方法について知ることができる。 (学・人)ストレスが心身に及ぼす影響について知り、ストレスへの対処法を身につけることができる。	(知・技) 心は様々な経験や学習によって発達し、体の健康にも影響することを理解している。 (思・判・表)よりよいコミュニケーションほ方法について考え、表現している。 (主学)ストレスへの対処について、実生活に結び付けて考ようとしている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達 心のはたらきについて理解する。 6 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて考える。 7 ストレスへの対処 リラクセーションの方法を身に付ける。
留意点 引継ぎ等	・ 体づくり運動は年間を通して行う。				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程bグループ）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につける。 （思判表力） ・将来の家庭生活や職業生活に必要な時柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現する力を養う。 （学・人） ・よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 （関連教科）	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	35	・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができる。（知及技） ・ものづくり工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思判表力）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・栽培 ・木工作業（木材加工） ・野菜の販売学習（情報）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、安全） ・農作業：夏野菜の植え付け。 管理作業（追肥・灌水・収穫） ・木工作業：ペン立てのやすりがけ。 ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができる。（知及技） ・ものづくり工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思判表力）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・栽培 ・木工作業（木材加工）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、安全） ・農作業：根野菜の植え付け。 管理作業（追肥・灌水・収穫） ・木工作業：組木の塗装作業。 下地塗り・ニス塗り ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の草花の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができる。（知及技） ・ものづくり工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。（知・技）	・栽培	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、安全） ・農作業：草花の植え付け。 管理作業（摘花・追肥・灌水）
年間を通しての指導		・分担区清掃（学・人）	・協力して分担区の清掃作業に取り組む。（主学）	・職業	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等	※生徒の実態に応じて農場での栽培をプランター栽培に切り替える時もある。（生徒の実態を考慮する） ※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。（無理はさせない） ※工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品など。				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程Bグループ） 職業・家庭（家庭） 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。 （思判表力）将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。 （学・人）よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	35	（知及技）自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。 （思判表力）家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えられることができる。 （学・人）家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ることができる。	（知・技）自分の成長を振り返りを通して、家族生活の大切さに関する教師の問いに回答している。 （思・判・表）家にはどのような仕事があるか知り、自分にできることを考え実践しようとしている。 （主学）家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ろうとしている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度等	・オリエンテーション ・家族・家庭生活	・自分の成長を振り返る。 ・家族へ感謝の気持ちを持つ。 ・家庭で自分のできる仕事を見つけよう。 ・パワーポイントをを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。
		（知及技）場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知ることができる。 （思判表力）日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。	（知・技）場面に応じた衣服の選択や手入れの仕方等を身に付けようとしている。 （思・判・表）衣服の着方や手入れの方法をTP0に応じて工夫することができる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度等	・衣服をきれいにしよう ・TP0に応じた着方 ・身だしなみを整えよう	・洗濯機の使い方 ・手洗いの仕方 ・洗濯物の干し方 ・衣服に応じたたたみ方 ・アイロンのかけ方 ・「いつ」「どこで」「何をするか」を確認しながら適した服装を考える ・自分の好きなおしゃれをして友達と見せ合う。 ・洗顔、肌の整え方、髪の設定の方法、爪の切り方を実践する。
2 学期		（知及技）健康な生活と食事の役割について知ることができる。 （思判表力）簡単な調理計画について考えることができる。 （学・人）調理に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	（知・技）自分自身の食生活を振り返り、日頃の食生活が健康な体作りに大切な役割を果たしていることを知ろうとしている。 （思・判・表）簡単な調理計画について工夫しようとしている。 （主学）調理に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度等	・食生活（健康な体作りの基本、食事の役割） ・調理の基礎 ・簡単な調理	・自分自身の食生活の振り返りや食事の役割に ・調理実習
3 学期		（知及技）住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知りることができる。 （思判表力）整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。 （学・人）整理・整頓や清掃意欲的に取り組むことができる。	（思・判・表）整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持つという。 （主学）整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫しようとしている。 （思・判・表）整理・整頓や清掃意欲的に取り組んでいる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度等	・住生活（住まいの整理・整頓、清掃）	・身の回りの整理整頓 ・台拭き・掃除機やワイパーを使つての清掃
引継ぎ等		年間を通して、生徒の実態や理解度に合わせて内容を柔軟に対応する。			

令和8年度 中学部3年 II課程B 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部 3年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、外国語の音声に慣れ親しむことができる。(小外国語活動) (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合うことができる。(小外国語活動) (学・人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ることができる。(小外国語活動)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ALTやJETが教室に来ることや英語で話していることを受け入れることができる。 (思判表力)授業に来たALTやJETを見たり顔を向けたりして注目することができる。 (学・人)リラックスして授業に参加できる。	(知・技) ALTやJETの話を緊張せずに聞こうとしている。 (思・判・表)ALTやJETの方向に視線を向けたり動きを追うなどして注目しようとしている。 (主学)英語の響きを受け入れてリラックスしようとしている。	「英語の音に触れてみよう」①	「ALTやJETのお話を聞こう」 ○ALTやJETの自己紹介やみんなへの質問などのやりとり
		(知及技) 英語の歌を聞いてリズムや音の響きを楽しむことができる。 (思判表力)好みの英語の歌や物語の内容について表情や体の動きで表現できる。 (学・人)英語の歌や物語を聞くことに期待したり好みの歌を見つけることができる。	(知・技) 英語を聞いたり動画に目を向けるようとしている。 (思・判・表)歌や物語の内容によって表情を変えたり手や足を動かすなどの反応をしようとしている。 (主学) 先生が歌や動画を準備している時に注目したり期待の表情を見せようとしている。	「英語の歌や物語アニメを聴いてみよう」①	「英語の歌 Hello song、If you happy、Babe Shark ほか物語」 ○英語の歌、日本語でもおなじみのメロディーの歌、いろんなジャンルからの英語の歌や物語・アニメを聞く
		(知及技) 日常生活のことや学校行事など身近な事柄について注目して見聞きしようとすることができる。 (思判表力)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せることができる。	(知・技) 身近にある出来事や行事について聞いたり話し手に目を向けようとしている。 (思・判・表)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じようとしている。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変えようとしている。	「英語で聞いて合図しよう」②	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事柄について聞く、指さしする、選ぶ
2 学期	14	(知及技) 日常生活のことや学校行事など身近な事柄について注目して見聞きしようとすることができる。 (思判表力)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せることができる。	(知・技) 身近にある出来事や行事について聞いたり話し手に目を向けようとしている。 (思・判・表)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じようとしている。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変えようとしている。	「英語で聞いて合図しよう」②	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事柄について聞く、指さしする、選ぶ
		(知及技) 外国の文化や行事に関する本や動画に目を向けて話を聞くことができる。 (思判表力)外国の文化や行事について楽しいやこわいなど感じたことを表情や体の動きで伝えることができる。 (学・人)外国の文化や行事について学び楽しく参加できる。	(知・技) ハロウィンやクリスマスに関する絵本や動画に視線を向けたり話を聞こうとしている。 (思・判・表)絵本や動画を見て表情を変えたり手や足を動かすなどの反応をしようとしている。 (主学)ハロウィンの仮装やクリスマスの装飾を友達や先生と楽しもうとしている。	「外国の文化・行事にふれよう」	「ハロウィン」「クリスマス」 ○ハロウィンやクリスマスのはじまりのお話を聞いたり装飾などを楽しむ
		(知及技) ALTやJETが教室に来ることや英語で話していることを受け入れることができる。 (思判表力)授業に来たALTやJETを見たり顔を向けたりして注目することができる。 (学・人)リラックスして授業に参加できる。	(知・技) ALTやJETの話を緊張することなく聞こうとしている。 (思・判・表)ALTやJETの方向に視線を向けたり動きを追うなどして注目しようとしている。 (主学)英語の響きを受け入れてリラックスしようとしている。	「英語の音にふれよう」②	「ALTやJETのお話を聞こう」 ○ALTやJETの夏休みのできごとやみんなへの質問などのやりとり
3 学期	9	(知及技) 英語の歌を聞いてリズムや音の響きを楽しむことができる。 (思判表力)好みの英語の歌について表情や体の動きで表現できる。 (学・人)英語の歌を聞くことに期待したり好みの歌を見つけることができる。	(知・技) 英語を聞いたり動画に目を向けようとしている。 (思・判・表)歌によって表情を変えたり手や足を動かすなどの反応をしようとしている。 (主学) 先生が歌や動画を準備している時に注目したり期待の表情を見せようとしている。	「英語の歌や物語を聞こう」②	「英語の歌 Under the spreading chestnut tree ほか」 ○英語の歌や物語、日本語でもおなじみのメロディーの歌、いろんなジャンルからの英語の歌や物語を聞く
		(知及技) 日常生活のことや学校行事のことについて確認できる。 (思判表力)ALTからの質問に対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せることができる。	(知・技) 身近にあるできごとや行事について聞いたり話し手に目を向けようとしている。 (思・判・表)ALTからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じようとしている。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変えようとしている。	「英語で聞いて合図しよう」③	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事柄について聞く、指さしする、選ぶ
留意点 引継ぎ等	・行事や各教科と関連づけて学習内容を設定する。(・校外学習・森川フェスティバル・修学旅行・PTA活動など)				

令和8年度 中学部3年（Ⅱb課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・法やきまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。 ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。 ・自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通しての指導	35	・身近な大人の存在を知り親しみの気持ちをも育むことができる。	新しい先生、いろいろな先生を知ろうとしている。	【親切・思いやり】 新しい先生、いろいろな先生を知ろう。	・新しい担任やいろいろな先生と一緒に触れあい遊びをする。
		・平和の大切さ、命の尊さを知る。	沖縄戦の恐ろしさを知ろうとしている。	【生命の尊さ】 戦争の恐ろしさについて知ろう。	・平和学習（沖縄戦）を通して戦争の恐ろしさ、平和の尊さについての学習を行う。
		・家族との関わり心地よさや喜びを感じ安心感を持つことができる。	お母さん、お父さんへ感謝の気持ちを伝えようとしている。	【家族愛・家庭生活の充実】 お父さん、お母さんありがとう。	・母の日、父の日に向けて考え、家族への思いを伝える。
		・様々なものを見たり、聴いたり、触れたりして感動する気持ちを持つことができる。	季節の行事を体験しようとしている。	【感動・畏敬の念】 四季を体験しよう。	・季節の遊びや行事を体験する。 ハロウィーン、クリスマス、お正月遊び。
		・身近な自然の事物に興味・関心を持ち自然に親しみを持つ。	草花などを植えたり自然の美しさを感じようとしている。	【生命の尊さ】 自然との触れ合い季節の変化と生活。	・草花を植えたり、灌水を行い自然の美しさを感じる。
		・清潔を保とう。	自分ができる、清掃をおこない友達と一緒に行動しようとしている。	【勤労・公共の精神】 自分ができる範囲で身の回りを清掃してみよう。	・学部の友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にこなったりする。
留意点 引継ぎ等	・学校行事、学部行事、清掃活動などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 (評価) ・授業への参加や、活動ができたか自己評価を行う。 (中学道徳) あすを生きる① 各学期に、普通学校の道徳の教科書を使用し授業を行う。 1学期・・・「言葉の向こうに」、2学期・・・「あったほうがいい?」、3学期・・・「ゆうへー生きていてくれてありがとう」。				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 （思判表力）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	（知及技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりすることができる。 （思判表力）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えることができる。 （学・人）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	（知・技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりしている。 （思・判・表）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えている。 （主学）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	（知及技）働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働くってどういうことだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	（知及技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思判表力）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 （学・人）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	（知・技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思・判・表）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 （主学）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	（知及技）卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	（知・技）卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
	2	（知及技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 （思判表力）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 （思・判・表）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

2 学期	2	(知及技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えていく。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う
	3	(知及技)郷土の文化や行事について知ることができる。 (思判表力)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技)郷土の文化や行事について知っている。 (思・判・表)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 (主学)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり、体験したりする。
3 学期	2	(知及技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知ることができる。 (思判表力)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	(知・技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知っている。 (思・判・表)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	(知及技)卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技)卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学)意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 5 3 学期	9	(知及技)働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分の役割を考えることができる。 (学・人)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきることができる。	(知・技)卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)自分の役割を考え取り組んでいる。 (主学)意思や目標をもって活動に取り組む、最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	・教室や校内の清掃に取り組む
	3	(知及技)各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し、教科横断的に活用する活動を通して、実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力)知識・技能を活用する中で、課題を解決するため、自ら問題を発見し、解決していくために必要な、情報収集能力・分析能力等を育成し、他者に表現できるようにする。 (学・人)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)インターネット等を活用し、情報収集等を行い、他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 (主学)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		無し

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 （思・判・表）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思・判・表）学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 （学・人）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表）学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 （主学）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをとする。 ・他の学年や学部の生徒と親睦を図る。
		（知・技）・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 （思・判・表）・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 （学・人）様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	（知・技）・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 （思・判・表）・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 （主学）・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		（知・技）・戦争や平和について考えることができる。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 （思・判・表）・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 （学・人）戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。 ・文化的行事に積極的に取り組む。	（知・技）・戦争や平和について考えようとしている。 ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 （思・判・表）・平和な生活を送るためにはどうすればよいかを考えようとしている。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 （主学）・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。 ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。	・平和集会 ・森川フェス	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		（知・技）・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 ・一学期を振り返る。 （思・判・表）・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかなどを調べる。 ・一学期の反省を発表する。 （学・人）・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	（知・技）・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 ・一学期を振り返ることができる。 （思・判・表）・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかなどを調べている。 ・一学期の反省を発表している。 （主学）・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート1学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思・判・表）1学期の振り返りから、目標を決定する。 （学・人）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技）学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表）1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 （主学）自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
2 学期	14	（知・技）少年犯罪について考えることができる。 （思・判・表）少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 （学・人）事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	（知・技）少年犯罪について考えようとしている。 （思・判・表）少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 （主学）事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 （少年犯罪被害防止）	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		（知・技）・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 （思・判・表）・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 （学・人）・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	（知・技）・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 （思・判・表）・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書こうとしている。 （主学）・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) 志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 (思判表力) 志望校の特色を調べる。 (学・人) 志望動機を考え、文章にする。	(知・技) 志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) 志望校の特色を調べている。 (主学) 志望動機を考えることができ、文章にしている。	・進路について	・志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知及技) ・エイズについての正しい知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての正しい知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学 期	8	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・児童生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

特になし